

広 報 資 料

(経済同時)

平成 29 年 1 月 26 日

京 都 市 産 業 観 光 局

(担当：産業戦略部産業政策課 TEL 075-222-3325)

市内中小企業の景況について (第 121 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたので報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 28 年 12 月
- ・ 調査対象期間 平成 28 年 10 月～12 月期 (3 箇月実績) / 平成 29 年 1～3 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 368 社, 非製造業 432 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。481 社が回答 (回収率 60.1%)。

業種別回答企業数 (%)

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	231 (48.0)	非製造業	250 (52.0)
西 陣	24 (5.0)	卸 売	63 (13.1)
染 色	24 (5.0)	小 売	50 (10.4)
印 刷	25 (5.2)	情 報 通 信	19 (4.0)
窯 業	13 (2.7)	飲 食 ・ 宿 泊	34 (7.1)
化 学	20 (4.2)	サ ー ビ ス	46 (9.6)
金 属	26 (5.4)	建 設	38 (7.9)
機 械	29 (6.0)	不 明	0 (0.0)
その他の製造	70 (14.6)	合 計	481 (100.0)

※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)	51 (10.6)
-----------------------	-----------

- =Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)
増加、上昇などと回答した企業の企業割合から、減少、低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として、それより上である場合は、上向き傾向を表す回答が多いことを示し、下である場合は、下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
- 中小企業の定義
中小企業基本法に基づき、業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については、インターネットホームページでも御覧いただけます。

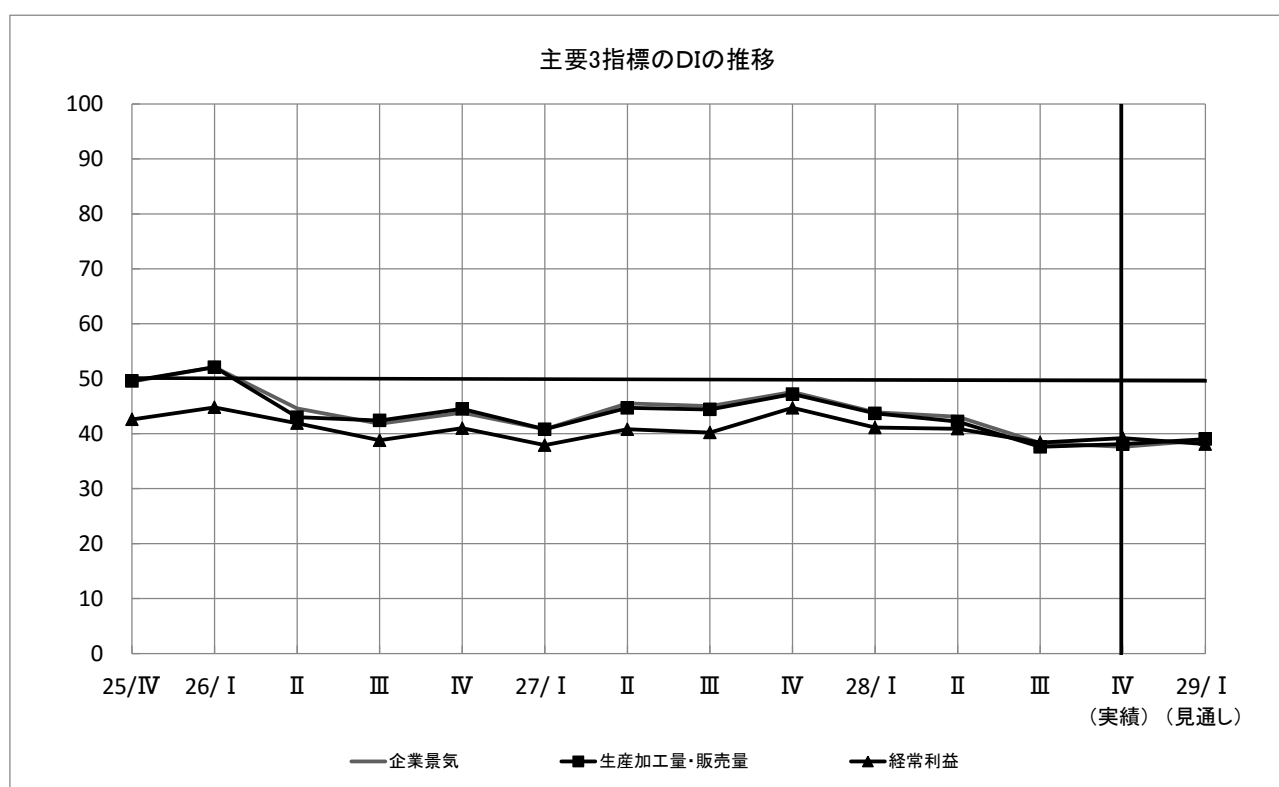
URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/30-3-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

調査結果概要

1 景気動向について

- 今期の企業景気DIは、全産業で0.7ポイント低下した。製造業で1.0ポイント低下、非製造業で0.5ポイント低下した。
- 来期の企業景気DIの見通しは、全産業で1.2ポイント上昇。製造業で1.9ポイント上昇、非製造業では0.4ポイント上昇。

<主要3指標のDIの推移>



		前期 (H28/7-9月)		今期 (10-12月)		来期 (H29/1-3月)	
			増減		増減		増減
企業景気DI	全産業	38.3	▼4.8	37.6	▼0.7	38.8	△1.2
	製造業	39.9	▼6.6	38.9	▼1.0	40.8	△1.9
	非製造業	36.9	▼3.2	36.4	▼0.5	36.8	△0.4
生産加工量・販売量DI	全産業	37.6	▼4.6	38.1	△0.5	39.0	△0.9
	製造業	39.1	▼7.8	40.0	△0.9	42.2	△2.2
	非製造業	36.2	▼1.2	36.1	▼0.1	35.6	▼0.5
経常利益DI	全産業	38.4	▼2.5	39.2	△0.8	38.1	▼1.1
	製造業	40.5	▼3.3	40.4	▼0.1	40.1	▼0.3
	非製造業	36.5	▼1.8	38.0	△1.5	36.1	▼1.9

<主要3指標の業種別推移（今期／来期見通し）>

	企業景気DI				生産加工量・販売量DI				経常利益DI			
	今期		来期		今期		来期		今期		来期	
		増減		増減		増減		増減		増減		増減
製造業	38.9	▼1.0	40.8	△1.9	40.0	△0.9	42.2	△2.2	40.4	▼0.1	40.1	▼0.3
西陣	27.1	△11.9	21.7	▼5.4	29.2	△7.5	23.9	▼5.3	31.3	△7.4	21.7	▼9.6
染色	29.2	▼8.3	35.4	△6.2	27.1	▼6.8	35.4	△8.3	34.8	△4.4	32.6	▼2.2
印刷	33.3	△2.9	39.6	△6.3	35.4	△8.6	37.5	△2.1	33.3	△4.7	39.6	△6.3
窯業	42.3	▼11.9	34.6	▼7.7	42.3	▼16.0	38.5	▼3.8	42.3	▼20.2	34.6	▼7.7
化学	40.0	▼7.1	45.0	△5.0	50.0	△5.9	52.5	△2.5	37.5	▼12.5	37.5	0.0
金属	40.4	▼5.9	43.8	△3.4	38.5	▼7.7	43.8	△5.3	48.1	▼1.9	41.7	▼6.4
機械	50.0	△6.0	53.4	△3.4	50.0	△6.0	55.4	△5.4	50.0	△8.0	55.2	△5.2
その他の製造	42.0	▼3.2	43.3	△1.3	42.8	▼0.7	44.0	△1.2	41.3	▼3.9	44.0	△2.7
非製造業	36.4	▼0.5	36.8	△0.4	36.1	▼0.1	35.6	▼0.5	38.0	△1.5	36.1	▼1.9
卸売	30.6	▼0.5	32.2	△1.6	29.3	▼4.9	31.3	△2.0	33.1	△1.6	31.6	▼1.5
小売	35.0	△6.1	30.6	▼4.4	35.7	△9.3	31.5	▼4.2	34.0	△3.8	30.9	▼3.1
情報通信	47.4	▼2.6	52.6	△5.2	50.0	0.0	46.9	▼3.1	50.0	△7.5	50.0	0.0
飲食・宿泊	33.8	▼12.9	36.4	△2.6	33.8	▼8.8	33.3	▼0.5	32.4	▼19.3	31.8	▼0.6
サービス	37.8	▼3.7	38.4	△0.6	39.7	△1.9	38.9	▼0.8	47.3	△4.4	43.1	▼4.2
建設	43.1	△6.0	43.1	0.0	41.2	△0.9	42.6	△1.4	41.4	△10.5	40.0	▼1.4
観光関連企業	25.5	▼10.1	29.6	△4.1	26.5	▼8.2	30.2	△3.7	25.5	▼11.2	28.1	△2.6

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇、▼は低下を示す。）

<設備投資DI推移（今期／来期見通し）>

	設備投資DI			
	今期		来期	
		増減		増減
製造業	28.2	△7.2	20.3	▼7.9

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇、▼は低下を示す。）

(1) 今期実績 平成28年10月～12月期

全産業の企業景気DIは、0.7ポイント低下した。

製造業全体の企業景気DIは1.0ポイント低下した。「暖冬による過剰在庫」(伏見区/染色)、「売上低下」(東山区/窯業)、「主力海外受注先の経営方針転換による大幅な受注減」(山科区/化学)、「他社との価格競争が激しい」(南区/金属)、「野菜の仕入れ単価上昇」(下京区/その他の製造)などの要因により、染色、窯業、化学、金属、その他の製造の5業種が低下した。一方、「臨時受注があった」(上京区/西陣)、「新刊・改訂版の発行販売が好調見込み」(左京区/印刷)、「受注増による生産利益の増加」(南区/機械)などの要因により、西陣、印刷、機械の3業種が上昇した。

非製造業全体の企業景気DIは0.5ポイント低下した。「売上減、販売価格低下」(上京区/卸売)、「競争力低下、人手不足」(伏見区/情報通信)、「台風の影響による食品材料価格の上昇が続いている」(東山区/飲食・宿泊)、「地元の景気悪化」(北区/サービス)などの要因により、卸売、情報通信、飲食・宿泊、サービスの4業種が低下した。一方、「販売機器の単価、WEB事業のアップ」(南区/小売)、「顧客の増加」(左京区/建設)などの要因により、小売、建設の2業種が上昇した。

観光関連は、10.1ポイント低下した。

今回の調査では、全産業の企業景気DIが0.7ポイントの低下であった。業種別にみると、製造業で8業種のうち3業種が上昇、5業種が低下し、全体で1.0ポイントの低下となった。西陣は大幅な上昇となる一方、窯業、染色が大幅に低下するといった特徴がみられた。非製造業は6業種のうち2業種が上昇、4業種が低下した。5期連続で低下していた小売が上昇に転じる一方、野菜の仕入れ価格上昇の影響等により飲食・宿泊が4期連続で低下するなど、全体で0.5ポイント低下となった。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中5業種であり、いずれも低下した業種は4業種である。

今期:主要3指標DIいずれも上昇した業種 14業種中5業種

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
西陣	27.1 (△ 11.9)	29.2 (△ 7.5)	31.3 (△ 7.4)
印刷	33.3 (△ 2.9)	35.4 (△ 8.6)	33.3 (△ 4.7)
機械	50.0 (△ 6.0)	50.0 (△ 6.0)	50.0 (△ 8.0)
小売	35.0 (△ 6.1)	35.7 (△ 9.3)	34.0 (△ 3.8)
建設	43.1 (△ 6.0)	41.2 (△ 0.9)	41.4 (△ 10.5)

今期:主要3指標DIいずれも低下した業種 14業種中4業種

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
窯業	42.3 (▼ 11.9)	42.3 (▼ 16.0)	42.3 (▼ 20.2)
金属	40.4 (▼ 5.9)	38.5 (▼ 7.7)	48.1 (▼ 1.9)
その他の製造	42.0 (▼ 3.2)	42.8 (▼ 0.7)	41.3 (▼ 3.9)
飲食・宿泊	33.8 (▼ 12.9)	33.8 (▼ 8.8)	32.4 (▼ 19.3)

注:カッコ内は前期との差(今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。)

(2) 来期見通し 平成29年1月～3月期

企業景気DIの来期見通しは、全産業で1.2ポイント上昇している

製造業全体の企業景気DIは1.9ポイント上昇している。「教科書改訂に伴う販売増加」(西京区/印刷)、「営業利益の確保」(右京区/化学)、「オリンピック準備による受注増への期待」(南区/金属)、「既存顧客の業績好調、大口受注のため」(伏見区/機械)、「新規事業立ち上がりによる売上増」(右京区/その他の製造)などの要因により、染色、印刷、化学、金属、機械、その他の製造の6業種が上昇している。一方、「円安のため仕入価格が上昇」(上京区/西陣)、「売上低下」(東山区/窯業)などの要因により、西陣、窯業の2業種が低下している。

非製造業全体の企業景気DIは0.4ポイント上昇している。「販売単価が上がり利益率が上昇」(中京区/卸売)、「新製品の開発が完了」(中京区/情報通信)、「利益率の良い店舗が売上を伸ばしている」(北区/飲食・宿泊)「大口の受注案件有」(中京区/サービス)などの要因により、卸売、情報通信、飲食・宿泊、サービスの4業種が上昇している。一方、「顧客単価の減額」(中京区/小売)などの要因により、小売が低下している。建設は今期と同水準になっている。

観光関連は、4.1ポイント上昇している。

国内景気は、一部に改善の遅れもみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。先行きについても、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復に向かうことが期待される。こうしたなかで、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

京都の中小企業においては、今期の企業景気DIは、窯業、飲食・宿泊で大幅に低下するなど、0.7ポイント低下している。

先行きについては、全産業で1.2ポイント上昇となっており、染色、印刷、情報通信をはじめ、多くの業種で上昇に転じると見込んでいる。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中3業種であり、いずれも低下と予測している業種も3業種である。

来期見通し: 主要3指標いずれも上昇と予測した業種 14業種中3業種

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	39.6 (△ 6.3)	37.5 (△ 2.1)	39.6 (△ 6.3)
機械	53.4 (△ 3.4)	55.4 (△ 5.4)	55.2 (△ 5.2)
その他の製造	43.3 (△ 1.3)	44.0 (△ 1.2)	44.0 (△ 2.7)

来期見通し: 主要3指標いずれも低下と予測した業種 14業種中3業種

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
西陣	21.7 (▼ 5.4)	23.9 (▼ 5.3)	21.7 (▼ 9.6)
窯業	34.6 (▼ 7.7)	38.5 (▼ 3.8)	34.6 (▼ 7.7)
小売	30.6 (▼ 4.4)	31.5 (▼ 4.2)	30.9 (▼ 3.1)

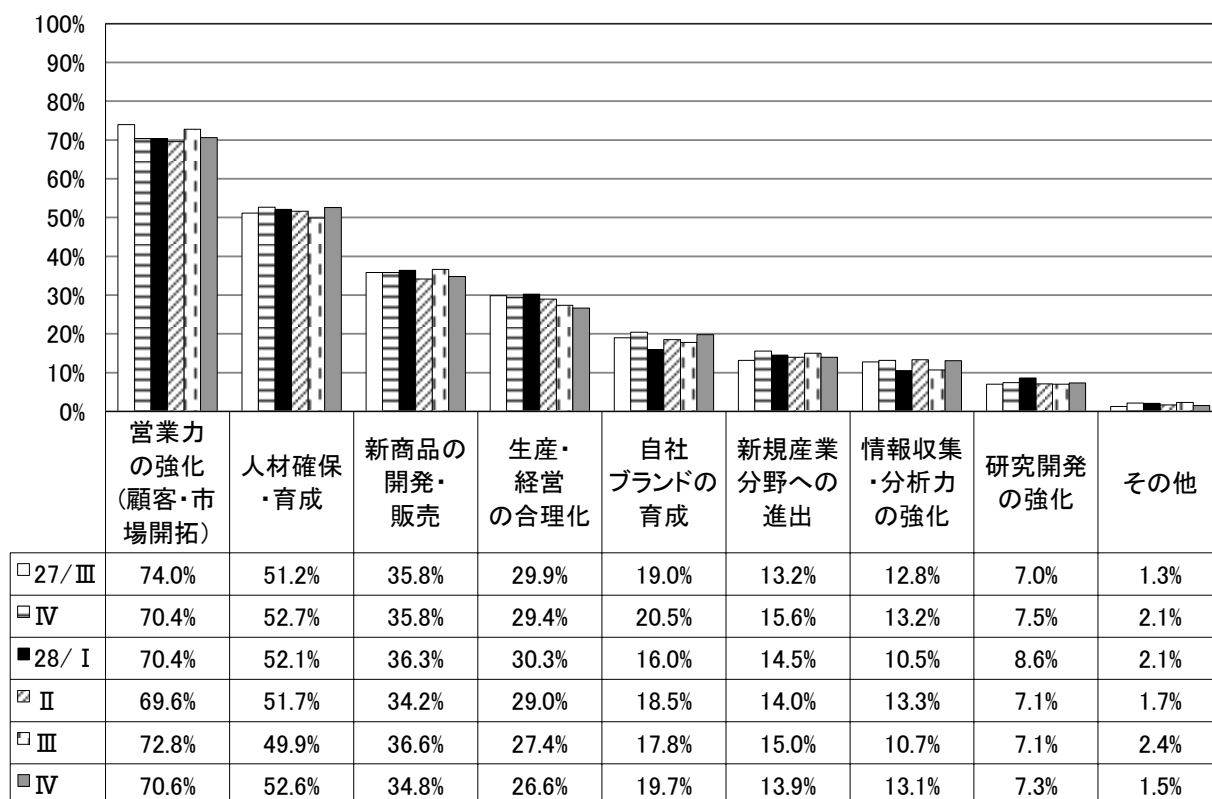
注: カッコ内は今期との差(来期マイナス今期。△は上昇を示す。)

2 当面の経営戦略について

● 「営業力の強化」が引き続きトップも、「人材確保・育成」を挙げる企業が増加。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が70.6%を占め、引き続き最も多くなっている。続いて「人材確保・育成」が52.6%、以下「新商品の開発・販売」が34.8%、「生産・経営の合理化」が26.6%の順となっている。

前期と比較すると、すべての項目で順位に変動はなかった。最も上昇しているのは、「人材確保・育成」で2.7ポイント増、続いて「情報収集・分析力の強化」が2.4ポイント増となっている。一方、低下したのは、「営業力の強化」で2.2ポイント減、「新商品の開発・販売」が1.8ポイント減となっている。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合合計が100%を超える。

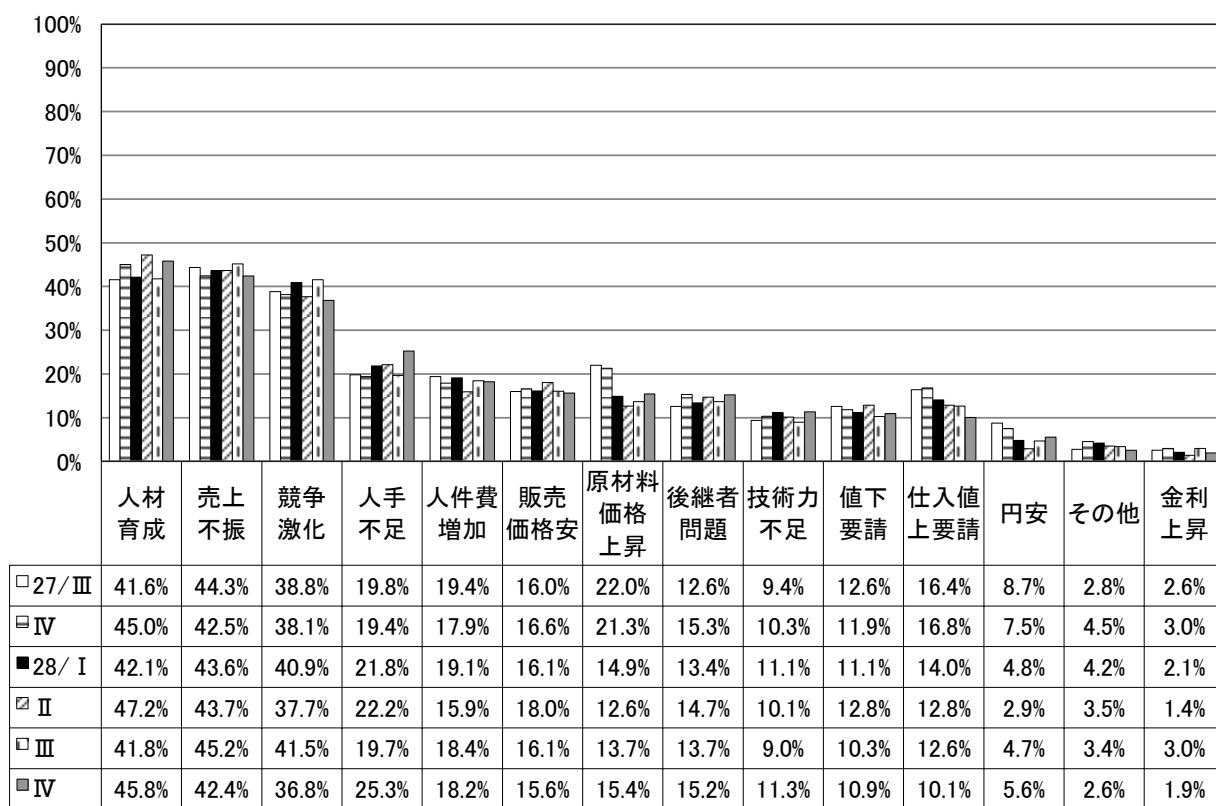
3 経営上の不安要素について

●「売上不振」に代わり「人材育成」が再びトップに。

経営上の不安要素としては、「人材育成」を挙げる企業が45.8%を占め、続いて「売上不振」が42.4%となり、上位2項目が40%を上回る結果となった。以下、「競争激化」36.8%、「人手不足」25.3%、「人件費増加」18.2%、「販売価格安」15.6%と続いている。

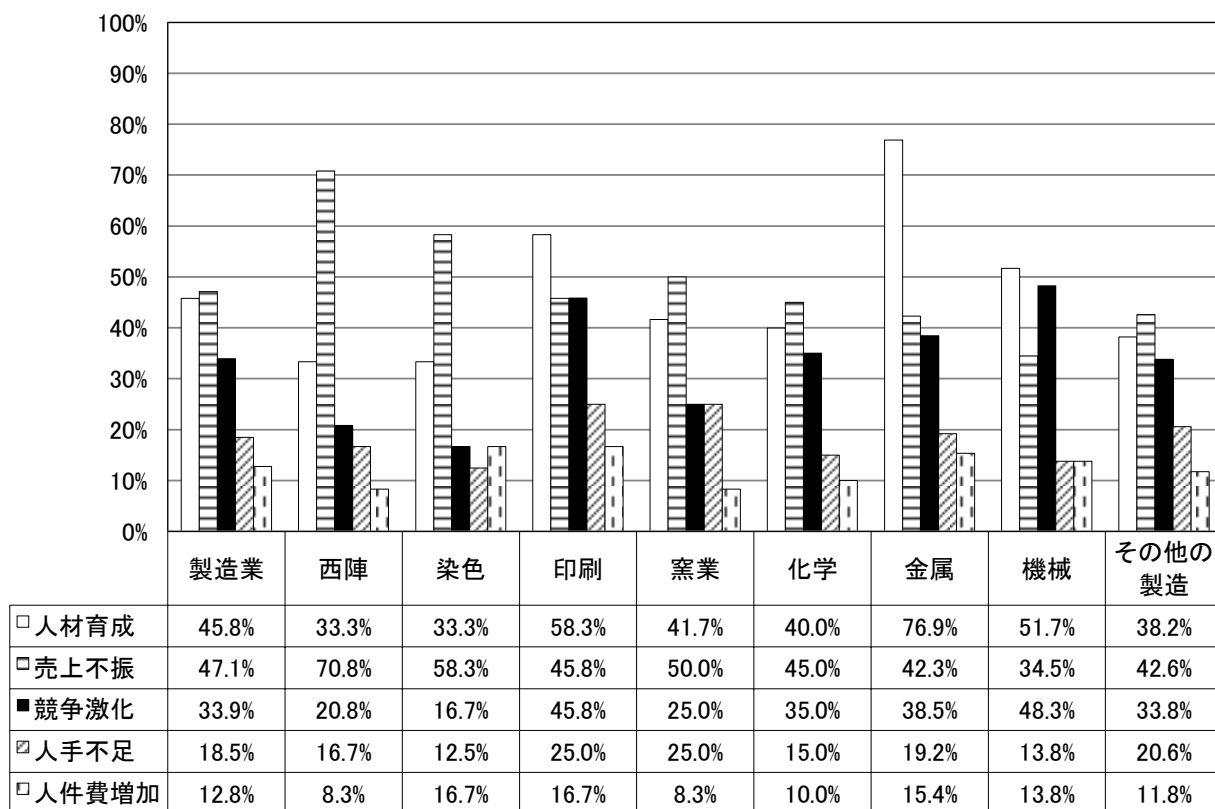
前期と比較すると、「人材育成」が「売上不振」を上回り、2期ぶりに再びトップとなった。また、「人手不足」が5.6ポイント増となり、最も上昇した一方で、「競争激化」が4.7ポイント減、「売上不振」が2.8ポイント減となっている。

業種別にみると、印刷、金属、機械、情報通信、飲食・宿泊、サービス、建設の7業種では、「人材育成」と回答した企業が最も多く、西陣、染色、窯業、化学、その他の製造、卸売、小売の7業種では、「売上不振」が最も多かった。観光関連では、「人材育成」が最も多くなっている。

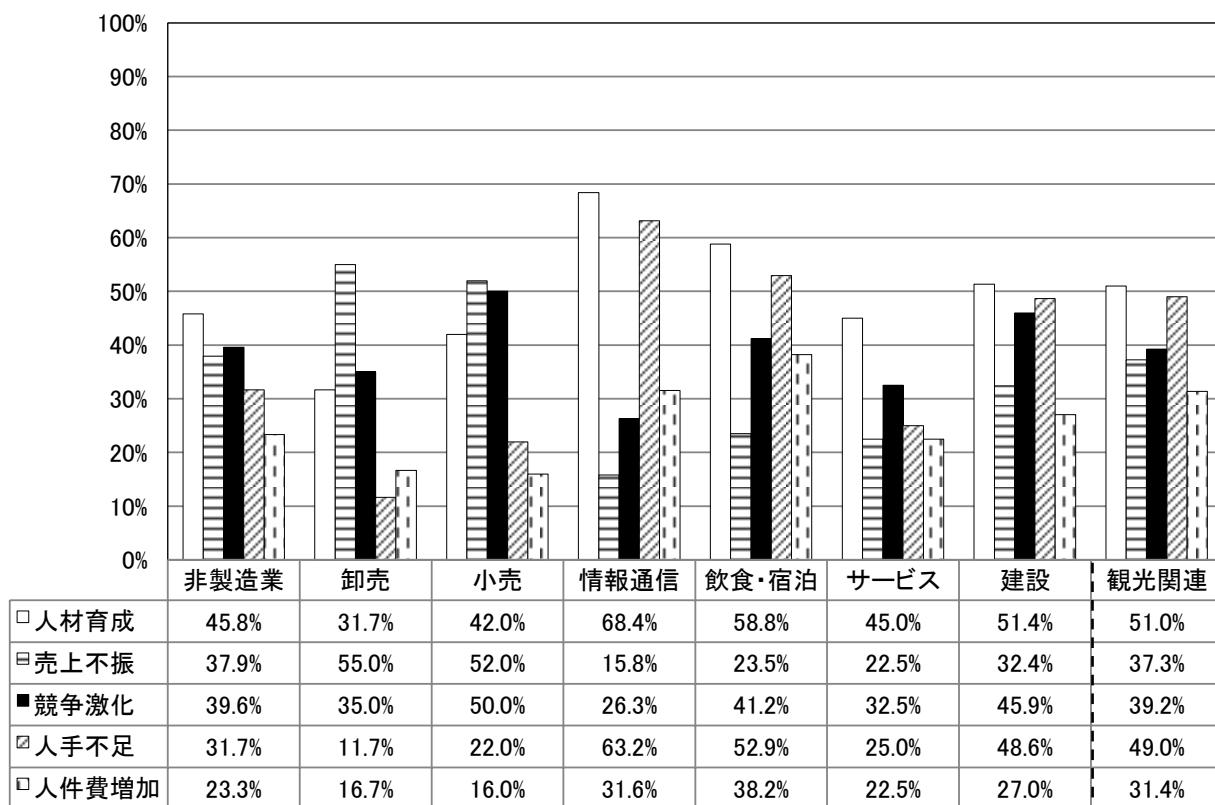


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

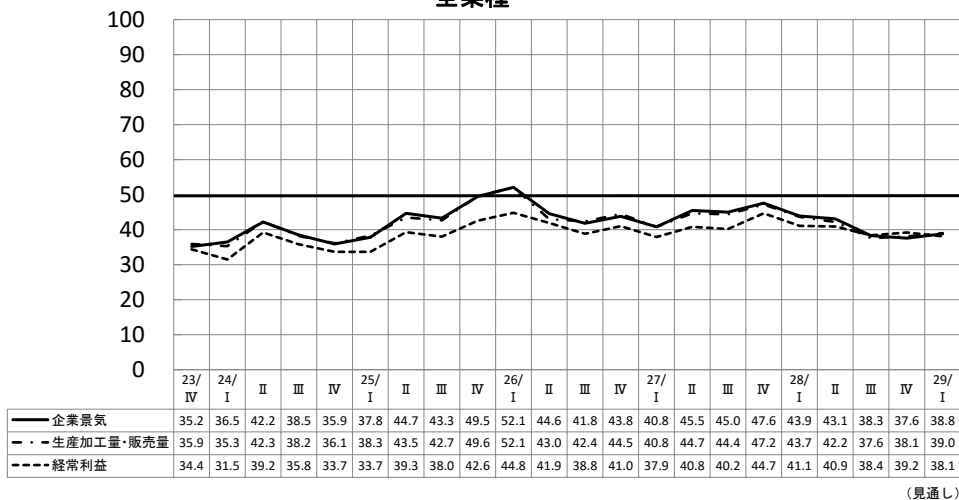


・経営上の不安要素・非製造業主要回答

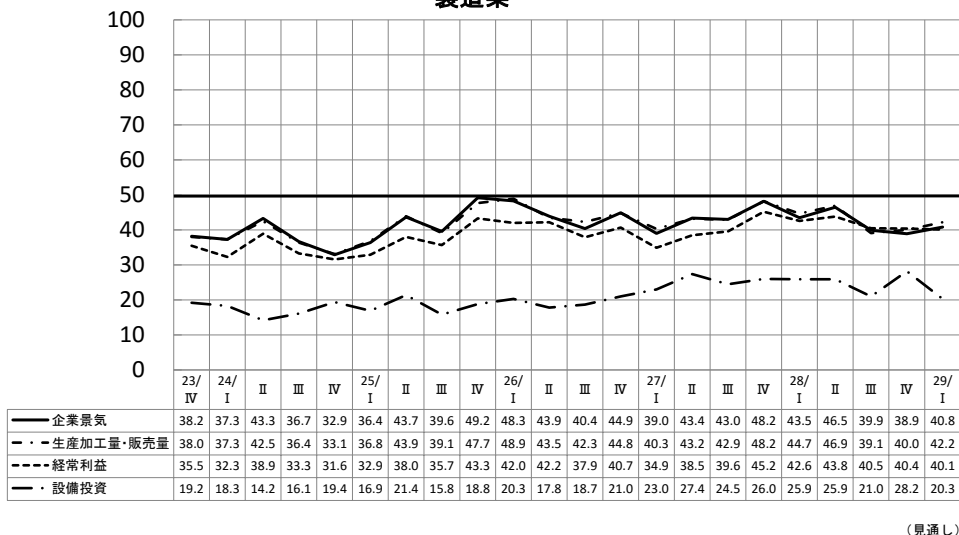


参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

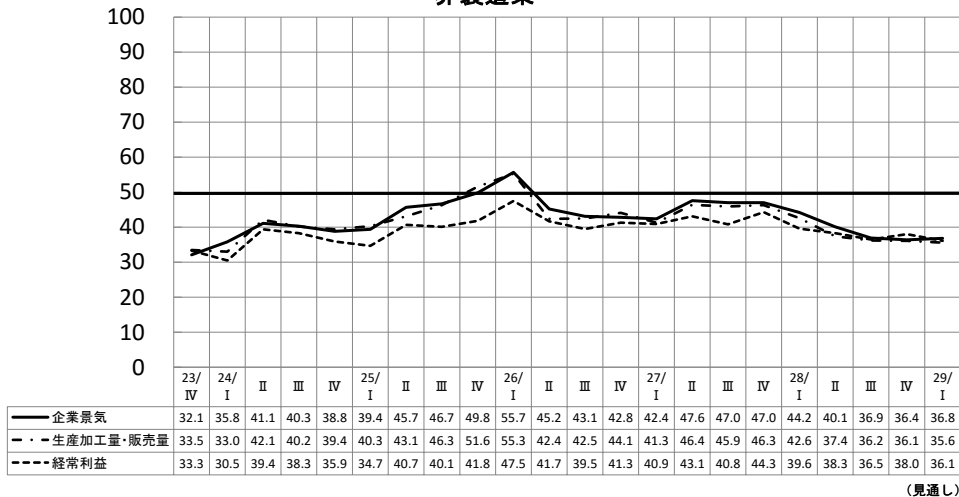
全業種



製造業

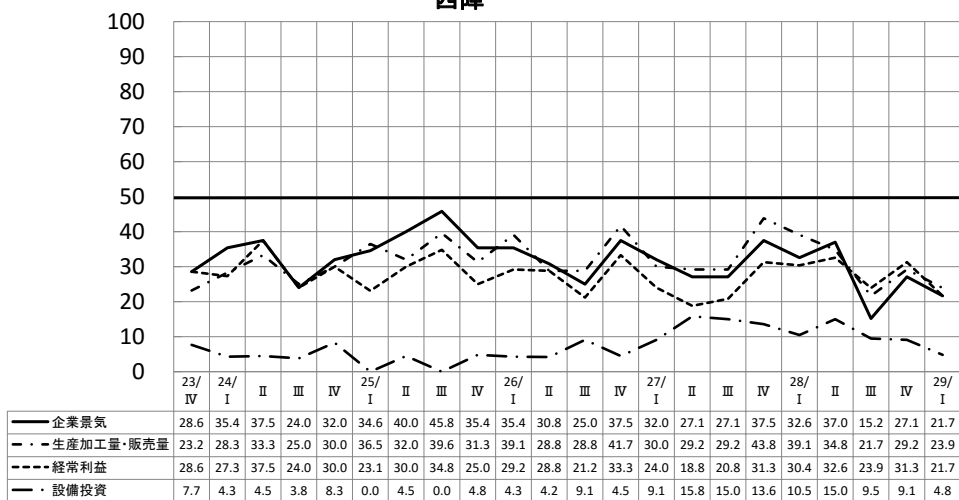


非製造業



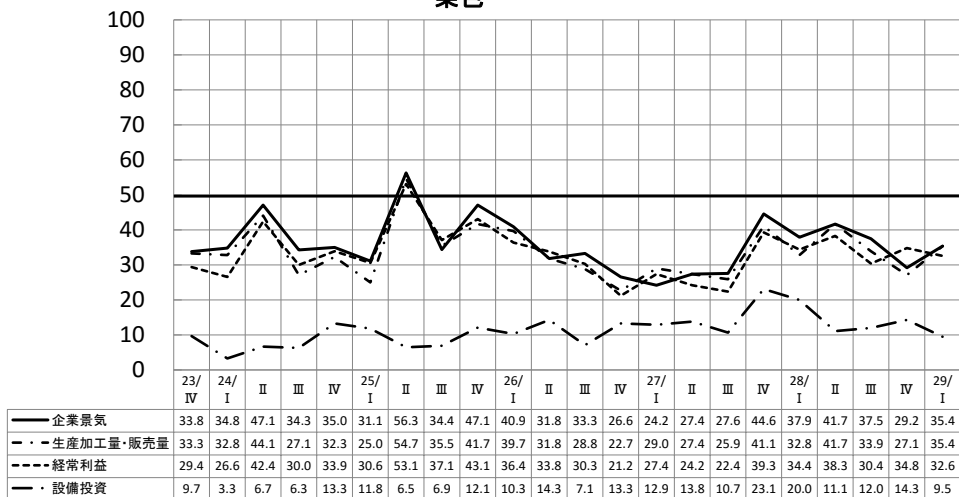
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



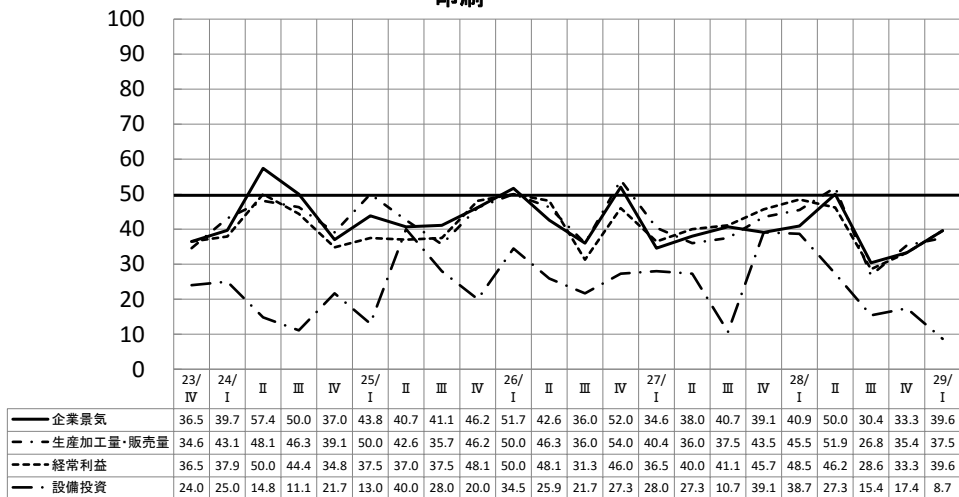
(見通し)

染色



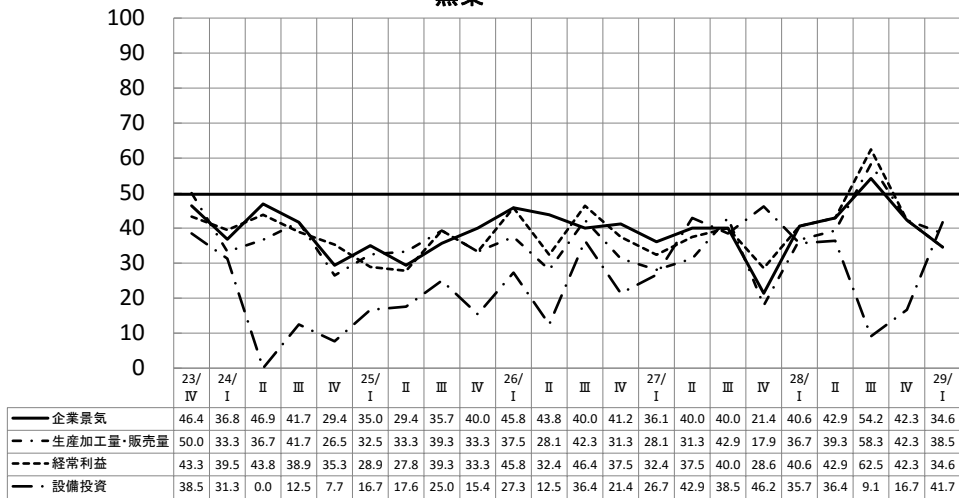
(見通し)

印刷



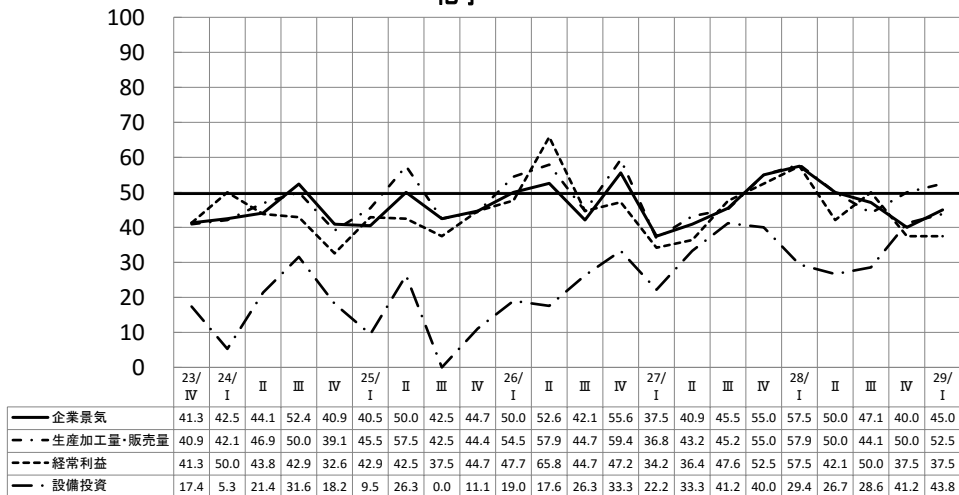
(見通し)

窯業



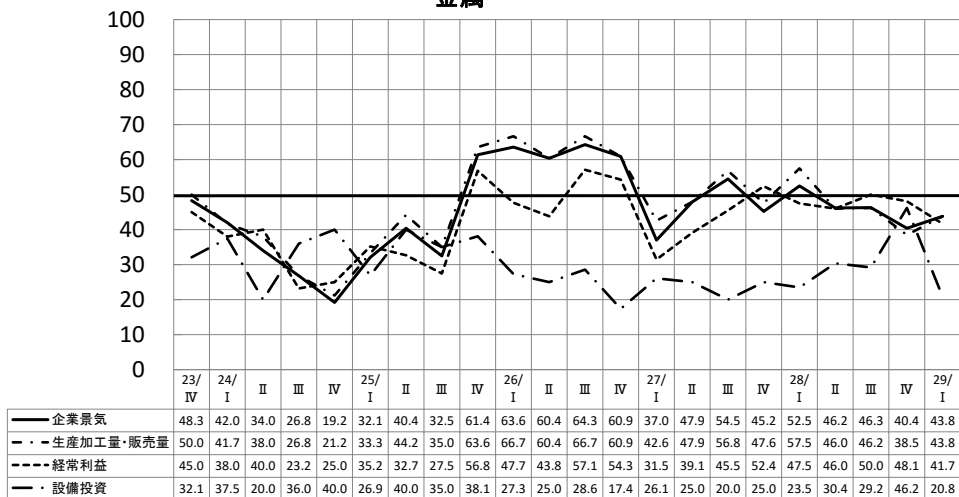
(見通し)

化学



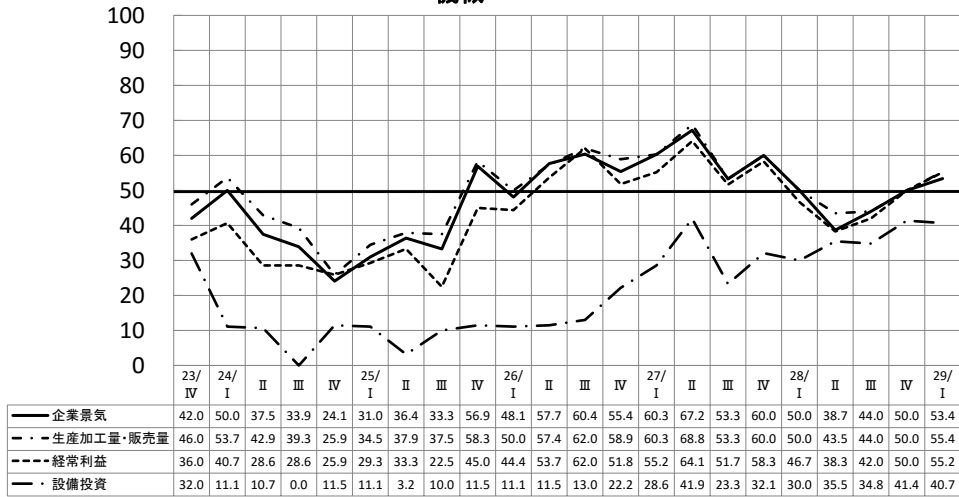
(見通し)

金属



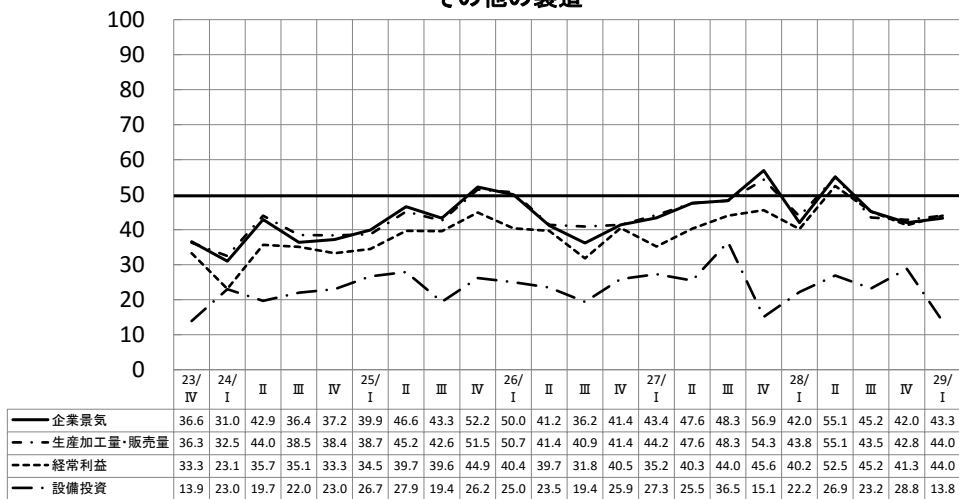
(見通し)

機械



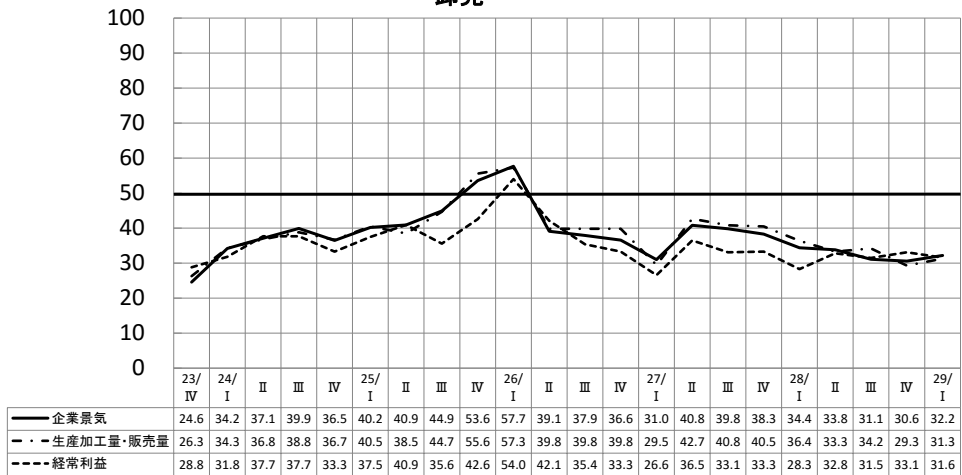
(見通し)

その他の製造



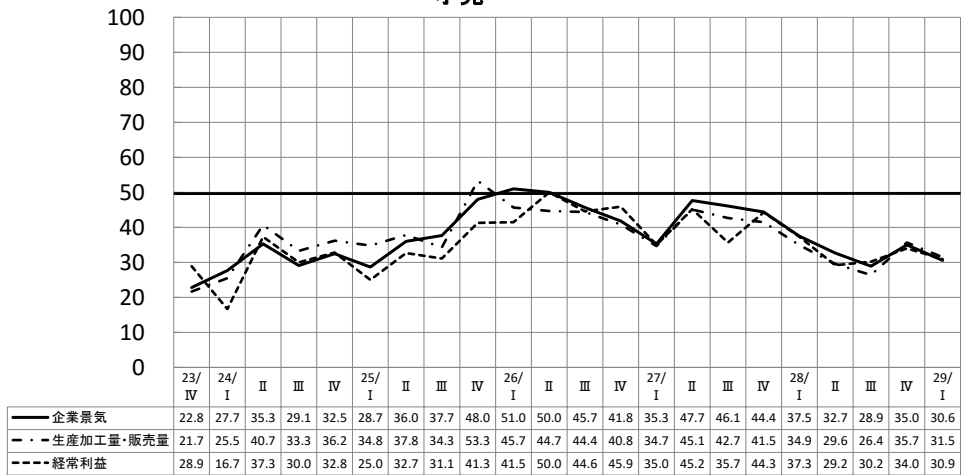
(見通し)

卸売



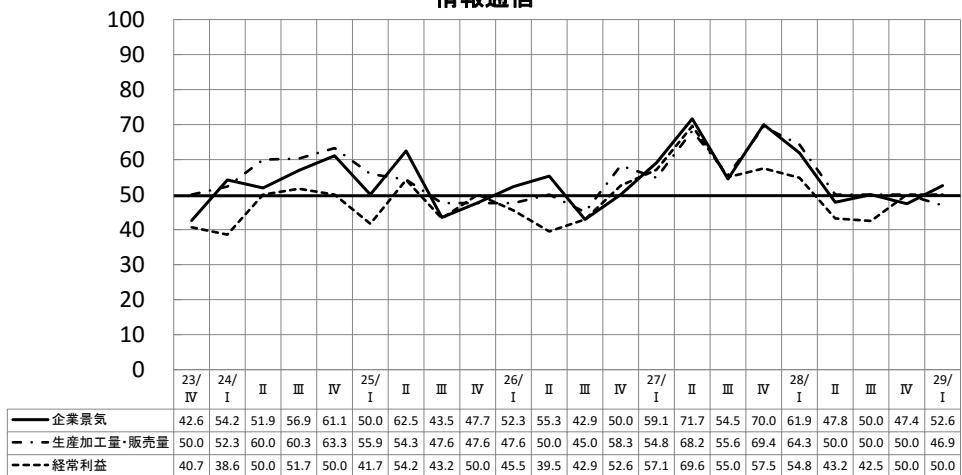
(見通し)

小売



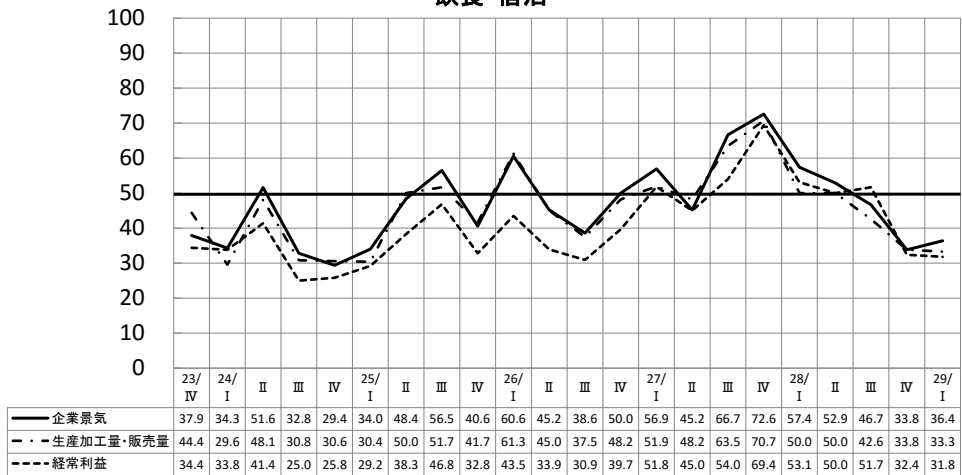
(見通し)

情報通信



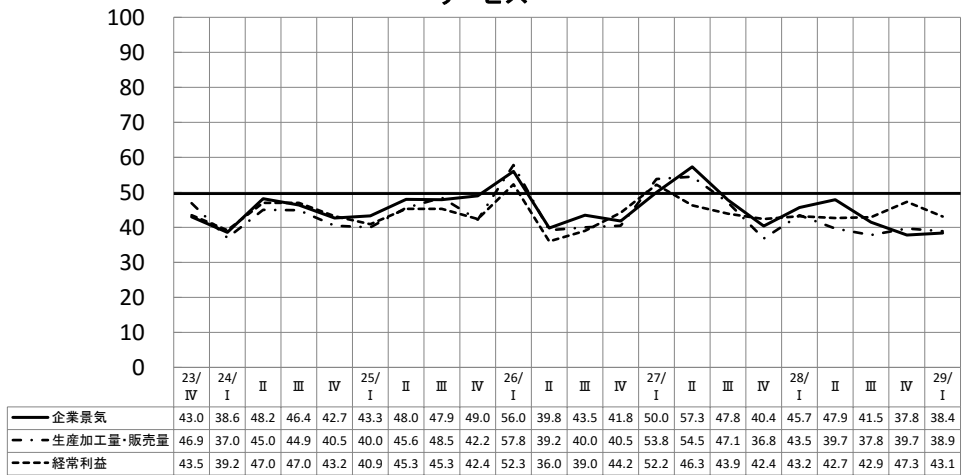
(見通し)

飲食・宿泊



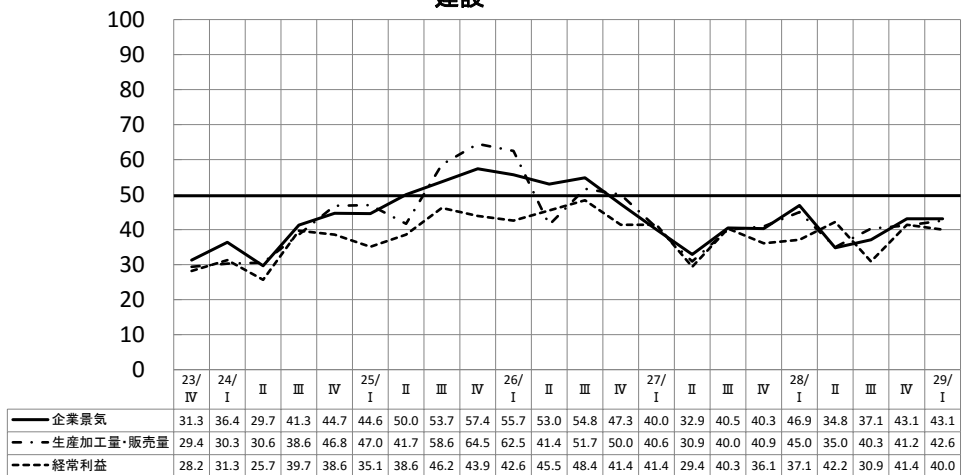
(見通し)

サービス



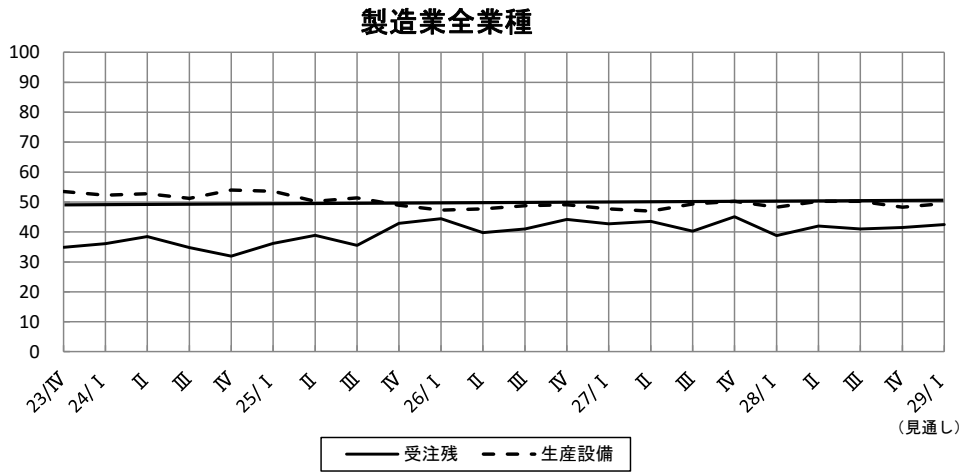
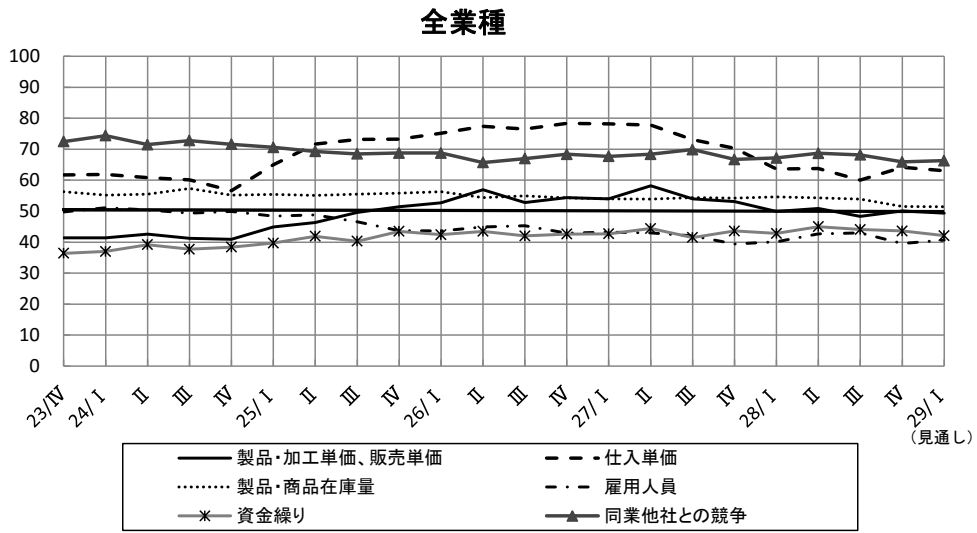
(見通し)

建設

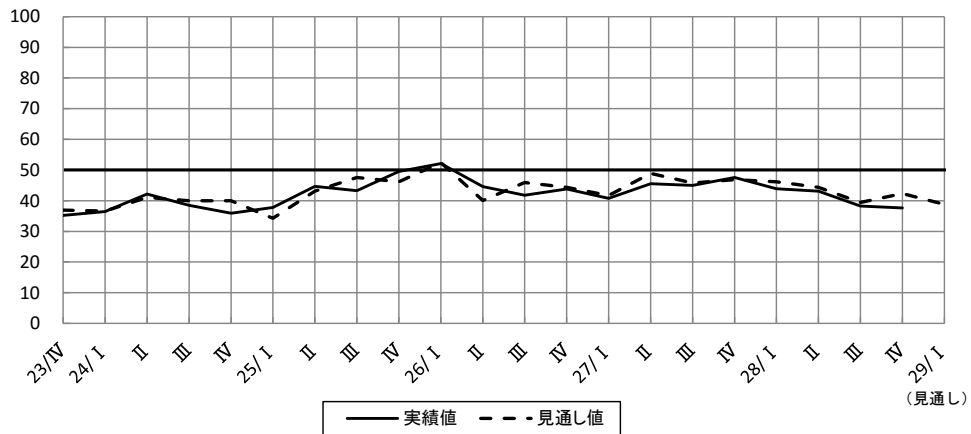


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	16
1. 企業景気.....	16
2. 生産加工量・販売量.....	18
3. 経常利益.....	20
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	22
5. 仕入単価.....	24
6. 製品・商品在庫量.....	26
7. 雇用人員.....	28
8. 資金繰り.....	30
9. 同業他社との競争.....	32
10. 受注残.....	34
11. 生産設備.....	35
12. 設備投資.....	36
(2) 当面の経営戦略について.....	37
(3) 経営上の不安要素について.....	46
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	56

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

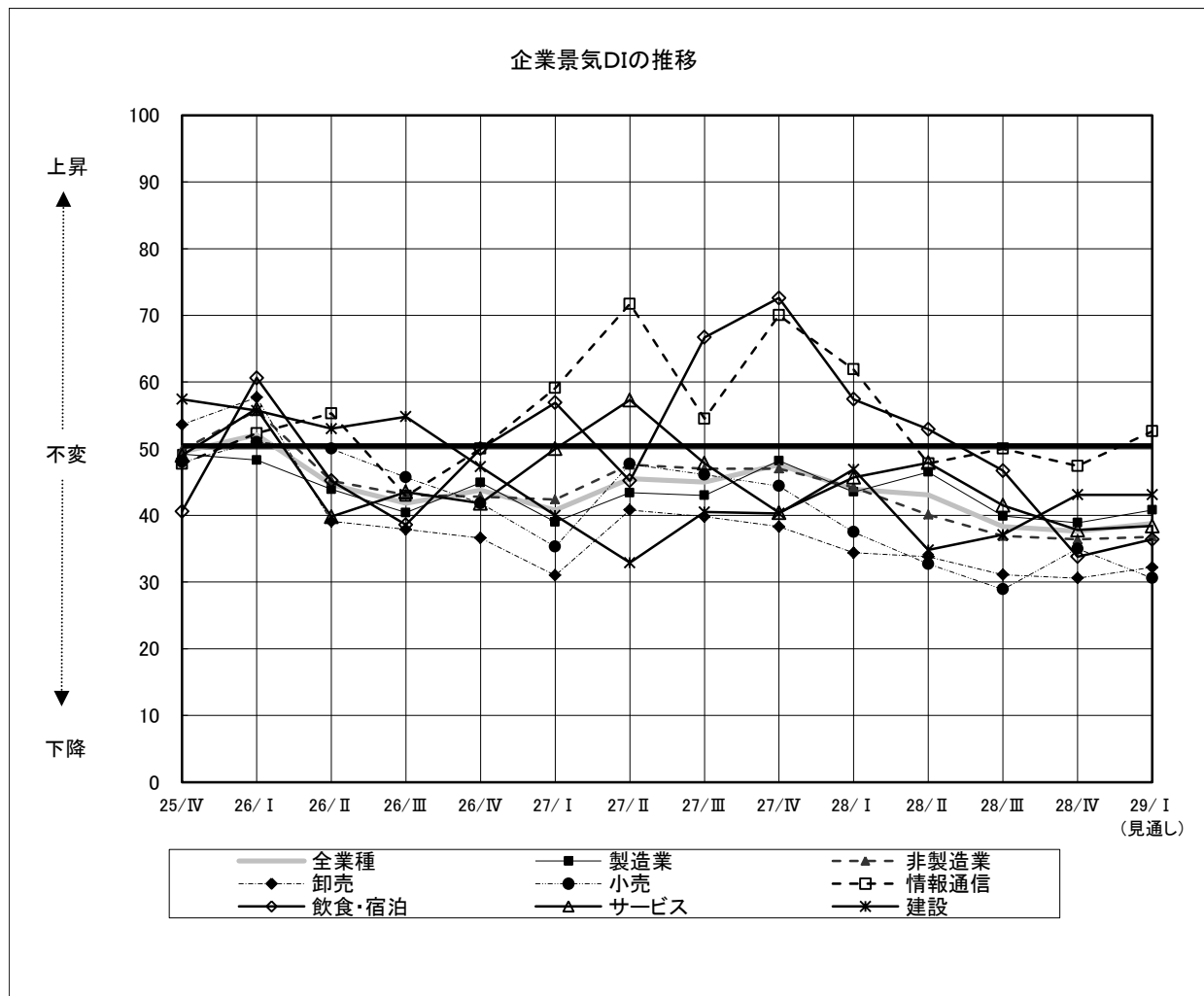


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

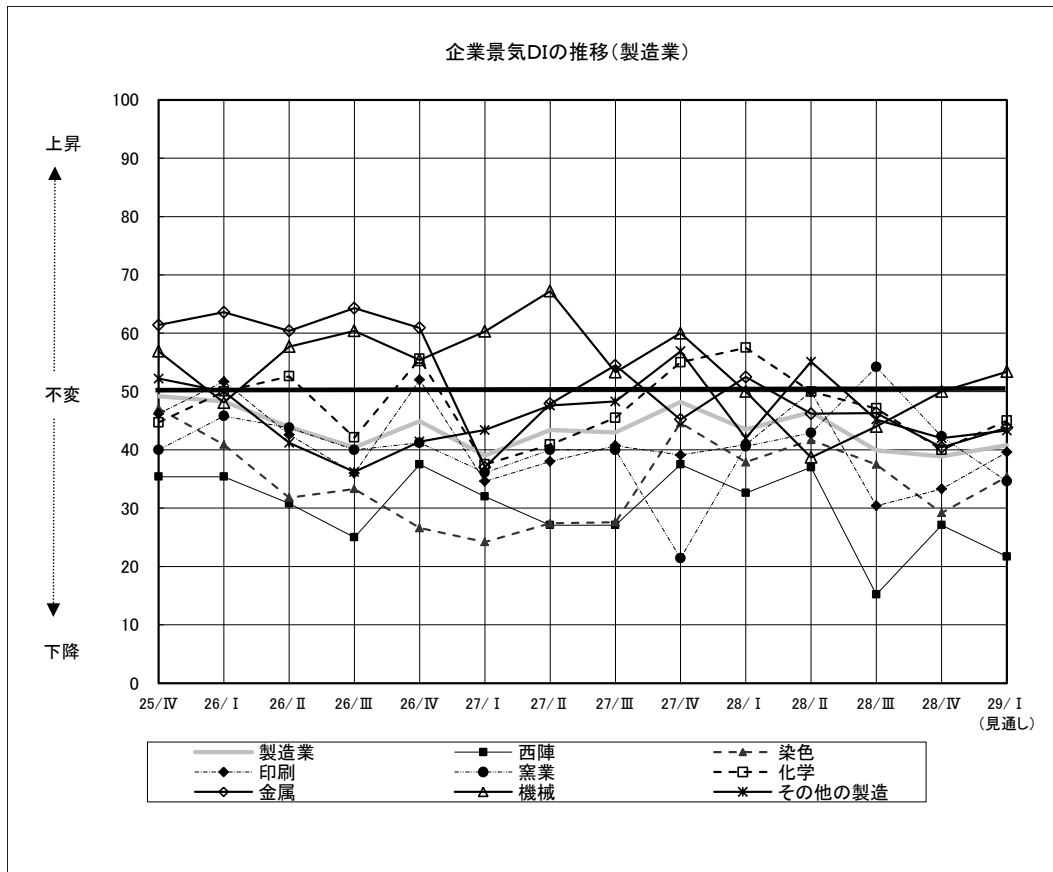


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	38.3	37.6	▼ 0.7	38.8 △ 1.2
製造業	39.9	38.9	▼ 1.0	40.8 △ 1.9
西陣	15.2	27.1	△ 11.9	21.7 ▼ 5.4
染色	37.5	29.2	▼ 8.3	35.4 △ 6.2
印刷	30.4	33.3	△ 2.9	39.6 △ 6.3
窯業	54.2	42.3	▼ 11.9	34.6 ▼ 7.7
化学	47.1	40.0	▼ 7.1	45.0 △ 5.0
金属	46.3	40.4	▼ 5.9	43.8 △ 3.4
機械	44.0	50.0	△ 6.0	53.4 △ 3.4
其他の製造	45.2	42.0	▼ 3.2	43.3 △ 1.3
非製造業	36.9	36.4	▼ 0.5	36.8 △ 0.4
卸売	31.1	30.6	▼ 0.5	32.2 △ 1.6
小売	28.9	35.0	△ 6.1	30.6 ▼ 4.4
情報通信	50.0	47.4	▼ 2.6	52.6 △ 5.2
飲食・宿泊	46.7	33.8	▼ 12.9	36.4 △ 2.6
サービス	41.5	37.8	▼ 3.7	38.4 △ 0.6
建設	37.1	43.1	△ 6.0	43.1 0.0
観光関連	35.6	25.5	▼ 10.1	29.6 △ 4.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

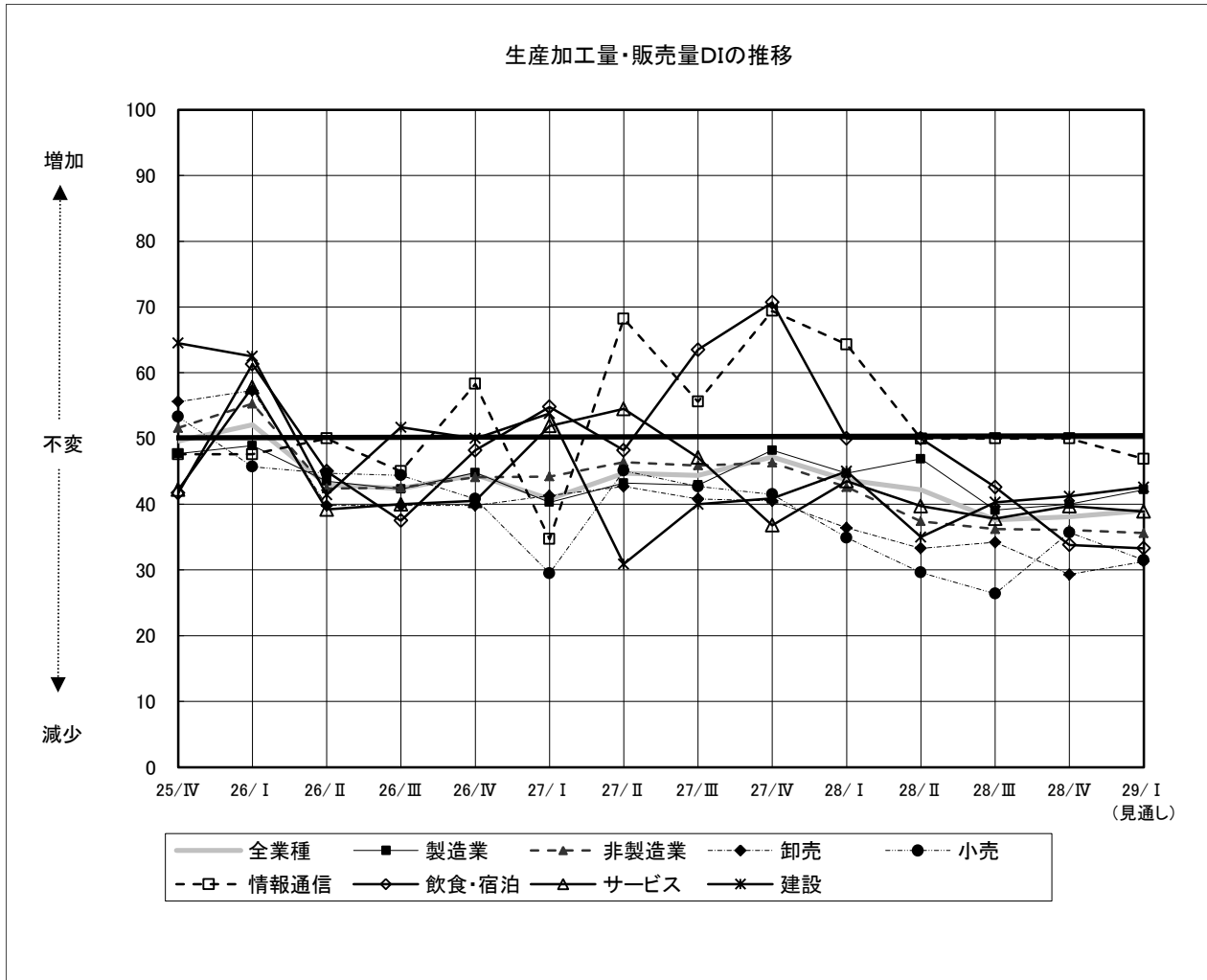


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

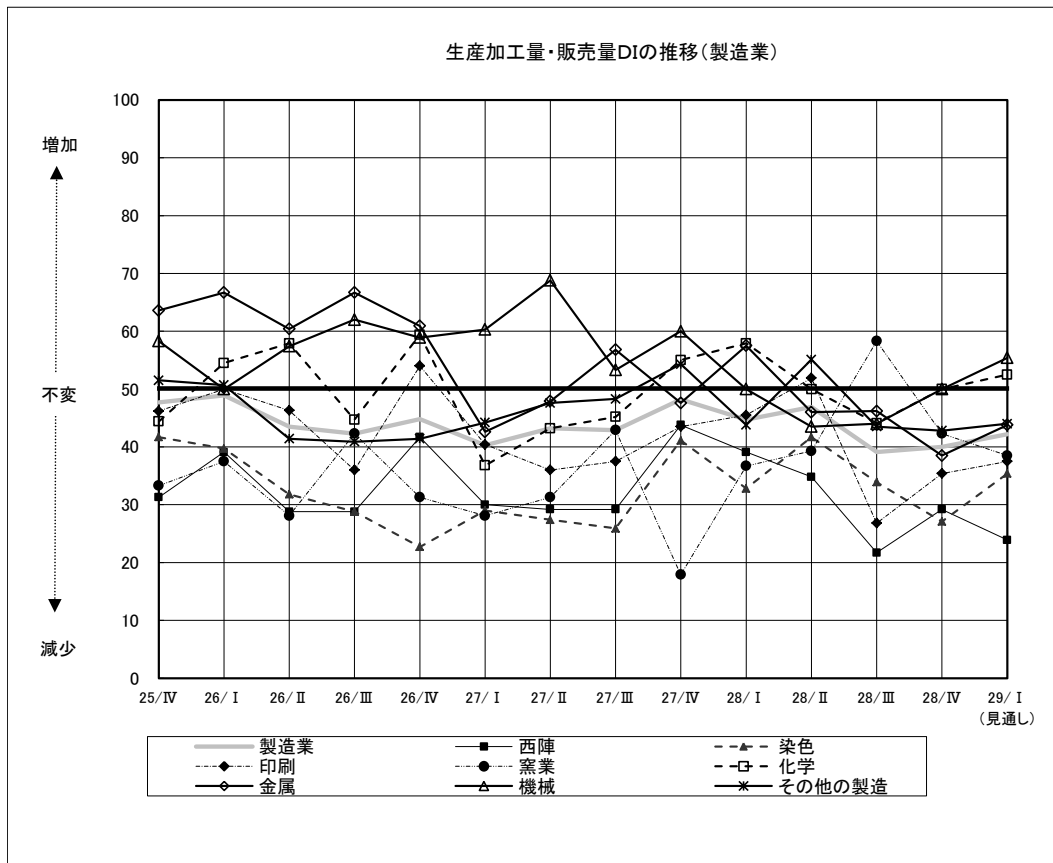


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し		
			前期比	今期比	
全業種	37.6	38.1	△ 0.5	39.0	△ 0.9
製造業	39.1	40.0	△ 0.9	42.2	△ 2.2
西陣	21.7	29.2	△ 7.5	23.9	▼ 5.3
染色	33.9	27.1	▼ 6.8	35.4	△ 8.3
印刷	26.8	35.4	△ 8.6	37.5	△ 2.1
窯業	58.3	42.3	▼ 16.0	38.5	▼ 3.8
化学	44.1	50.0	△ 5.9	52.5	△ 2.5
金属	46.2	38.5	▼ 7.7	43.8	△ 5.3
機械	44.0	50.0	△ 6.0	55.4	△ 5.4
その他の製造	43.5	42.8	▼ 0.7	44.0	△ 1.2
非製造業	36.2	36.1	▼ 0.1	35.6	▼ 0.5
卸売	34.2	29.3	▼ 4.9	31.3	△ 2.0
小売	26.4	35.7	△ 9.3	31.5	▼ 4.2
情報通信	50.0	50.0	0.0	46.9	▼ 3.1
飲食・宿泊	42.6	33.8	▼ 8.8	33.3	▼ 0.5
サービス	37.8	39.7	△ 1.9	38.9	▼ 0.8
建設	40.3	41.2	△ 0.9	42.6	△ 1.4
観光関連	34.7	26.5	▼ 8.2	30.2	△ 3.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移（全体）

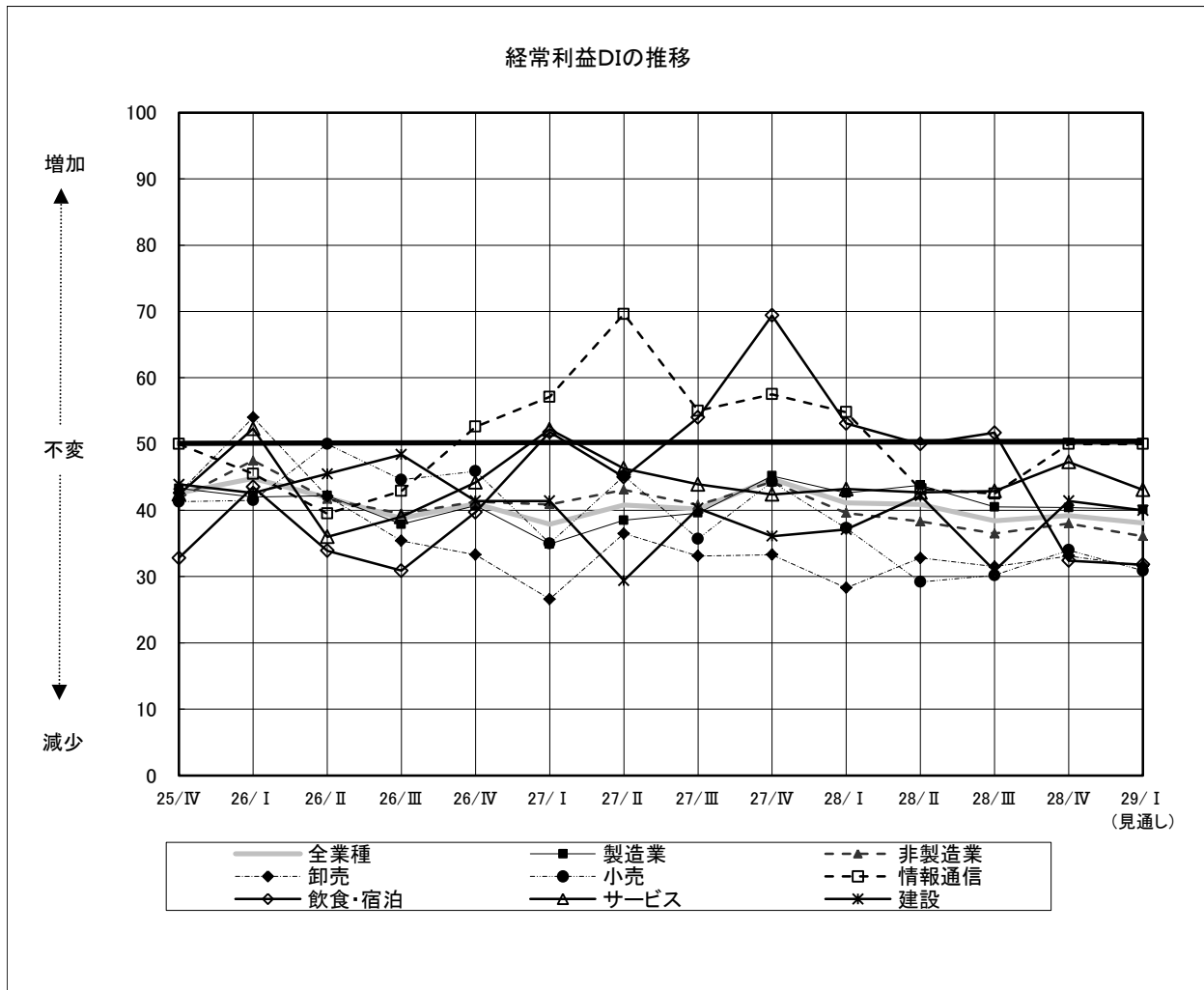


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

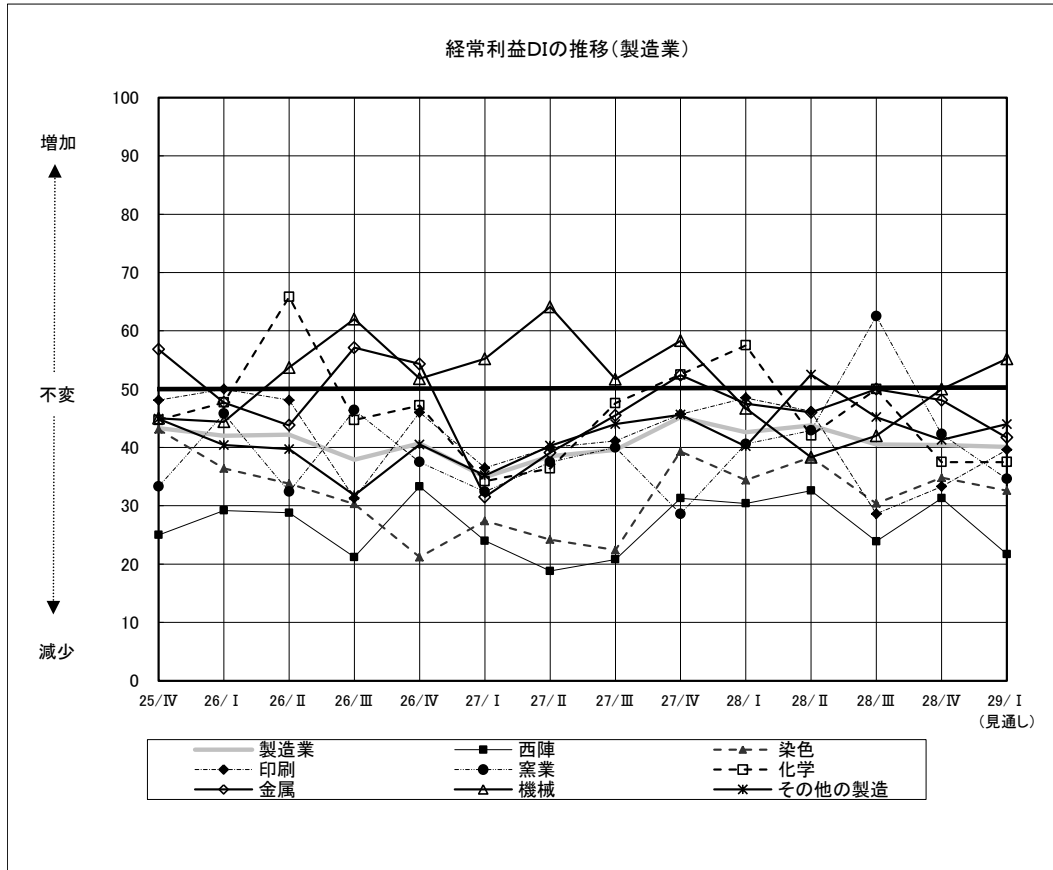


表3. 経常利益DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	38.4	39.2	△ 0.8	38.1	▼ 1.1
製造業	40.5	40.4	▼ 0.1	40.1	▼ 0.3
西陣	23.9	31.3	△ 7.4	21.7	▼ 9.6
染色	30.4	34.8	△ 4.4	32.6	▼ 2.2
印刷	28.6	33.3	△ 4.7	39.6	△ 6.3
窯業	62.5	42.3	▼ 20.2	34.6	▼ 7.7
化学	50.0	37.5	▼ 12.5	37.5	0.0
金属	50.0	48.1	▼ 1.9	41.7	▼ 6.4
機械	42.0	50.0	△ 8.0	55.2	△ 5.2
その他の製造	45.2	41.3	▼ 3.9	44.0	△ 2.7
非製造業	36.5	38.0	△ 1.5	36.1	▼ 1.9
卸売	31.5	33.1	△ 1.6	31.6	▼ 1.5
小売	30.2	34.0	△ 3.8	30.9	▼ 3.1
情報通信	42.5	50.0	△ 7.5	50.0	0.0
飲食・宿泊	51.7	32.4	▼ 19.3	31.8	▼ 0.6
サービス	42.9	47.3	△ 4.4	43.1	▼ 4.2
建設	30.9	41.4	△ 10.5	40.0	▼ 1.4
観光関連	36.7	25.5	▼ 11.2	28.1	△ 2.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

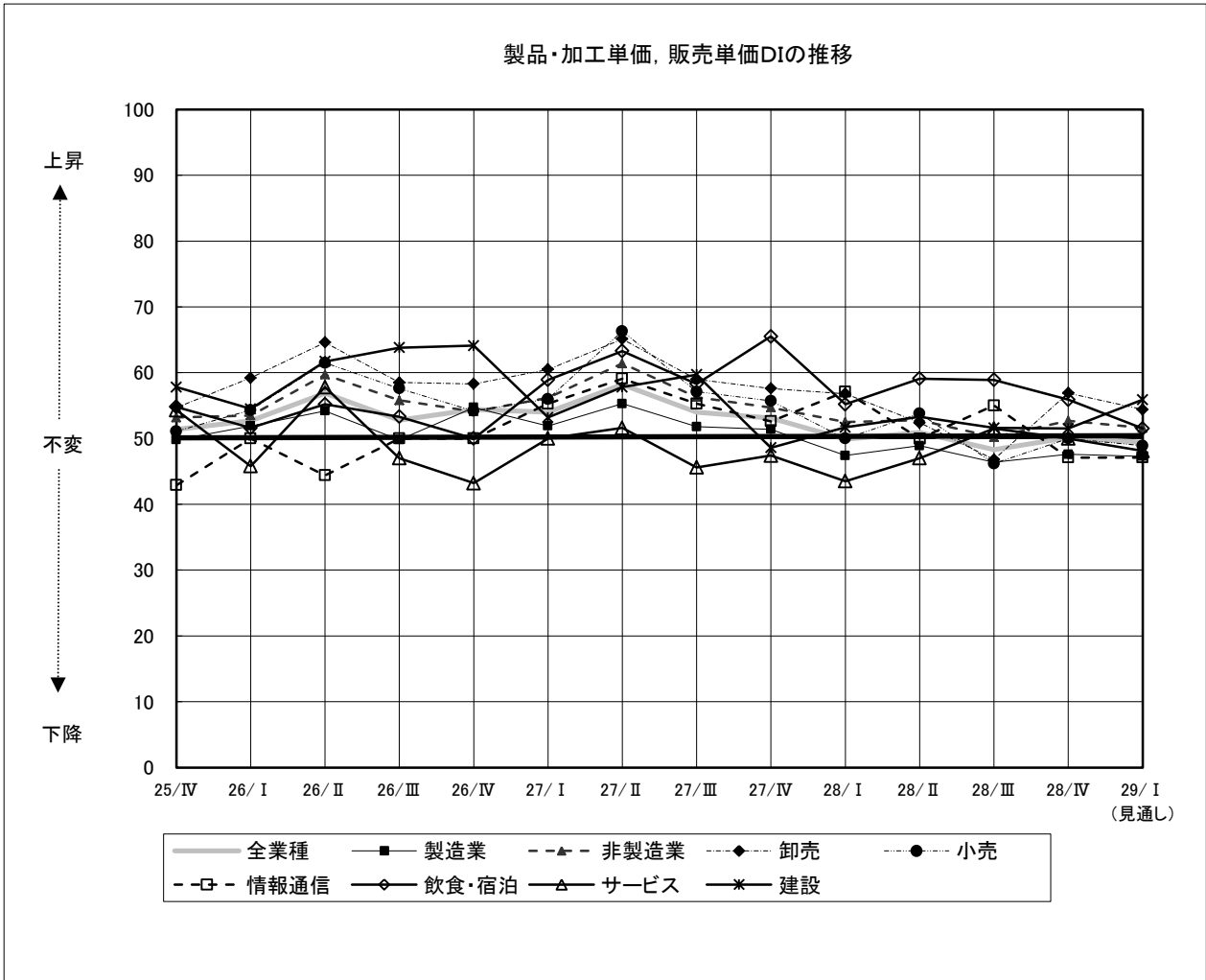


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

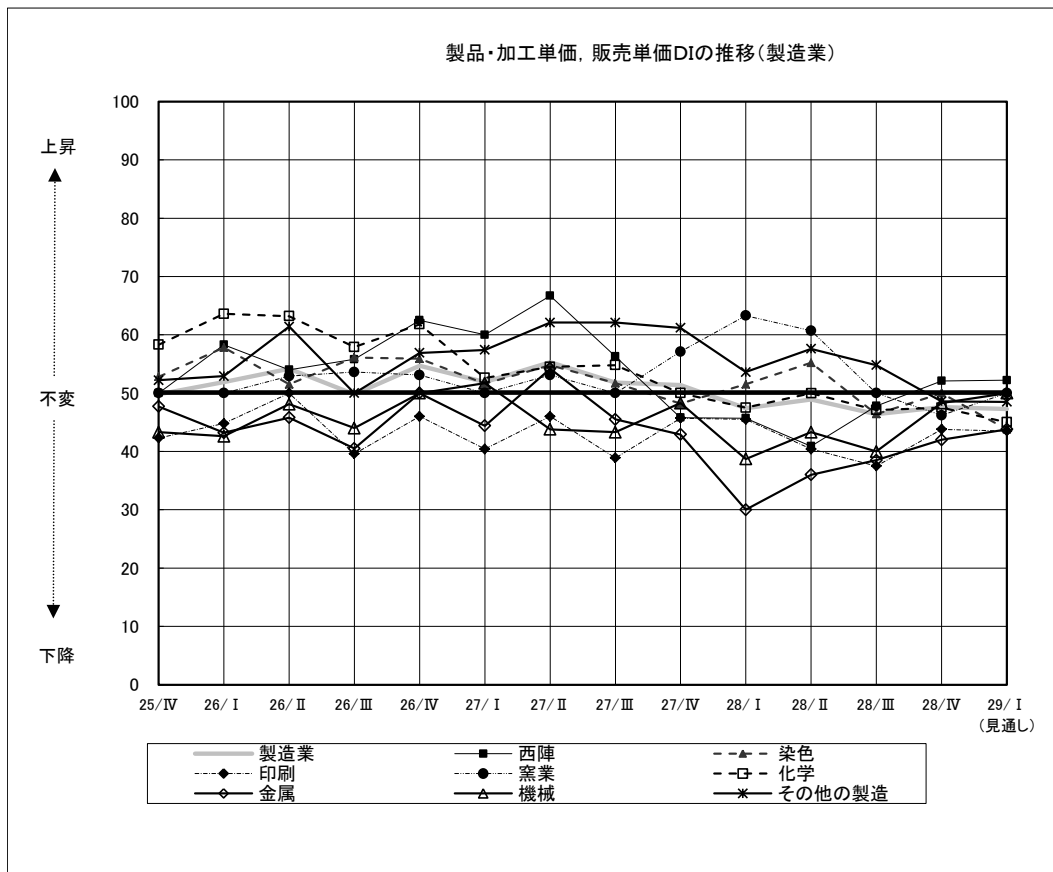


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	48.3	50.1	△ 1.8	49.4	▼ 0.7
製造業	46.4	47.6	△ 1.2	47.3	▼ 0.3
西陣	47.8	52.1	△ 4.3	52.2	△ 0.1
染色	46.4	50.0	△ 3.6	43.8	▼ 6.2
印刷	37.5	43.8	△ 6.3	43.5	▼ 0.3
窯業	50.0	46.2	▼ 3.8	50.0	△ 3.8
化学	47.1	47.5	△ 0.4	45.0	▼ 2.5
金属	38.5	42.0	△ 3.5	43.8	△ 1.8
機械	40.0	48.3	△ 8.3	50.0	△ 1.7
その他の製造	54.8	48.6	▼ 6.2	48.5	▼ 0.1
非製造業	50.2	52.7	△ 2.5	51.6	▼ 1.1
卸売	46.8	56.9	△ 10.1	54.4	▼ 2.5
小売	46.2	50.0	△ 3.8	48.9	▼ 1.1
情報通信	55.0	47.1	▼ 7.9	47.1	0.0
飲食・宿泊	58.9	55.9	▼ 3.0	51.5	▼ 4.4
サービス	51.5	50.0	▼ 1.5	48.1	▼ 1.9
建設	51.6	51.5	▼ 0.1	55.9	△ 4.4
観光関連	54.2	52.0	▼ 2.2	45.8	▼ 6.2

※ 網掛けは, 10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

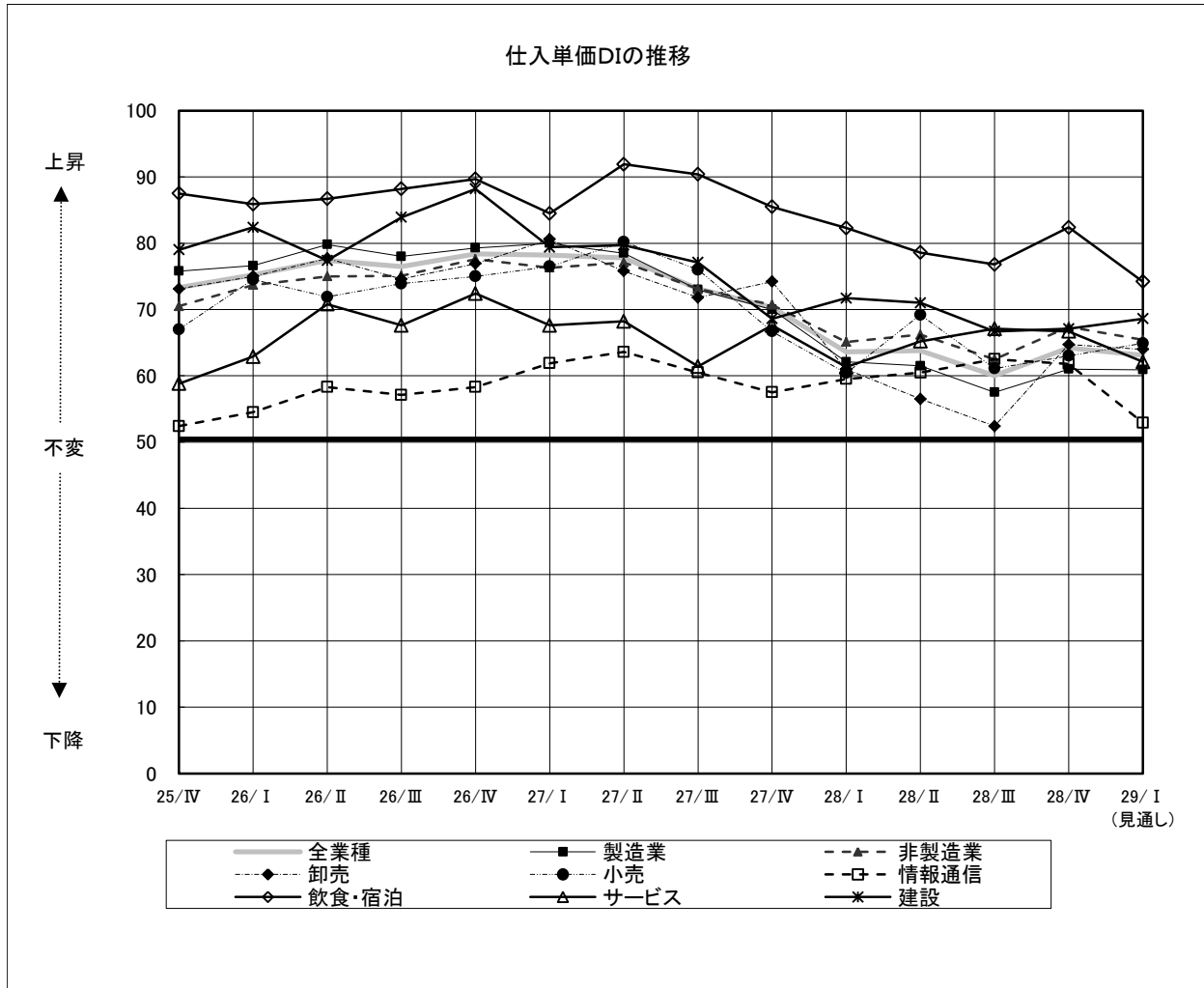


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

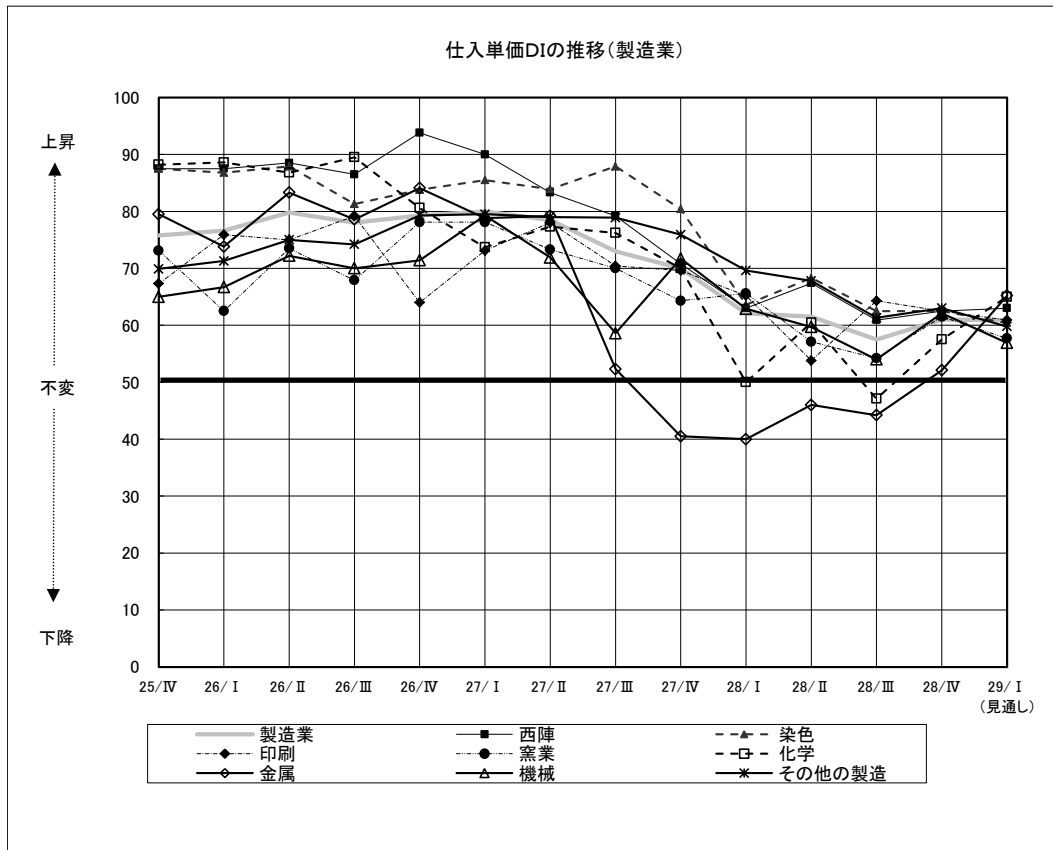


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	60.0	64.2	△ 4.2	63.1	▼ 1.1
製造業	57.5	61.0	△ 3.5	60.9	▼ 0.1
西陣	60.9	62.5	△ 1.6	63.0	△ 0.5
染色	62.5	62.5	0.0	60.4	▼ 2.1
印刷	64.3	62.5	▼ 1.8	60.9	▼ 1.6
窯業	54.2	61.5	△ 7.3	57.7	▼ 3.8
化学	47.1	57.5	△ 10.4	65.0	△ 7.5
金属	44.2	52.1	△ 7.9	65.2	△ 13.1
機械	54.0	62.1	△ 8.1	56.9	▼ 5.2
その他の製造	61.3	63.0	△ 1.7	59.8	▼ 3.2
非製造業	62.5	67.4	△ 4.9	65.4	▼ 2.0
卸売	52.4	64.7	△ 12.3	64.0	▼ 0.7
小売	61.1	63.0	△ 1.9	64.9	△ 1.9
情報通信	62.5	61.8	▼ 0.7	52.9	▼ 8.9
飲食・宿泊	76.8	82.4	△ 5.6	74.2	▼ 8.2
サービス	67.1	66.7	▼ 0.4	62.1	▼ 4.6
建設	66.7	67.1	△ 0.4	68.6	△ 1.5
観光関連	65.3	72.4	△ 7.1	66.0	▼ 6.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

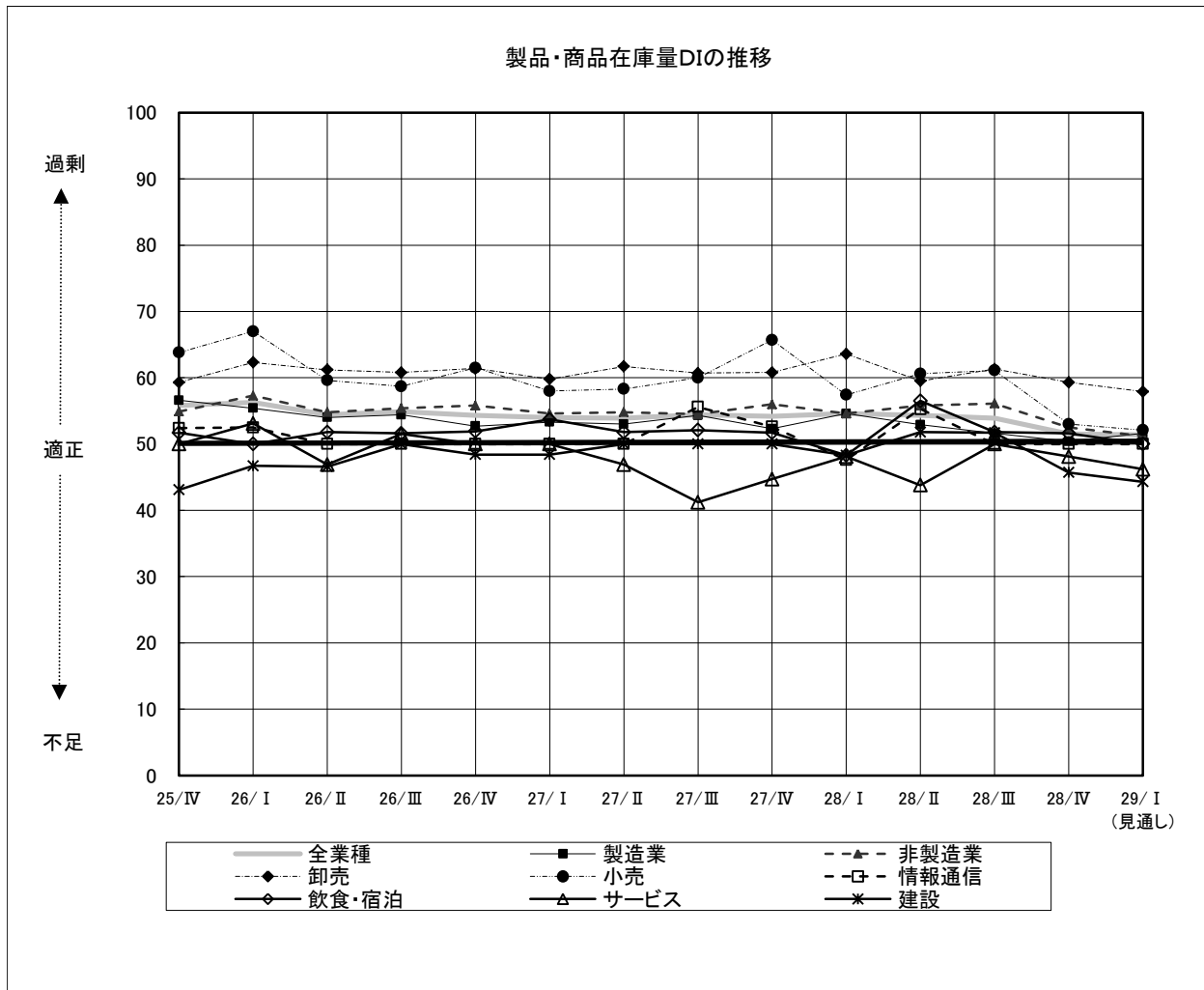


図 12. 製品・商品在庫量DIの推移 (製造業)

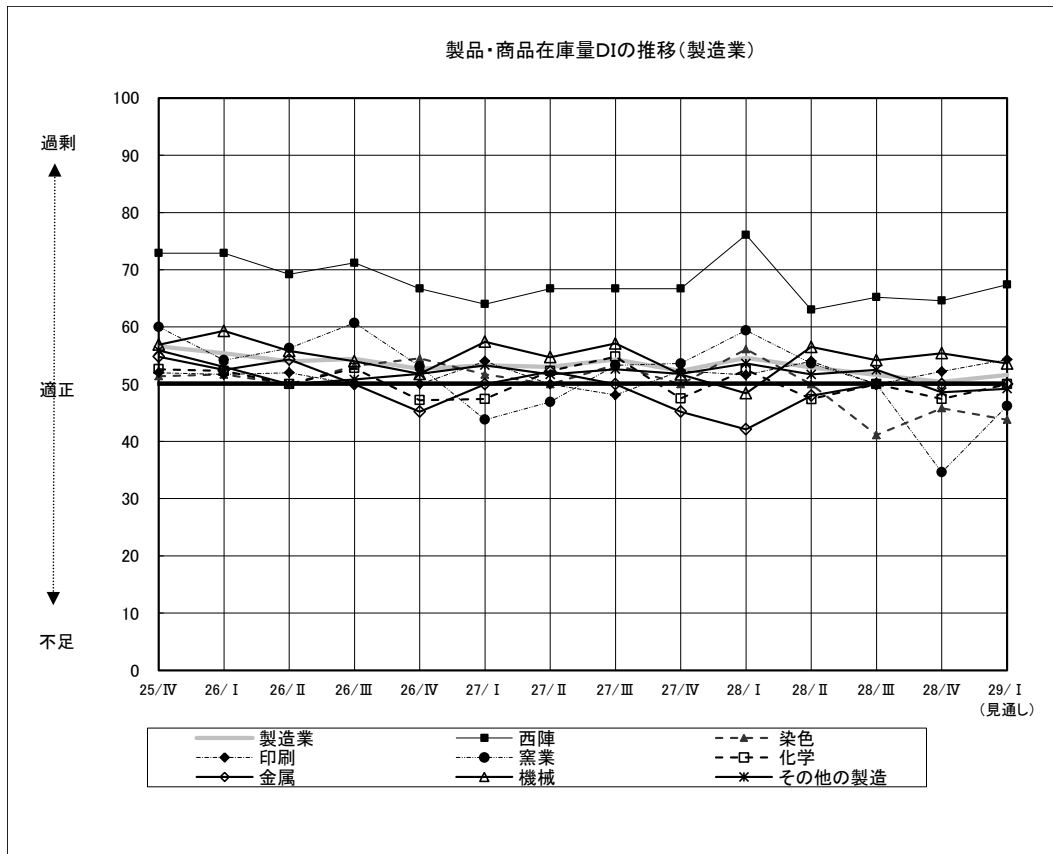


表 6. 製品・商品在庫量DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	53.9	51.5	▼ 2.4	51.4	▼ 0.1
製造業	51.6	50.4	▼ 1.2	51.6	△ 1.2
西陣	65.2	64.6	▼ 0.6	67.4	△ 2.8
染色	41.1	45.8	△ 4.7	43.8	▼ 2.0
印刷	50.0	52.2	△ 2.2	54.3	△ 2.1
窯業	50.0	34.6	▼ 15.4	46.2	△ 11.6
化学	50.0	47.4	▼ 2.6	50.0	△ 2.6
金属	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
機械	54.2	55.4	△ 1.2	53.6	▼ 1.8
その他の製造	52.5	48.6	▼ 3.9	49.2	△ 0.6
非製造業	56.1	52.5	▼ 3.6	51.2	▼ 1.3
卸売	61.3	59.3	▼ 2.0	57.9	▼ 1.4
小売	61.1	53.0	▼ 8.1	52.1	▼ 0.9
情報通信	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
飲食・宿泊	51.8	51.6	▼ 0.2	50.0	▼ 1.6
サービス	50.0	48.1	▼ 1.9	46.2	▼ 1.9
建設	51.7	45.7	▼ 6.0	44.3	▼ 1.4
観光関連	58.2	51.1	▼ 7.1	50.0	▼ 1.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移 (全体)

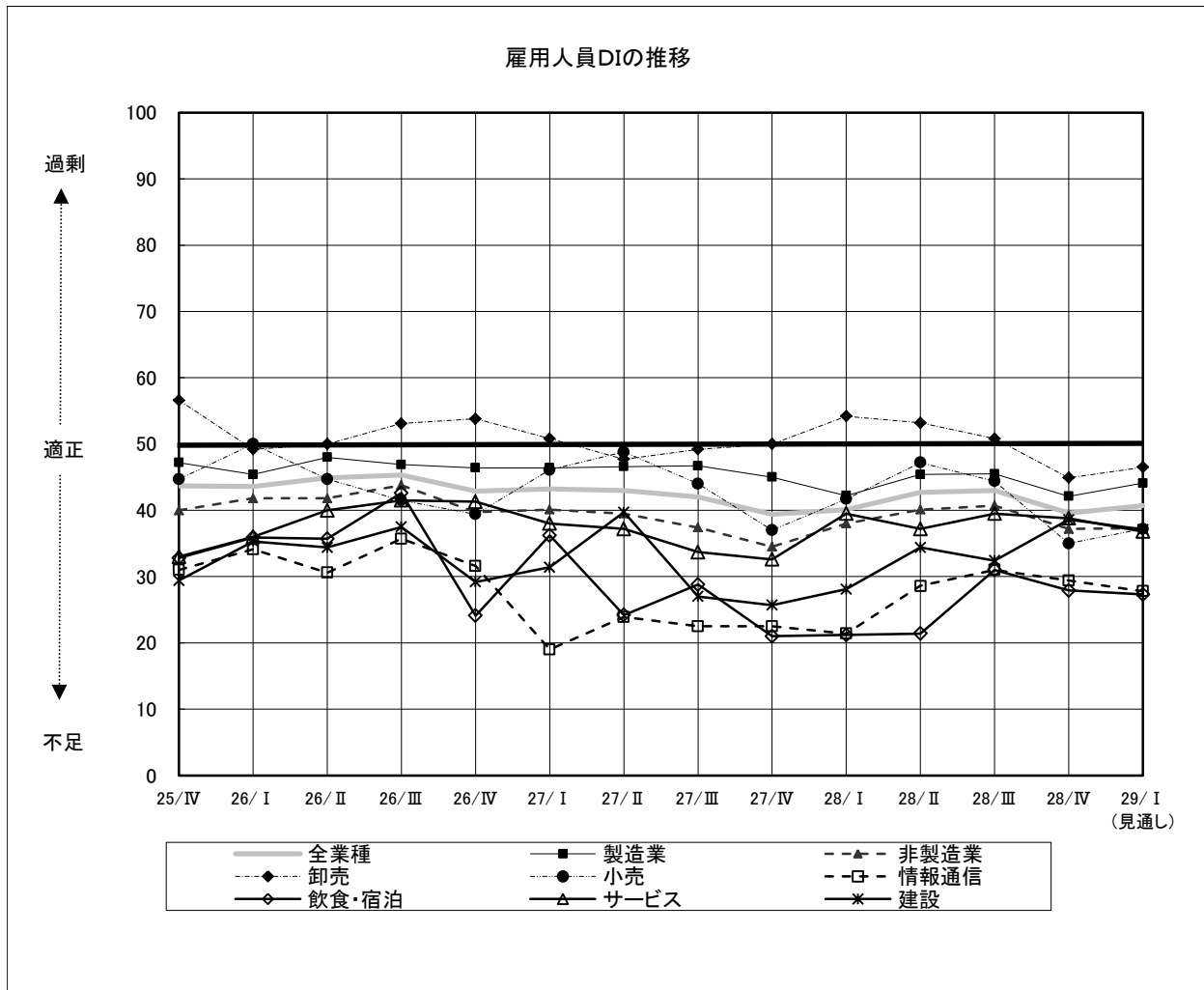


図14. 雇用人員DIの推移（製造業）

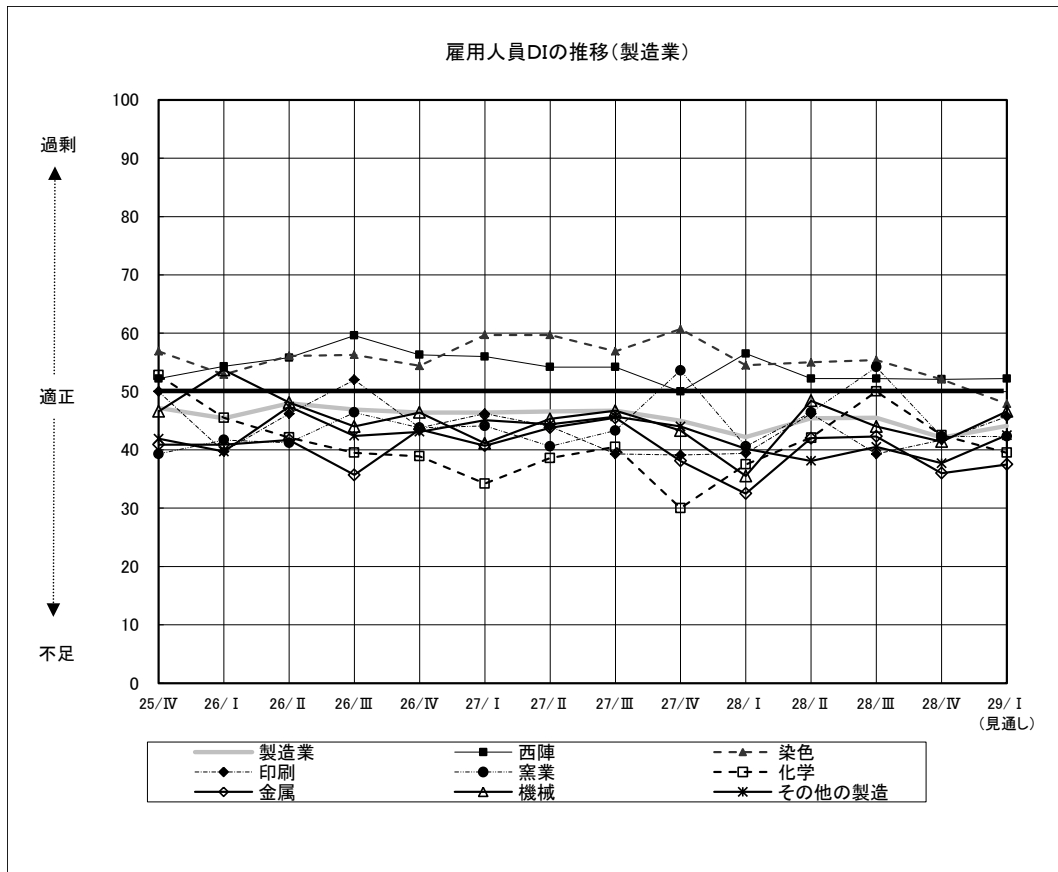


表7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	前期比	来期見通し	今期比
全業種	43.0	39.6	▼ 3.4	40.7	△ 1.1
製造業	45.5	42.1	▼ 3.4	44.1	△ 2.0
西陣	52.2	52.1	▼ 0.1	52.2	△ 0.1
染色	55.4	52.1	▼ 3.3	47.9	▼ 4.2
印刷	39.3	41.7	△ 2.4	45.7	△ 4.0
窯業	54.2	42.3	▼ 11.9	42.3	0.0
化学	50.0	42.5	▼ 7.5	39.5	▼ 3.0
金属	42.3	36.0	▼ 6.3	37.5	△ 1.5
機械	44.0	41.4	▼ 2.6	46.6	△ 5.2
その他の製造	40.5	37.7	▼ 2.8	42.5	△ 4.8
非製造業	40.7	37.2	▼ 3.5	37.3	△ 0.1
卸売	50.8	44.9	▼ 5.9	46.5	△ 1.6
小売	44.4	35.0	▼ 9.4	37.2	△ 2.2
情報通信	31.0	29.4	▼ 1.6	27.8	▼ 1.6
飲食・宿泊	31.0	27.9	▼ 3.1	27.3	▼ 0.6
サービス	39.5	38.8	▼ 0.7	36.8	▼ 2.0
建設	32.4	38.6	△ 6.2	37.1	▼ 1.5
観光関連	31.6	29.6	▼ 2.0	32.3	△ 2.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図15. 資金繰りDIの推移 (全体)

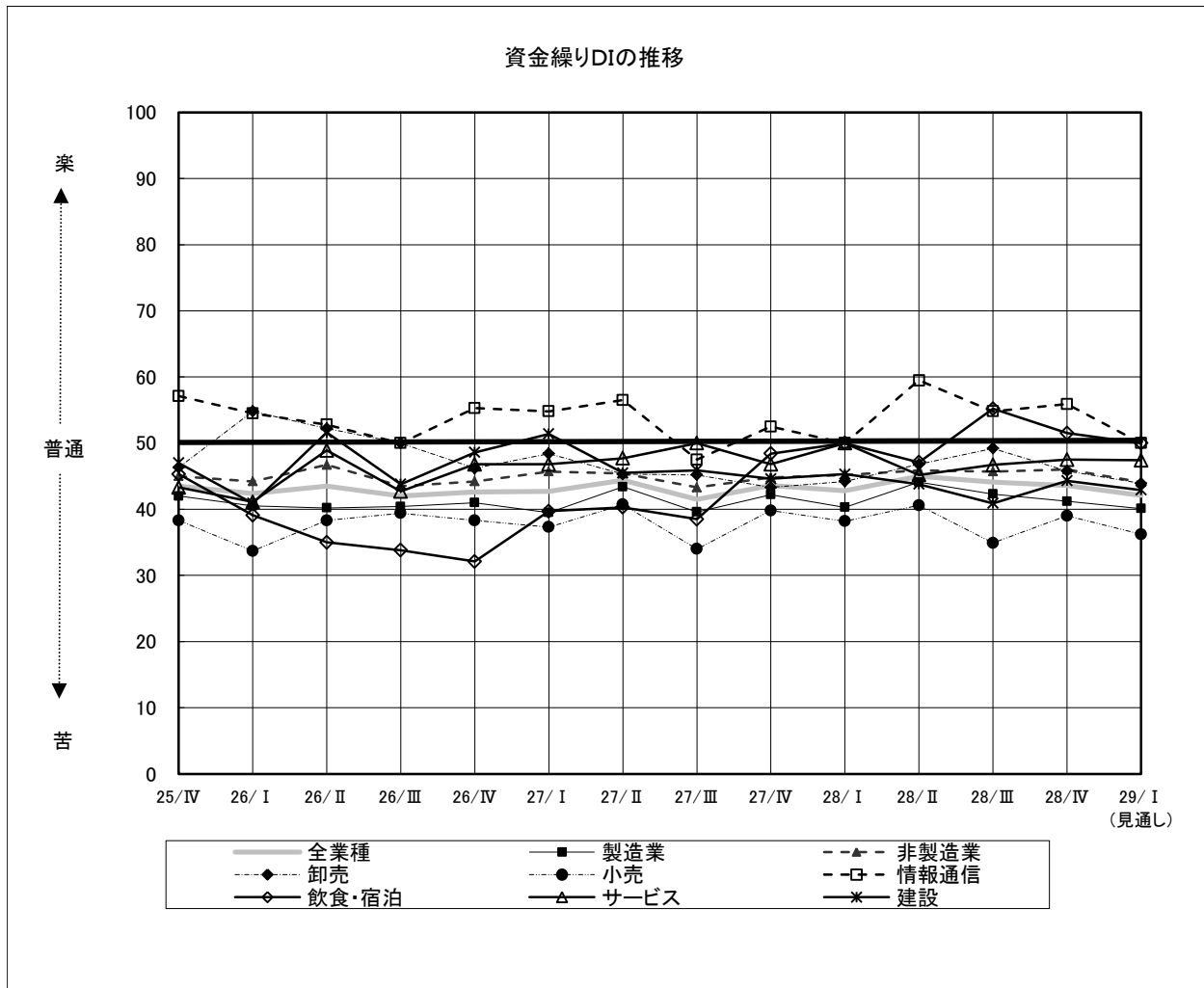


図 16. 資金繰りDIの推移（製造業）

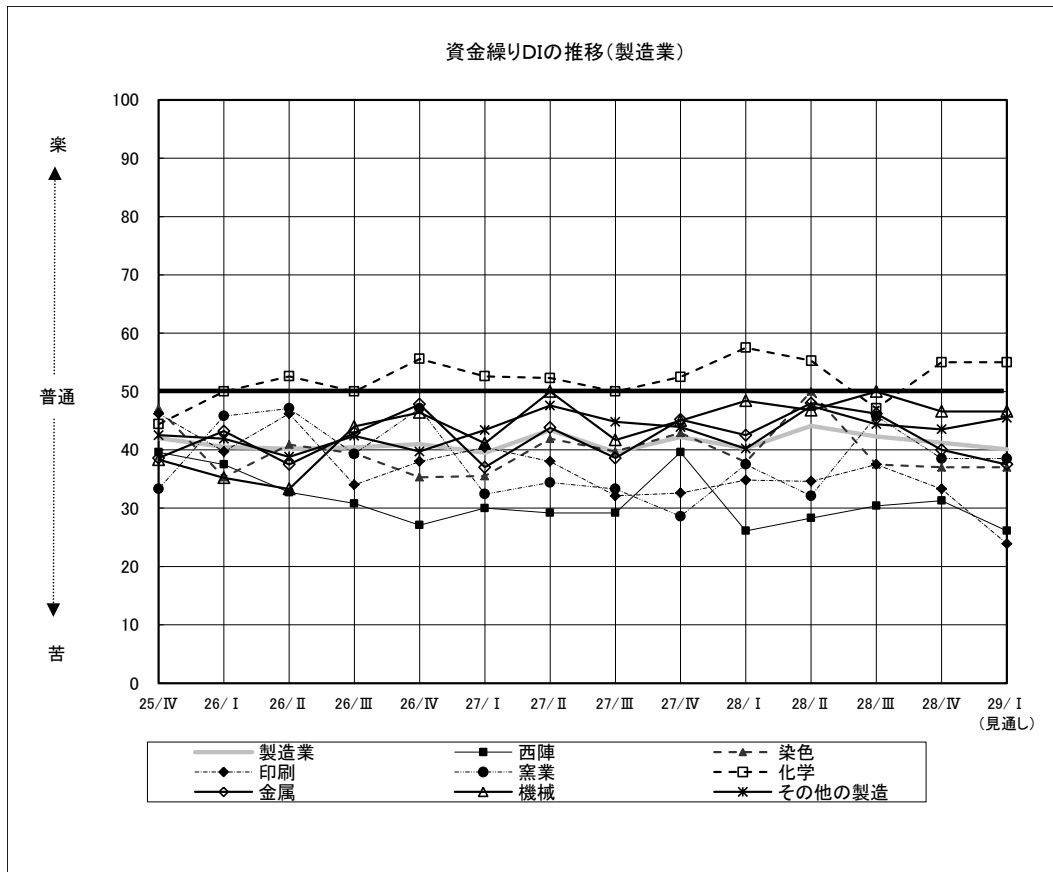


表 8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	44.1	43.6	▼ 0.5	42.1	▼ 1.5
製造業	42.3	41.2	▼ 1.1	40.1	▼ 1.1
西陣	30.4	31.3	△ 0.9	26.1	▼ 5.2
染色	37.5	37.0	▼ 0.5	37.0	0.0
印刷	37.5	33.3	▼ 4.2	23.9	▼ 9.4
窯業	45.8	38.5	▼ 7.3	38.5	0.0
化学	47.1	55.0	△ 7.9	55.0	0.0
金属	46.2	40.0	▼ 6.2	37.5	▼ 2.5
機械	50.0	46.6	▼ 3.4	46.6	0.0
其他の製造	44.4	43.5	▼ 0.9	45.5	△ 2.0
非製造業	45.7	46.0	△ 0.3	44.1	▼ 1.9
卸売	49.2	45.8	▼ 3.4	43.9	▼ 1.9
小売	34.9	39.0	△ 4.1	36.2	▼ 2.8
情報通信	54.8	55.9	△ 1.1	50.0	▼ 5.9
飲食・宿泊	55.2	51.5	▼ 3.7	50.0	▼ 1.5
サービス	46.7	47.5	△ 0.8	47.4	▼ 0.1
建設	40.9	44.3	△ 3.4	42.9	▼ 1.4
観光関連	48.0	46.9	▼ 1.1	45.8	▼ 1.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移（全体）

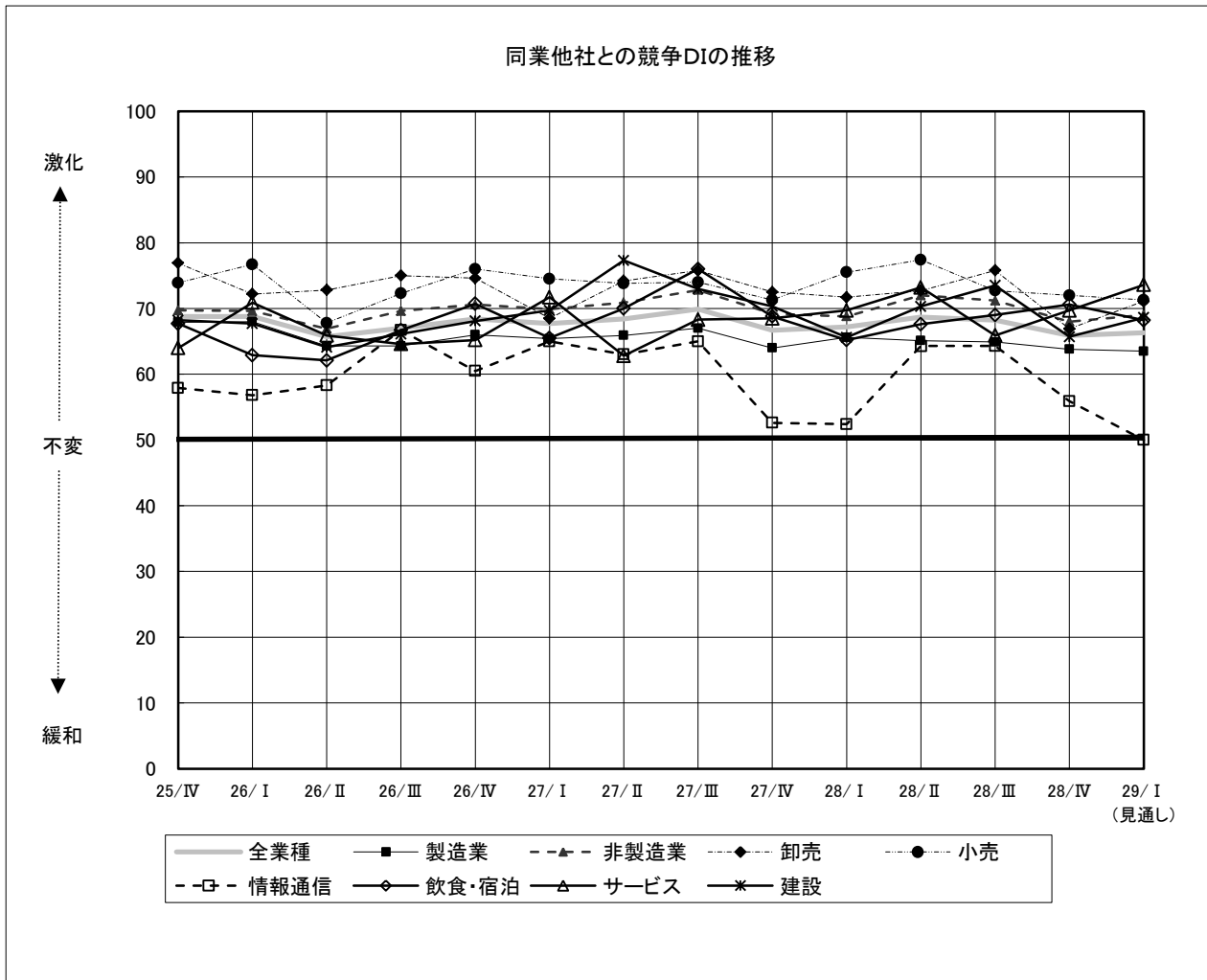


図 18. 同業他社との競争DIの推移 (製造業)

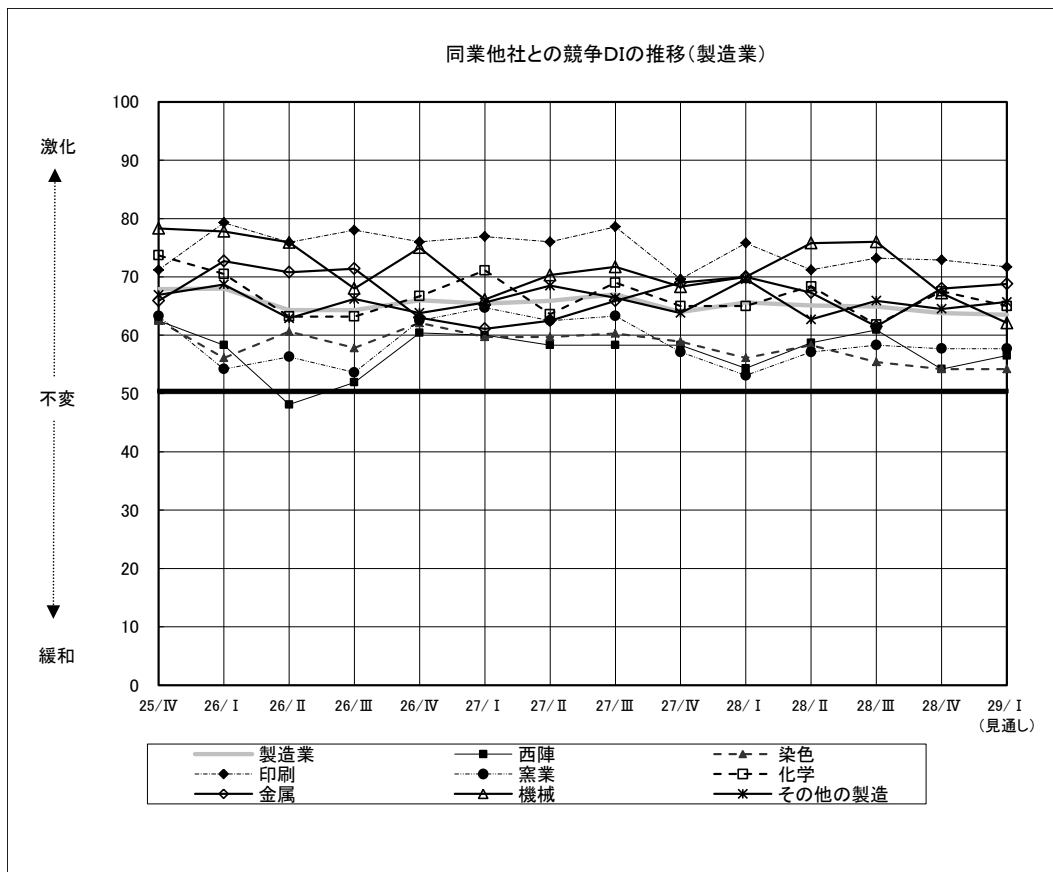


表 9. 同業他社との競争DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	68.2	65.9	▼ 2.3	66.3	△ 0.4
製造業	64.9	63.8	▼ 1.1	63.5	▼ 0.3
西陣	60.9	54.2	▼ 6.7	56.5	△ 2.3
染色	55.4	54.2	▼ 1.2	54.2	0.0
印刷	73.2	72.9	▼ 0.3	71.7	▼ 1.2
窯業	58.3	57.7	▼ 0.6	57.7	0.0
化学	61.8	67.5	△ 5.7	65.0	▼ 2.5
金属	61.5	68.0	△ 6.5	68.8	△ 0.8
機械	76.0	67.2	▼ 8.8	62.1	▼ 5.1
その他の製造	65.9	64.5	▼ 1.4	65.7	△ 1.2
非製造業	71.2	68.0	▼ 3.2	69.0	△ 1.0
卸売	75.8	66.9	▼ 8.9	71.1	△ 4.2
小売	72.7	72.0	▼ 0.7	71.3	▼ 0.7
情報通信	64.3	55.9	▼ 8.4	50.0	▼ 5.9
飲食・宿泊	69.0	70.6	△ 1.6	68.2	▼ 2.4
サービス	65.9	69.7	△ 3.8	73.6	△ 3.9
建設	73.5	65.7	▼ 7.8	68.6	△ 2.9
観光関連	69.4	68.4	▼ 1.0	69.8	△ 1.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

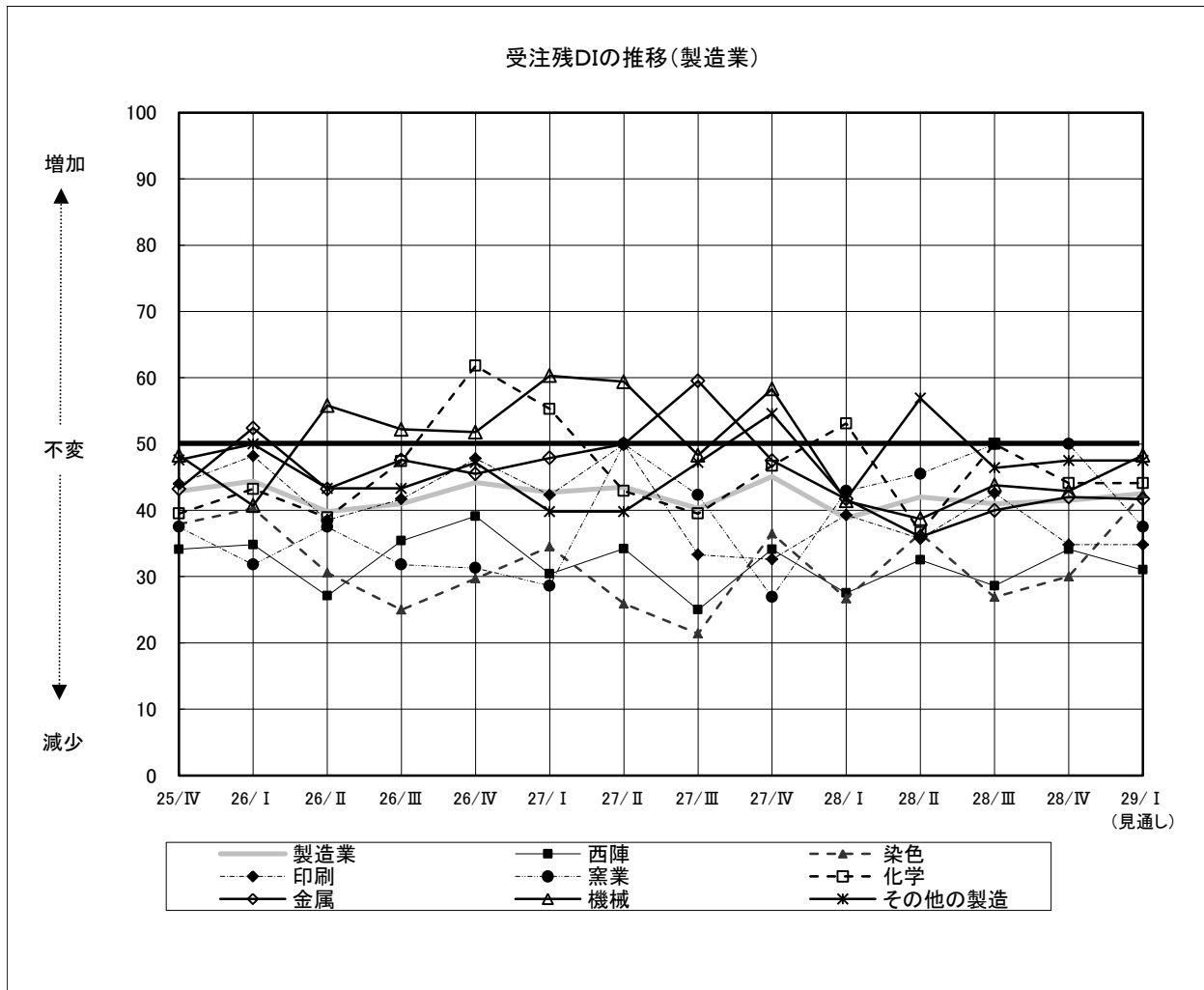


表10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	41.0	41.5	△ 0.5	42.5 △ 1.0
西陣	28.6	34.1	△ 5.5	31.0 ▼ 3.1
染色	26.9	30.0	△ 3.1	42.5 △ 12.5
印刷	42.6	34.8	▼ 7.8	34.8 0.0
窯業	50.0	50.0	0.0	37.5 ▼ 12.5
化学	50.0	44.1	▼ 5.9	44.1 0.0
金属	40.0	42.0	△ 2.0	41.7 ▼ 0.3
機械	43.8	42.9	▼ 0.9	48.3 △ 5.4
その他の製造	46.4	47.5	△ 1.1	47.5 0.0
観光関連	31.3	35.7	△ 4.4	39.3 △ 3.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1.1. 生産設備

図 20. 生産設備DIの推移

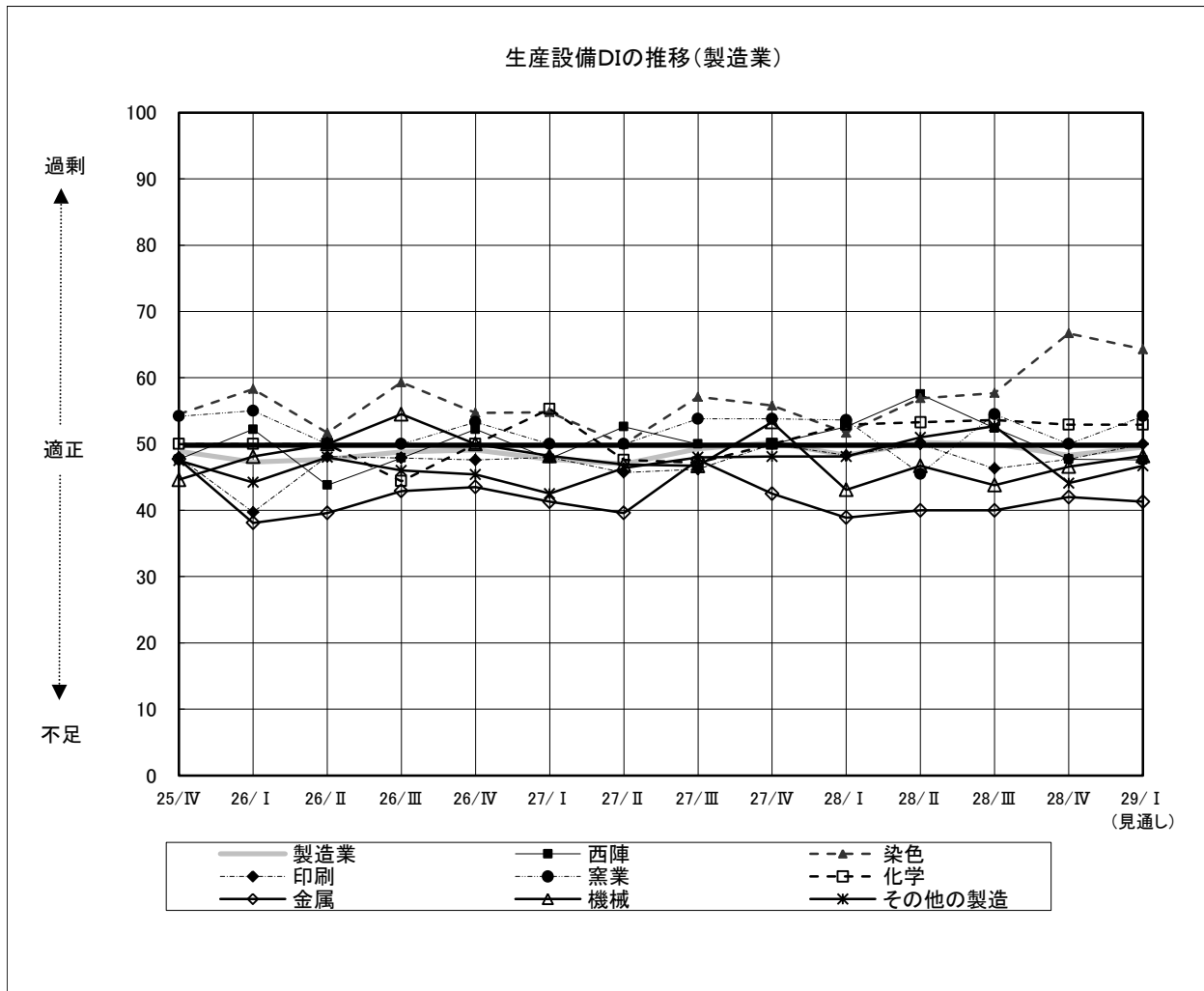


表 11. 生産設備DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	50.0	48.3	▼ 1.7	49.5 △ 1.2
西陣	52.4	47.7	▼ 4.7	47.6 ▼ 0.1
染色	57.7	66.7	△ 9.0	64.3 ▼ 2.4
印刷	46.3	47.7	△ 1.4	50.0 △ 2.3
窯業	54.5	50.0	▼ 4.5	54.2 △ 4.2
化学	53.6	52.9	▼ 0.7	52.9 0.0
金属	40.0	42.0	△ 2.0	41.3 ▼ 0.7
機械	43.8	46.6	△ 2.8	48.2 △ 1.6
その他の製造	52.7	44.1	▼ 8.6	46.7 △ 2.6
観光関連	46.9	43.3	▼ 3.6	43.3 0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

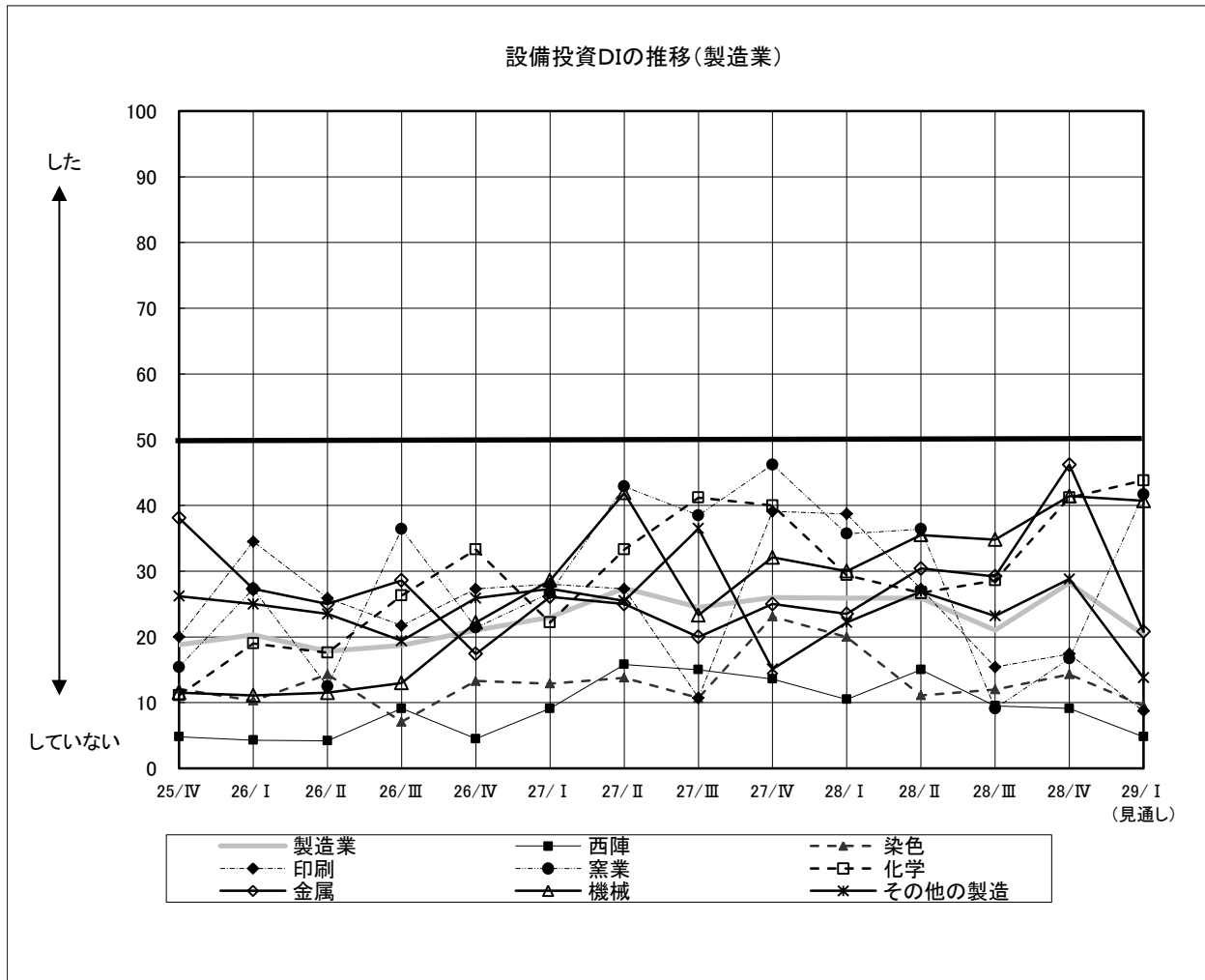


表12. 設備投資DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	21.0	28.2	△ 7.2	20.3	▼ 7.9
西陣	9.5	9.1	▼ 0.4	4.8	▼ 4.3
染色	12.0	14.3	△ 2.3	9.5	▼ 4.8
印刷	15.4	17.4	△ 2.0	8.7	▼ 8.7
窯業	9.1	16.7	△ 7.6	41.7	△ 25.0
化学	28.6	41.2	△ 12.6	43.8	△ 2.6
金属	29.2	46.2	△ 17.0	20.8	▼ 25.4
機械	34.8	41.4	△ 6.6	40.7	▼ 0.7
その他の製造	23.2	28.8	△ 5.6	13.8	▼ 15.0
観光関連	18.8	28.6	△ 9.8	7.7	▼ 20.9

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

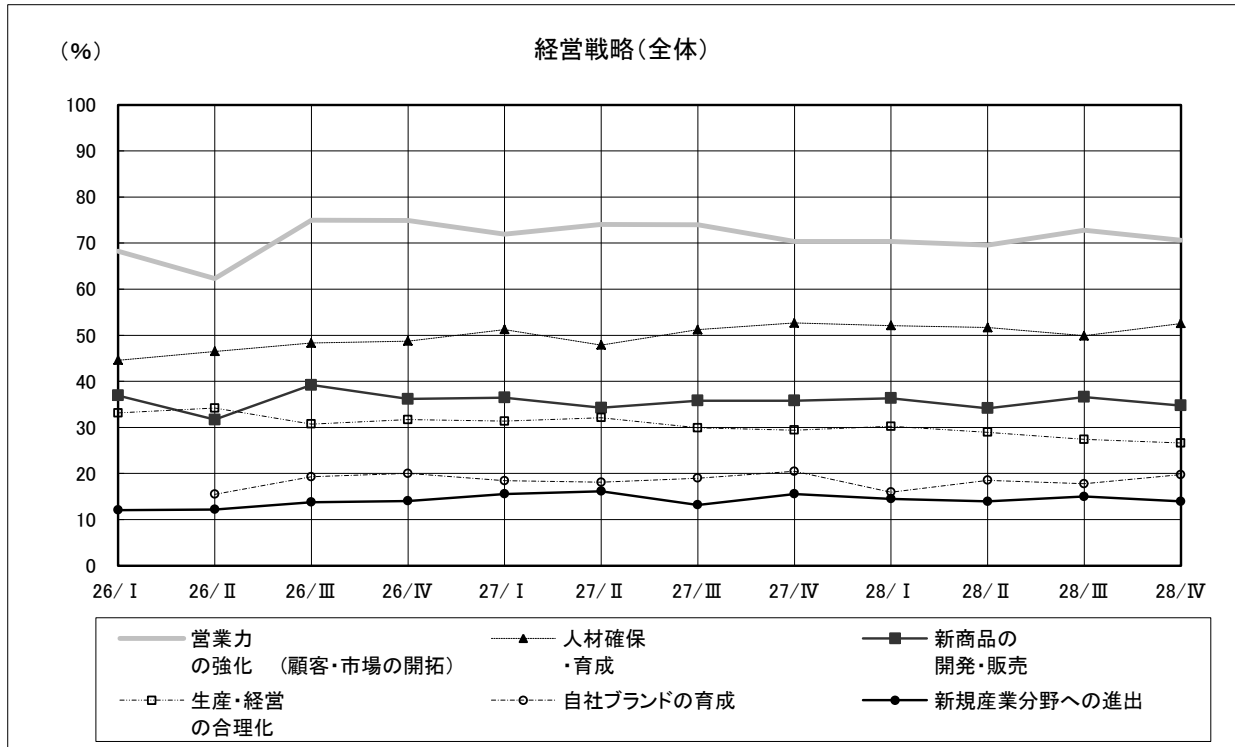


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

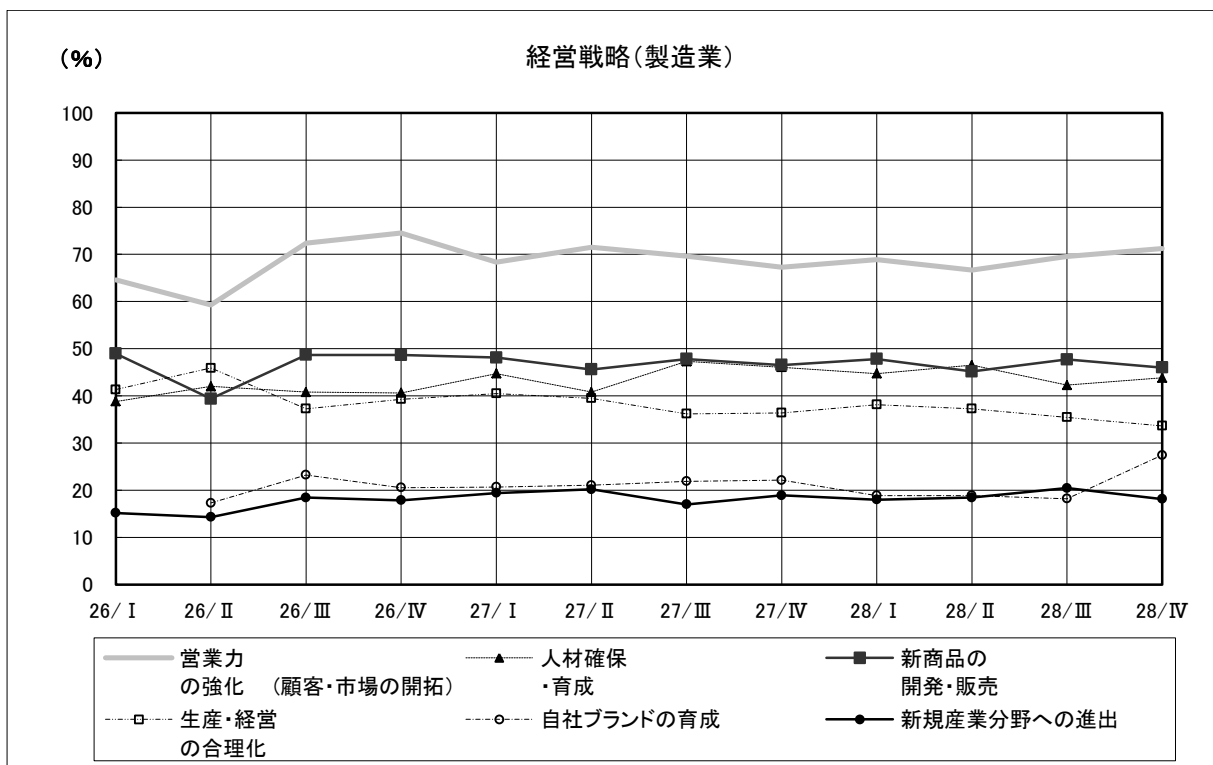


図 24. 当面の経営戦略・西陣

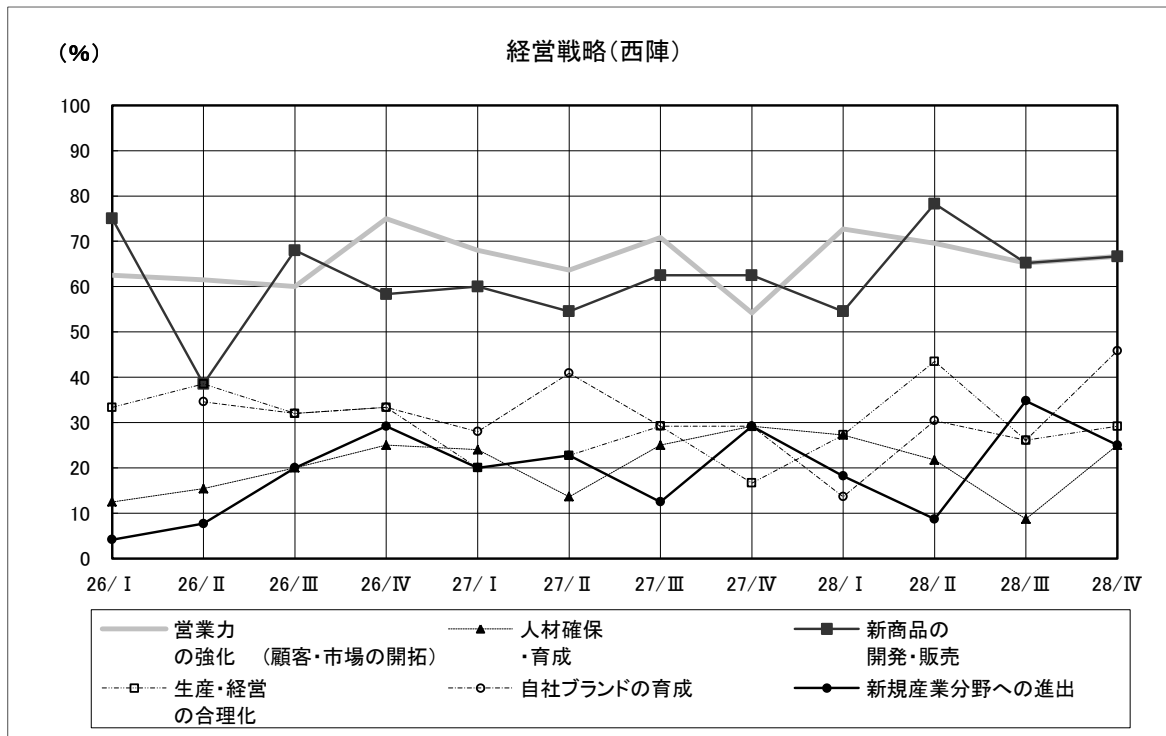


図 25. 当面の経営戦略・染色

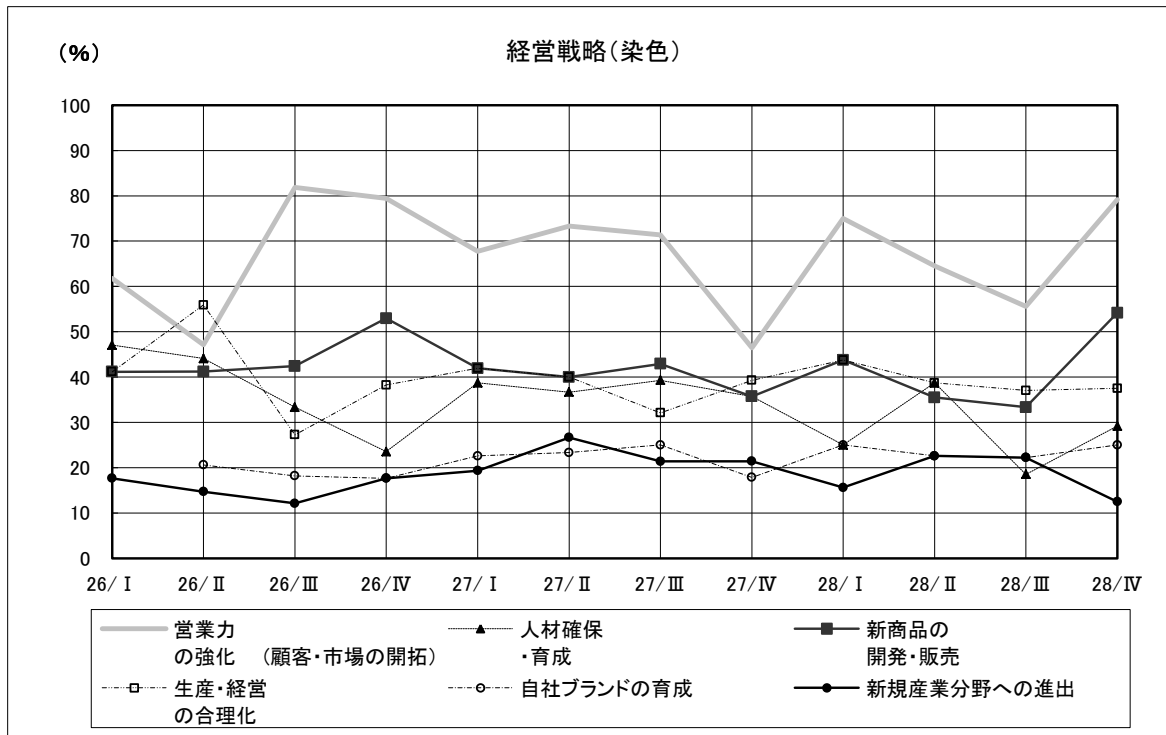


図 26. 当面の経営戦略・印刷

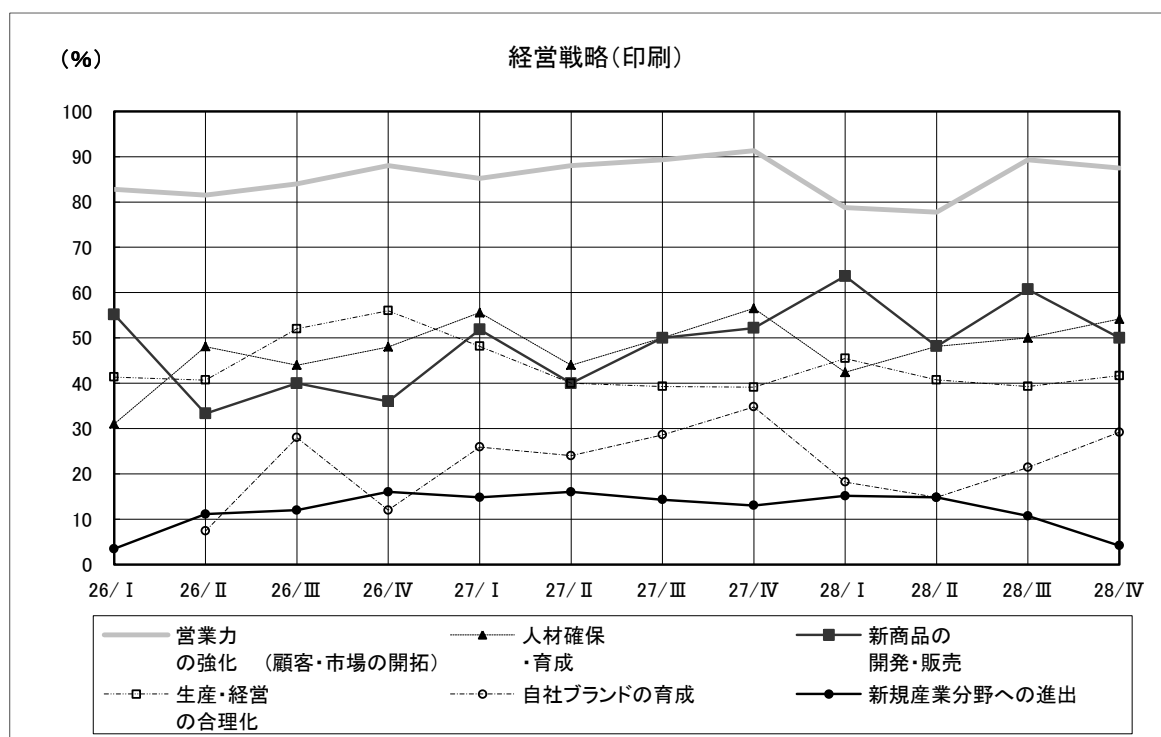


図 27. 当面の経営戦略・窯業

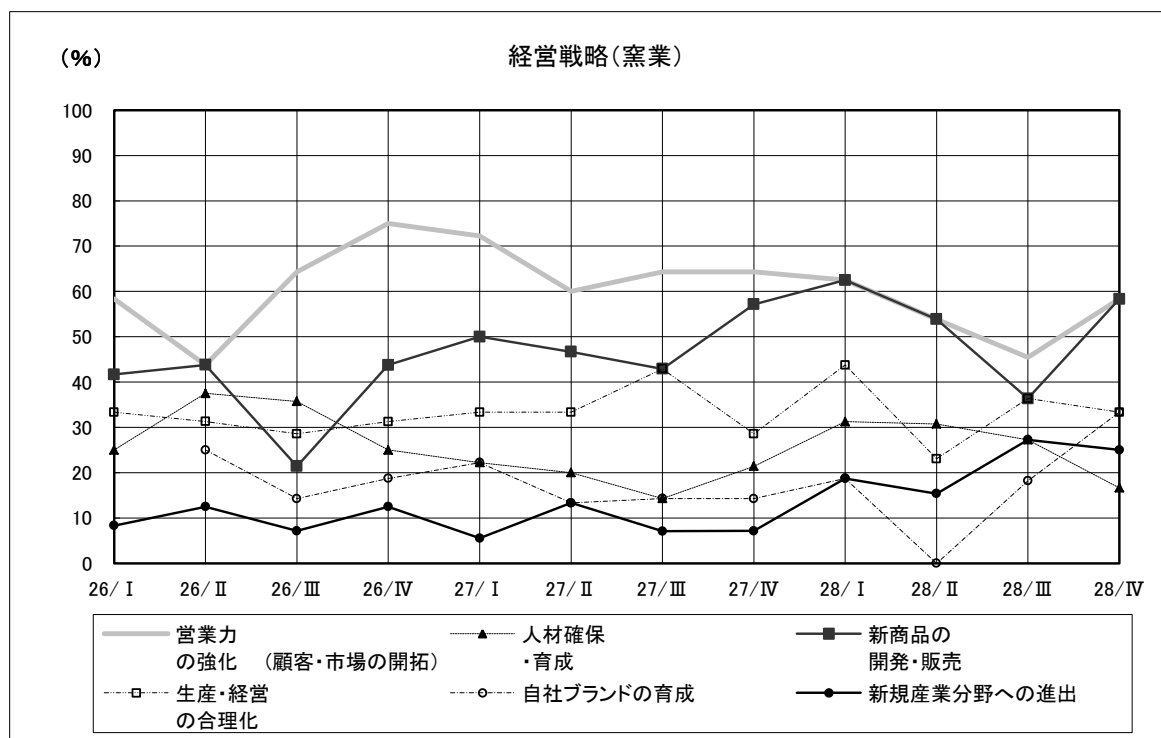


図 28. 当面の経営戦略・化学

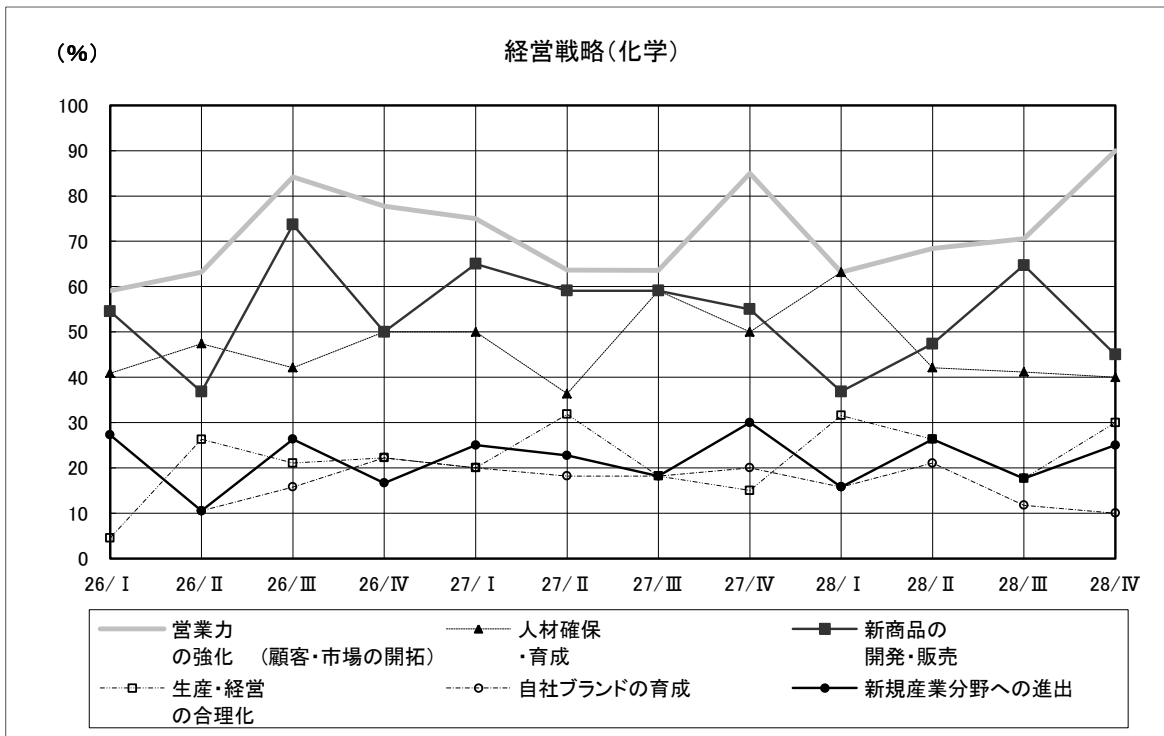


図 29. 当面の経営戦略・金属

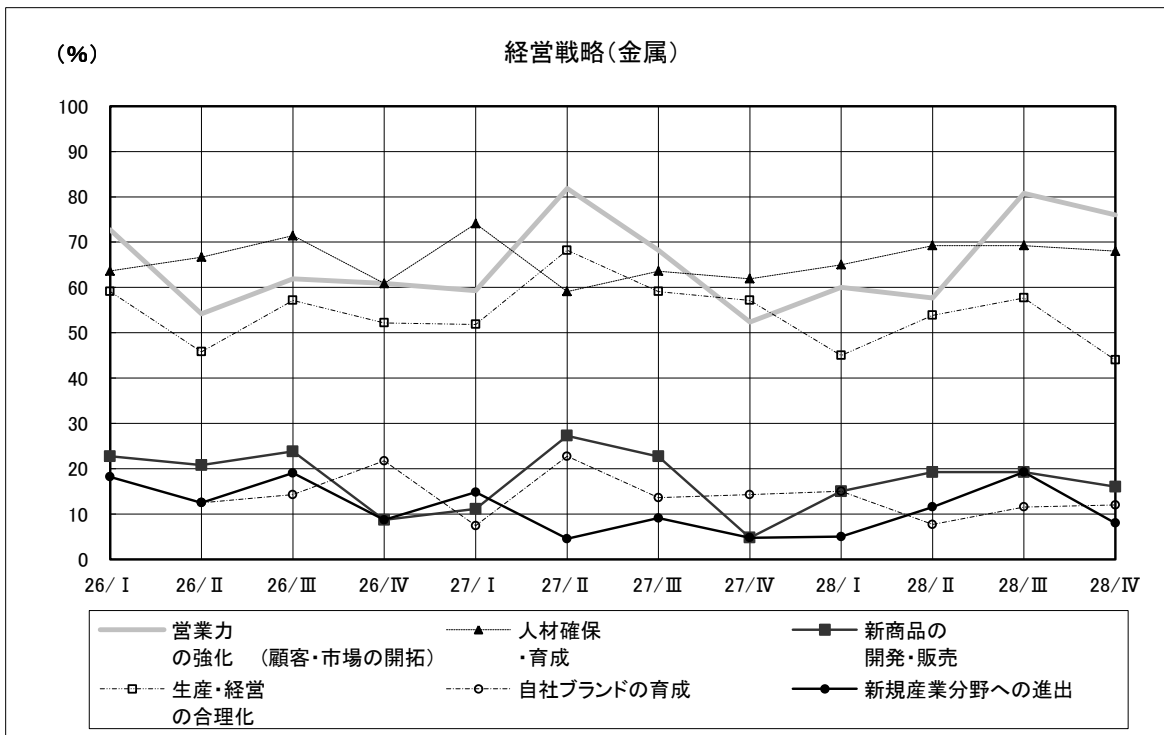


図 30. 当面の経営戦略・機械

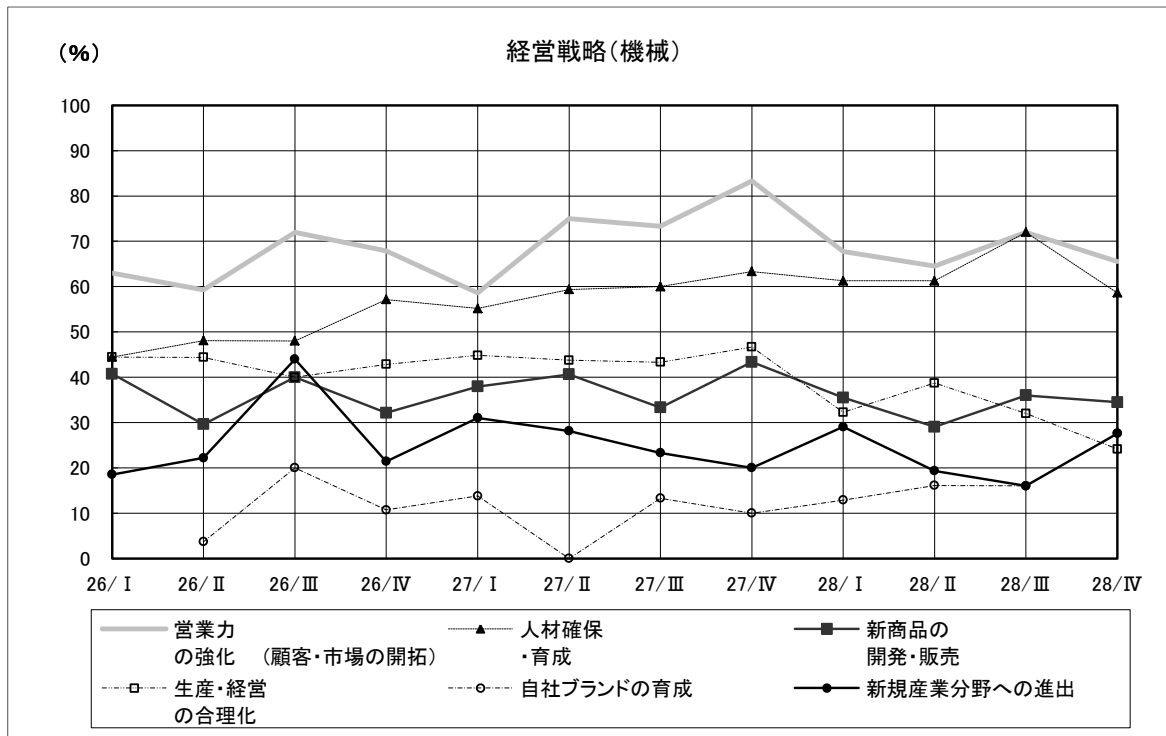


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

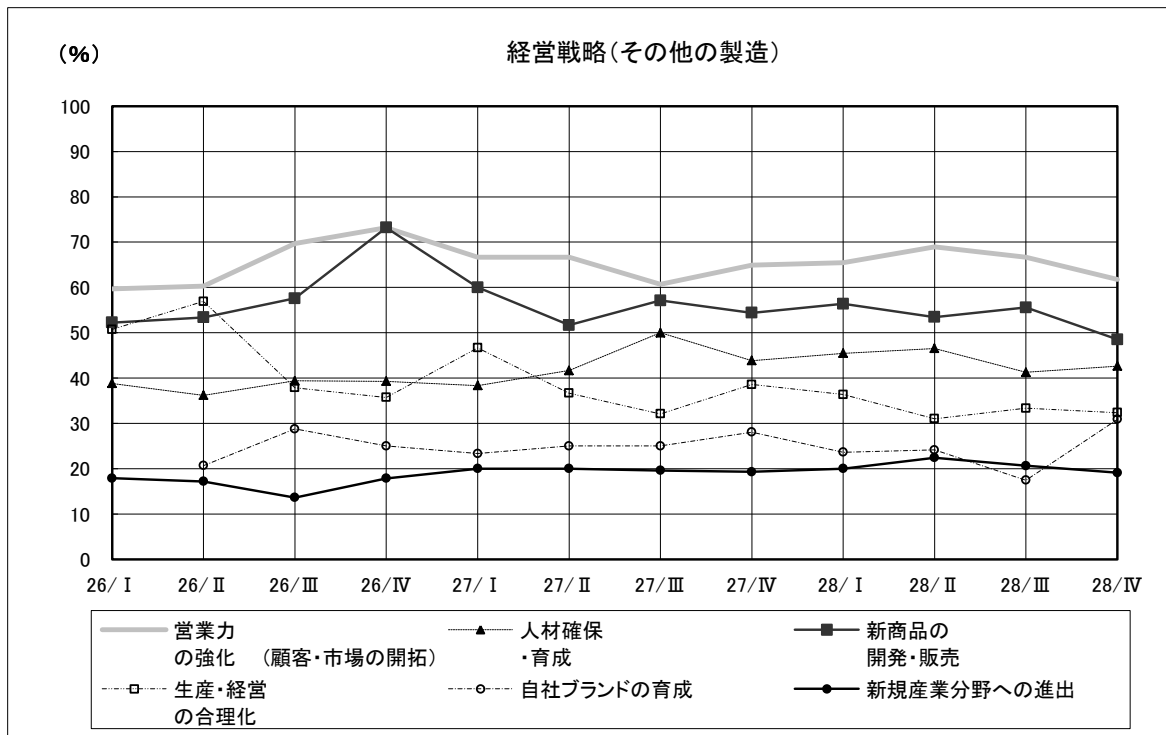


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

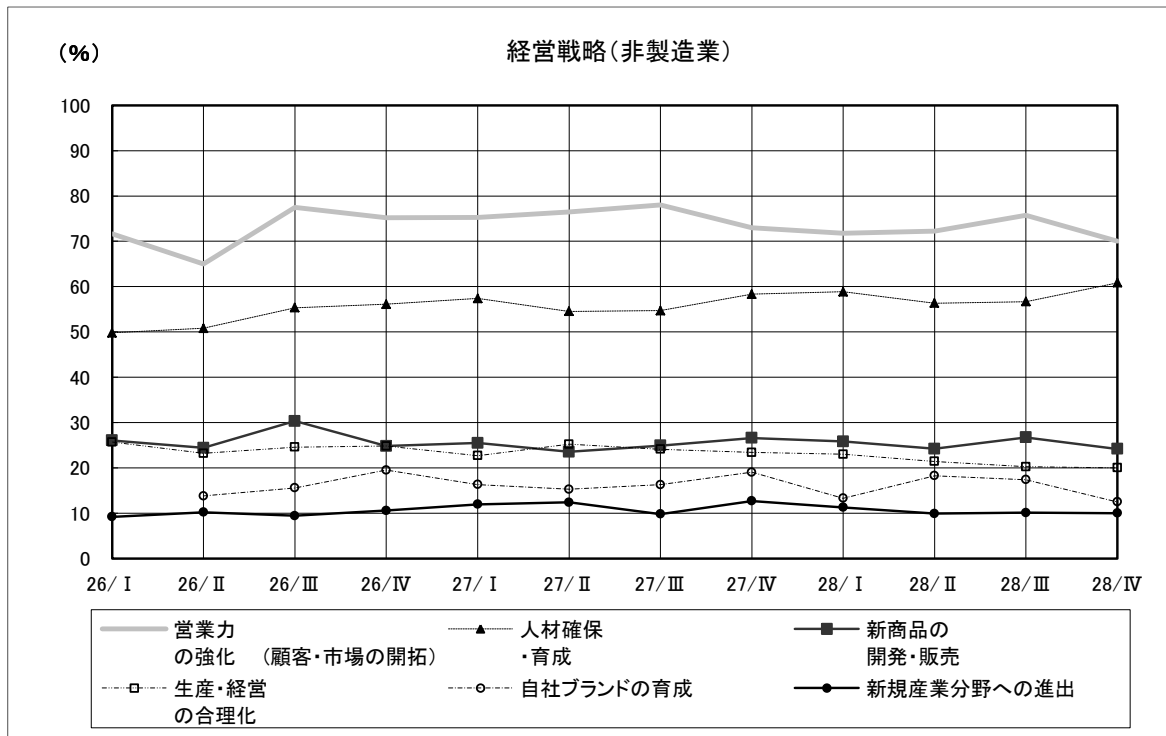


図 33. 当面の経営戦略・卸売

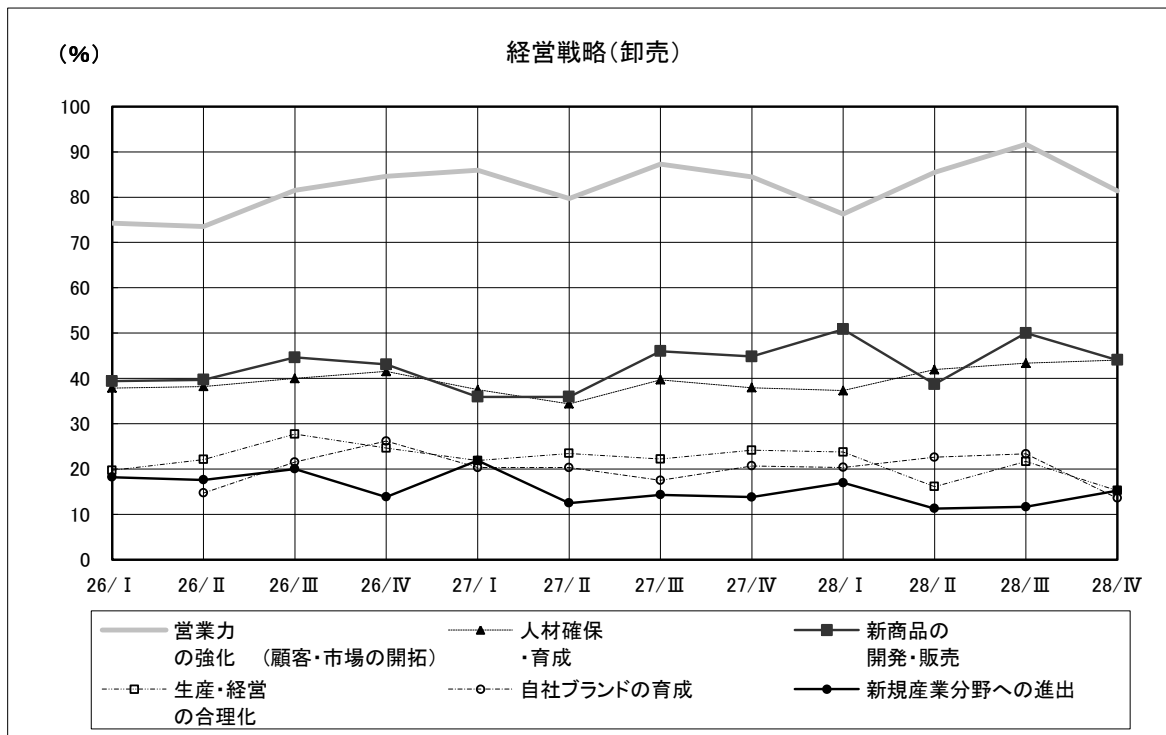


図 34. 当面の経営戦略・小売

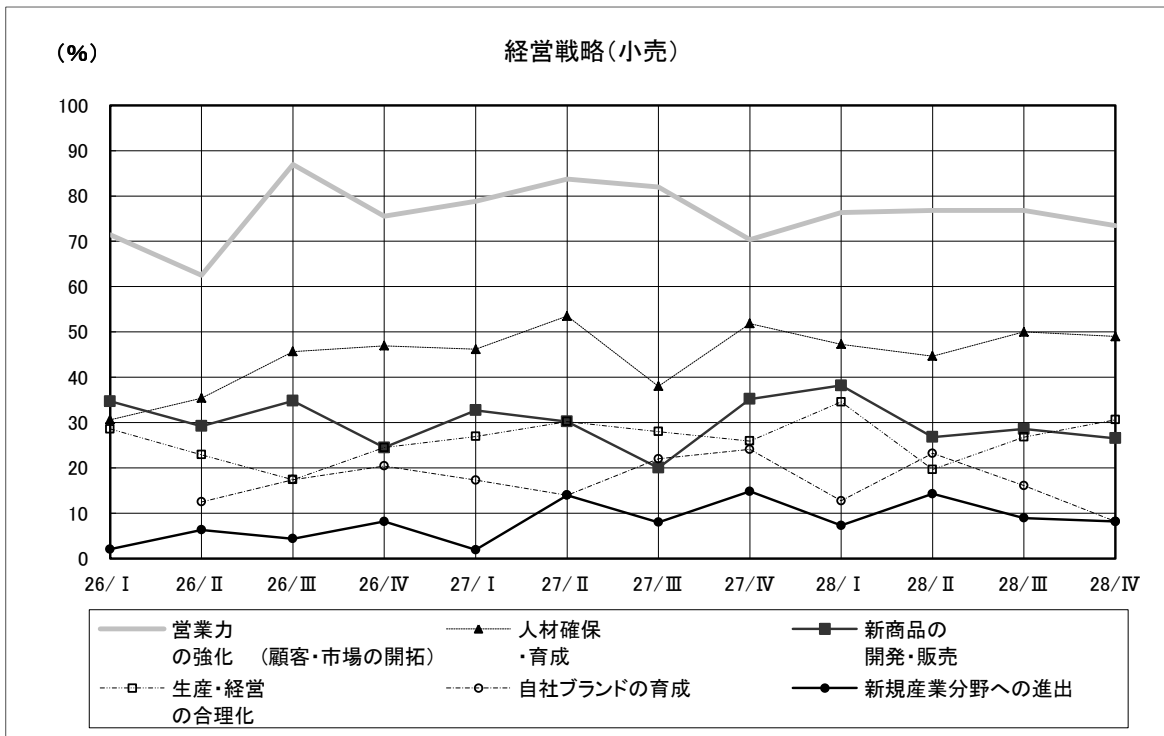


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

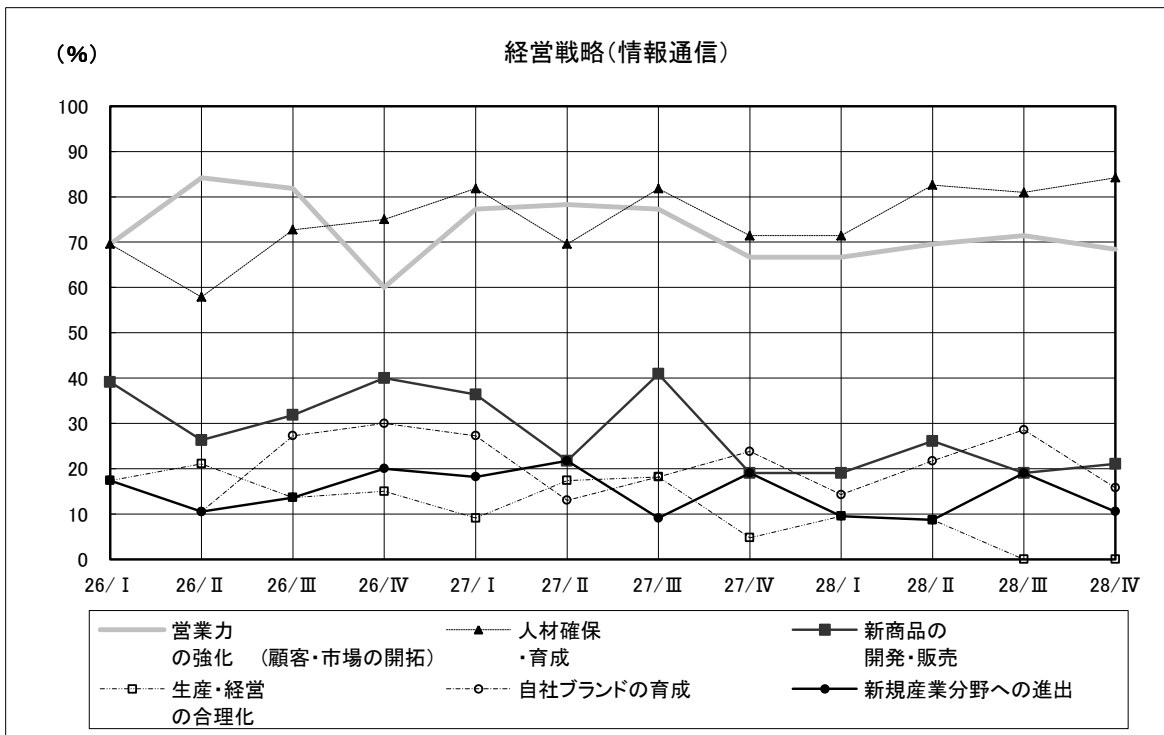


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

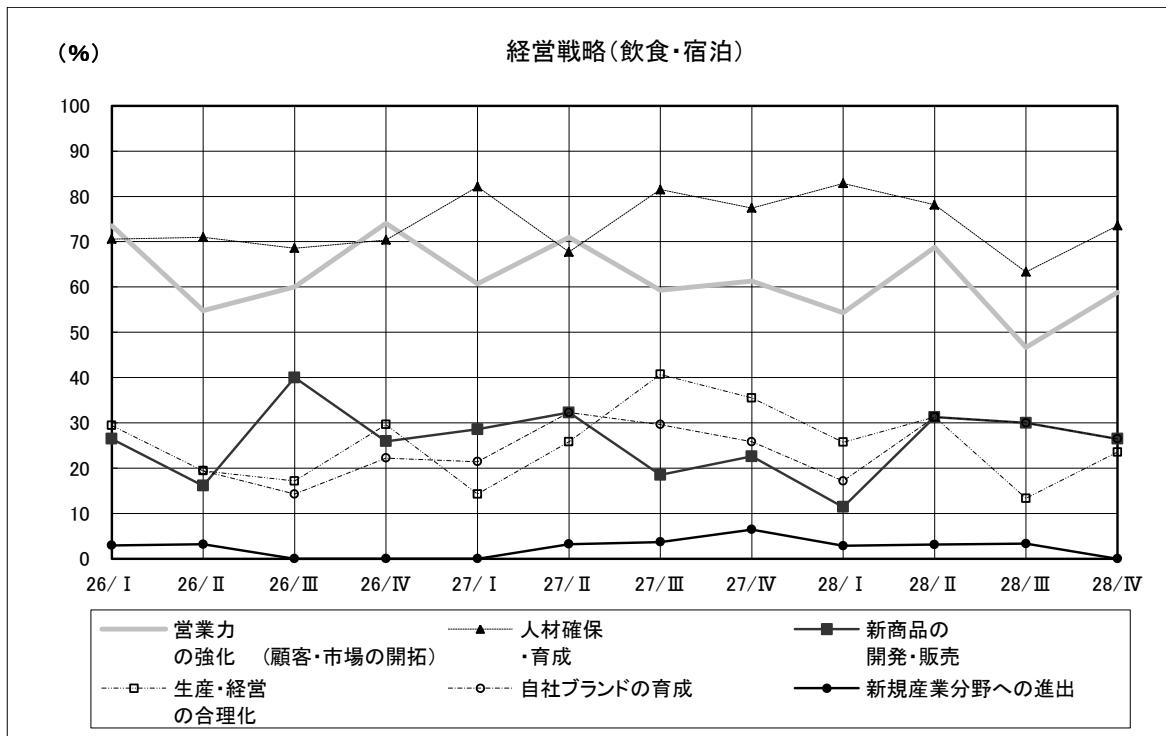


図 37. 当面の経営戦略・サービス

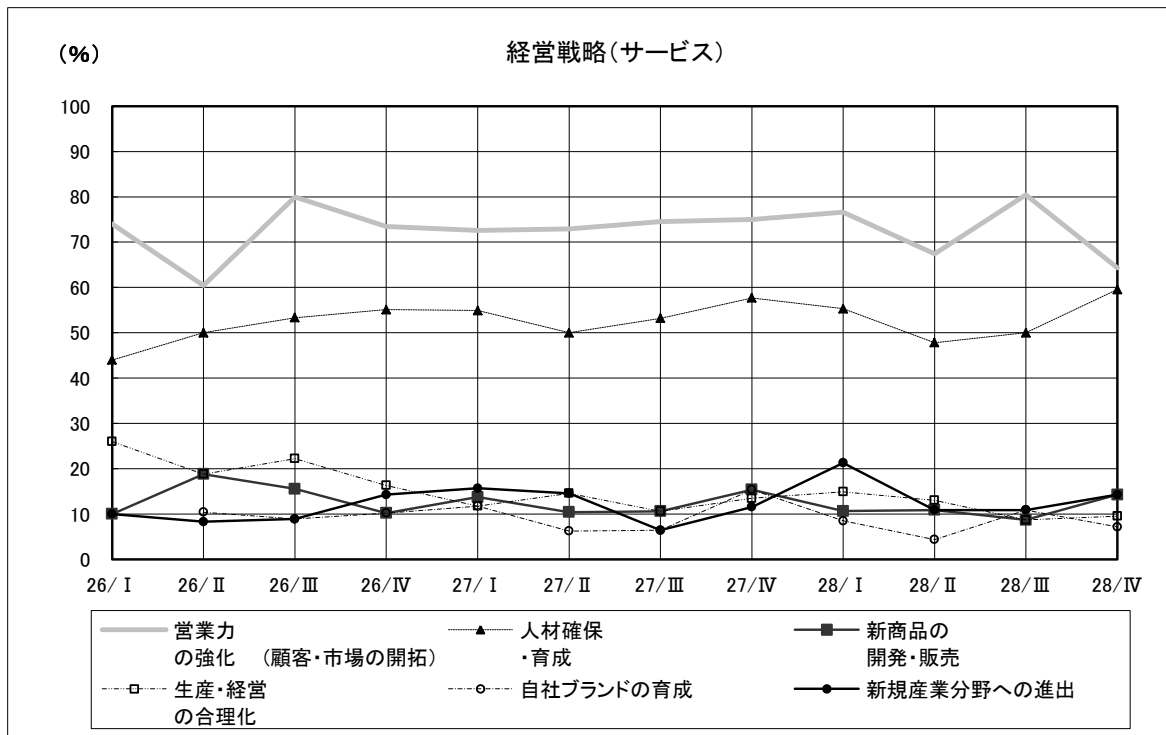


図 38. 当面の経営戦略・建設

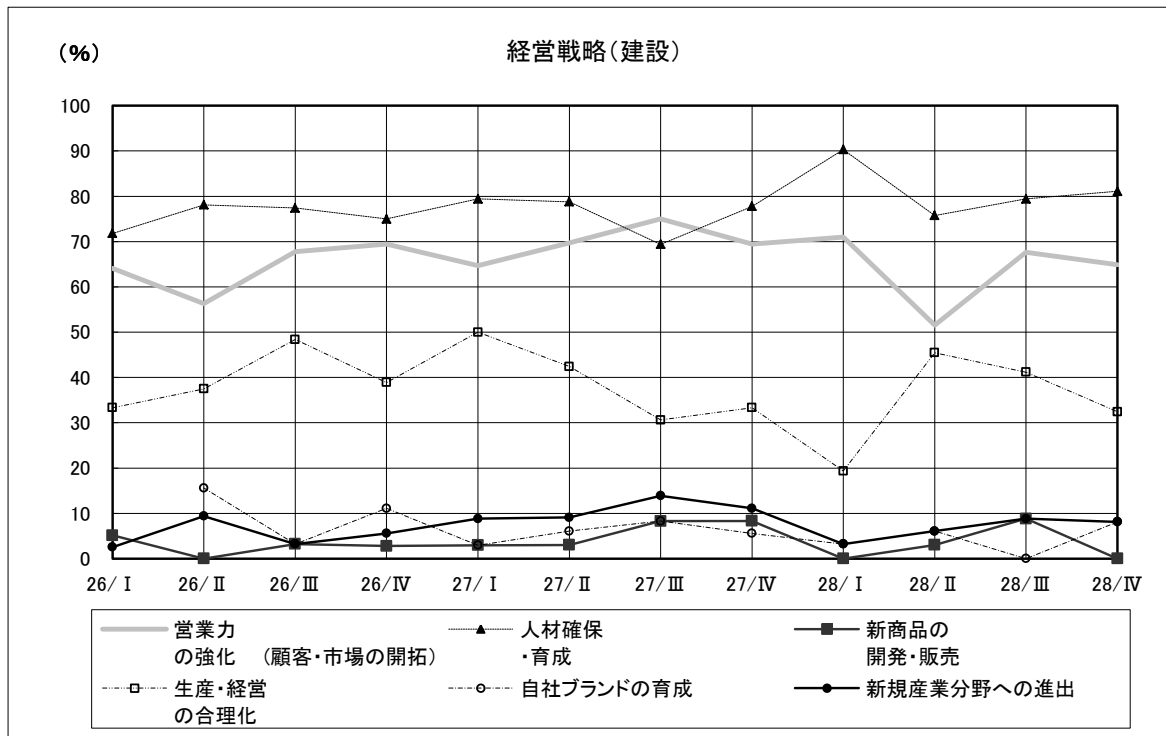


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	自社ブランドの育成	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	329 70.6%	124 26.6%	245 52.6%	65 13.9%	92 19.7%	162 34.8%	34 7.3%	61 13.1%	7 1.5%	466 100.0%	15
製造業	161 71.2%	76 33.6%	99 43.8%	41 18.1%	62 27.4%	104 46.0%	27 11.9%	27 11.9%	2 0.9%	226 100.0%	5
西陣	16 66.7%	7 29.2%	6 25.0%	6 25.0%	11 45.8%	16 66.7%	1 4.2%	4 16.7%	0 0.0%	24 100.0%	0
染色	19 79.2%	9 37.5%	7 29.2%	3 12.5%	6 25.0%	13 54.2%	2 8.3%	2 8.3%	0 0.0%	24 100.0%	0
印刷	21 87.5%	10 41.7%	13 54.2%	1 4.2%	7 29.2%	12 50.0%	1 4.2%	3 12.5%	0 0.0%	24 100.0%	1
窯業	7 58.3%	4 33.3%	2 16.7%	3 25.0%	4 33.3%	7 58.3%	1 8.3%	3 25.0%	1 8.3%	12 100.0%	1
化学	18 90.0%	6 30.0%	8 40.0%	5 25.0%	2 10.0%	9 45.0%	4 20.0%	3 15.0%	0 0.0%	20 100.0%	0
金属	19 76.0%	11 44.0%	17 68.0%	2 8.0%	3 12.0%	4 16.0%	2 8.0%	4 16.0%	0 0.0%	25 100.0%	1
機械	19 65.5%	7 24.1%	17 58.6%	8 27.6%	8 27.6%	10 34.5%	6 20.7%	2 6.9%	1 3.4%	29 100.0%	0
その他の製造	42 61.8%	22 32.4%	29 42.6%	13 19.1%	21 30.9%	33 48.5%	10 14.7%	6 8.8%	0 0.0%	68 100.0%	2
非製造業	168 70.0%	48 20.0%	146 60.8%	24 10.0%	30 12.5%	58 24.2%	7 2.9%	34 14.2%	5 2.1%	240 100.0%	10
卸売	48 81.4%	9 15.3%	26 44.1%	9 15.3%	8 13.6%	26 44.1%	0 0.0%	8 13.6%	1 1.7%	59 100.0%	4
小売	36 73.5%	15 30.6%	24 49.0%	4 8.2%	4 8.2%	13 26.5%	0 0.0%	11 22.4%	0 0.0%	49 100.0%	1
情報通信	13 68.4%	0 0.0%	16 84.2%	2 10.5%	3 15.8%	4 21.1%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	19 100.0%	0
飲食・宿泊	20 58.8%	8 23.5%	25 73.5%	0 0.0%	9 26.5%	9 26.5%	1 2.9%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%	0
サービス	27 64.3%	4 9.5%	25 59.5%	6 14.3%	3 7.1%	6 14.3%	2 4.8%	8 19.0%	3 7.1%	42 100.0%	4
建設	24 64.9%	12 32.4%	30 81.1%	3 8.1%	3 8.1%	0 0.0%	2 5.4%	4 10.8%	0 0.0%	37 100.0%	1
観光関連	29 56.9%	18 35.3%	34 66.7%	3 5.9%	14 27.5%	24 47.1%	0 0.0%	8 15.7%	1 2.0%	51 100.0%	0

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位8項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

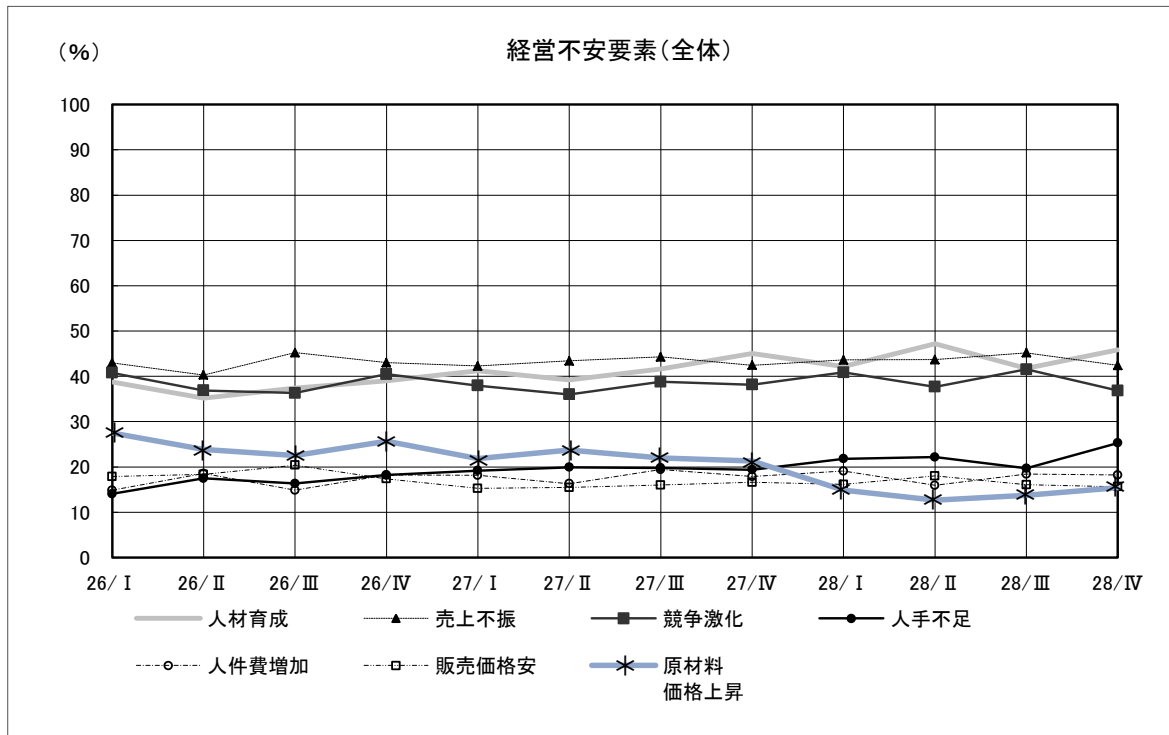


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

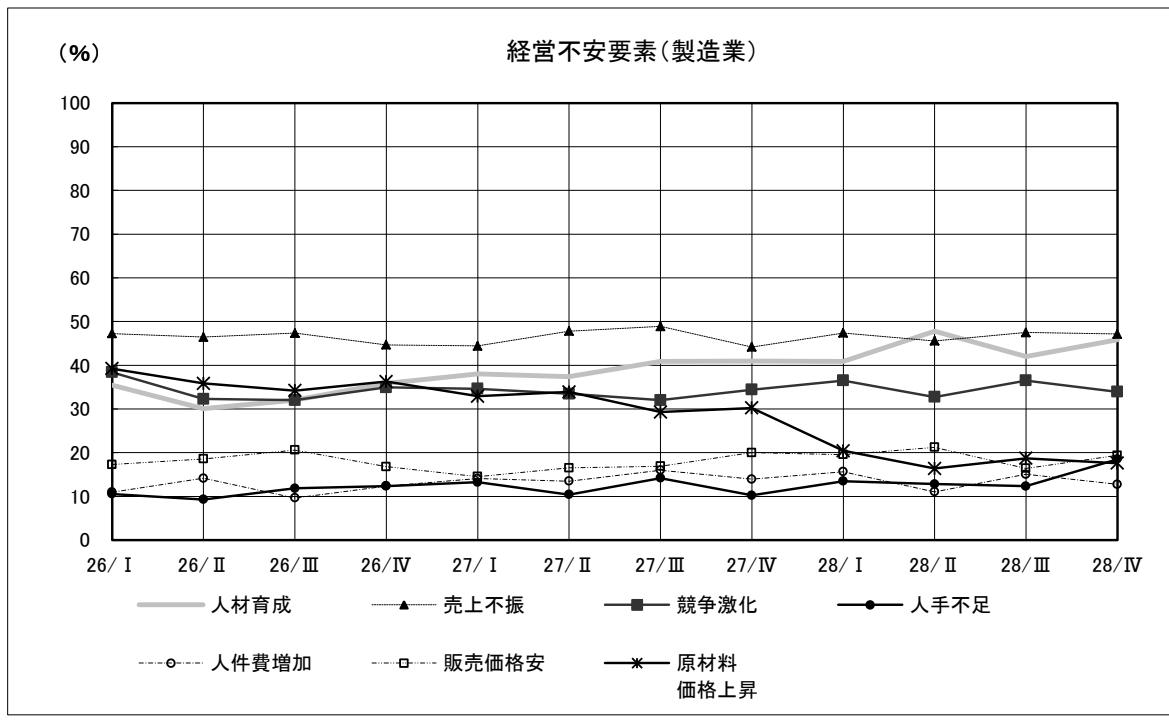


図 41. 経営上の不安要素・西陣

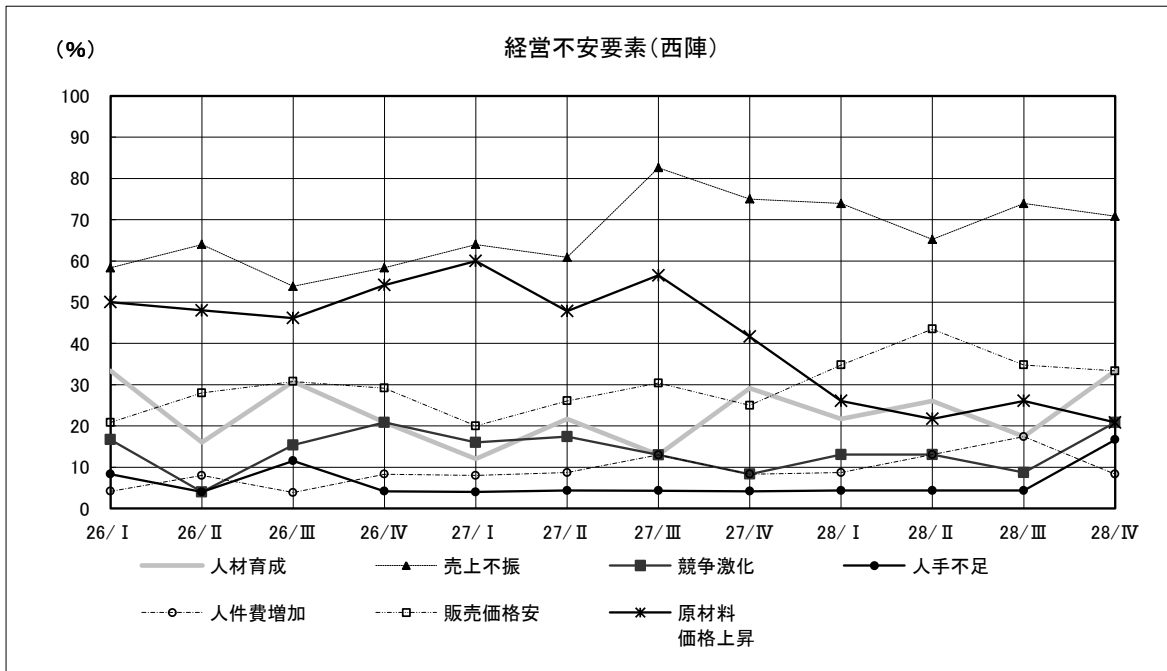


図 42. 経営上の不安要素・染色

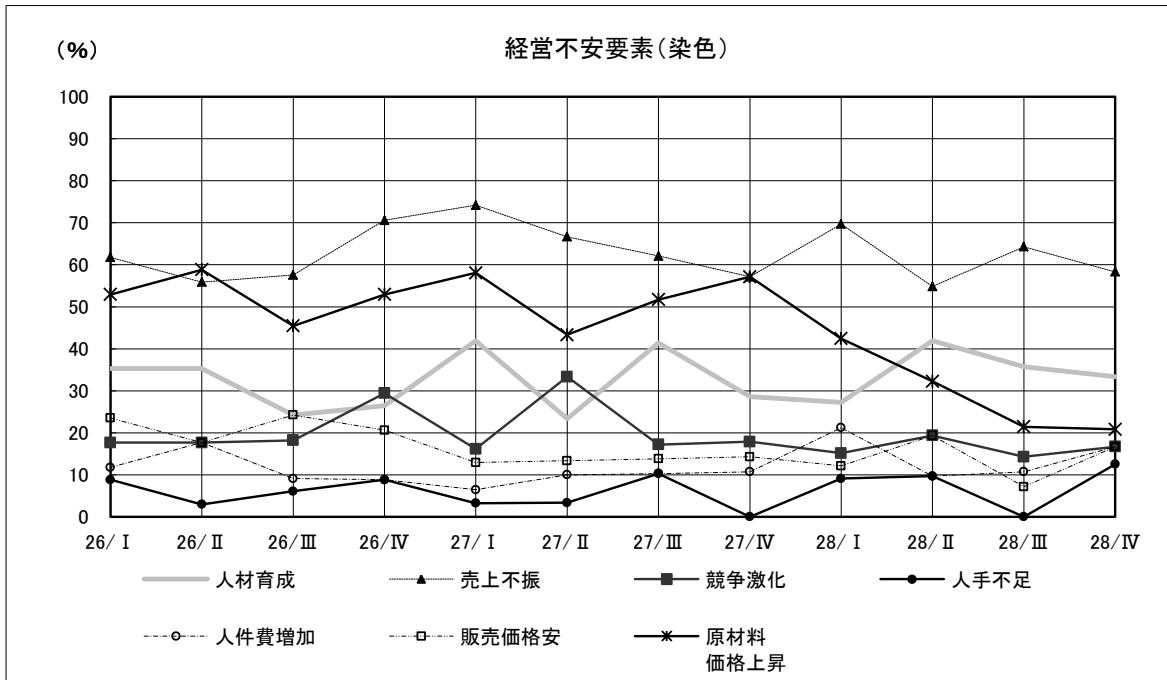


図 43. 経営上の不安要素・印刷

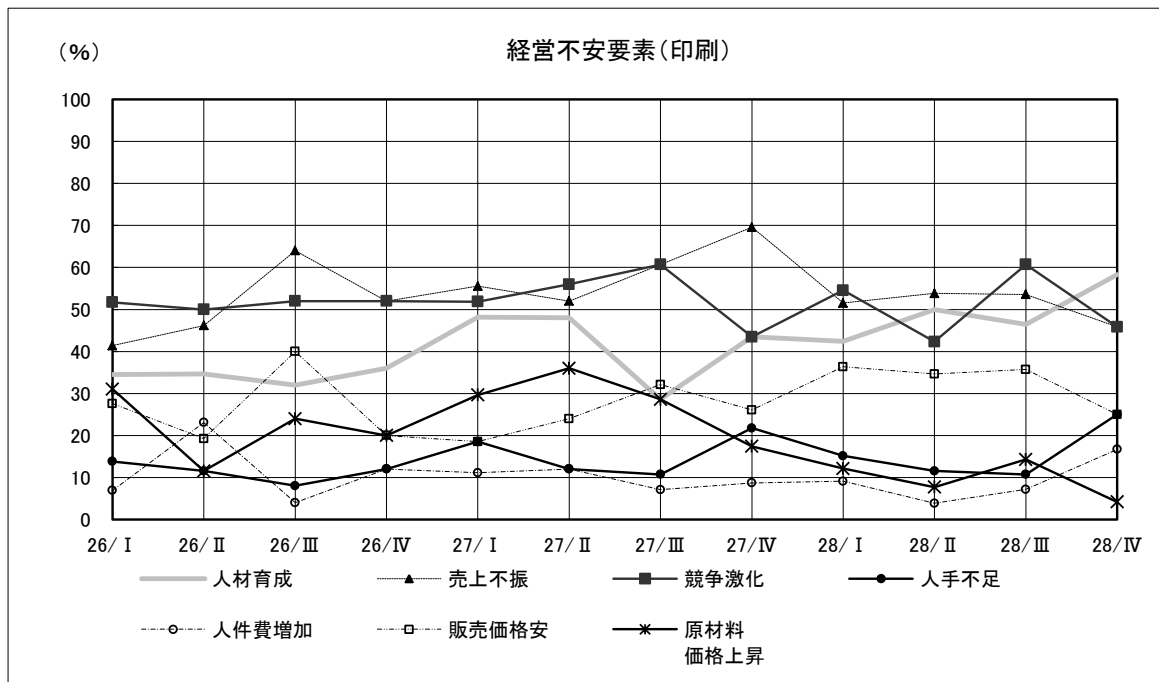


図 44. 経営上の不安要素・窯業

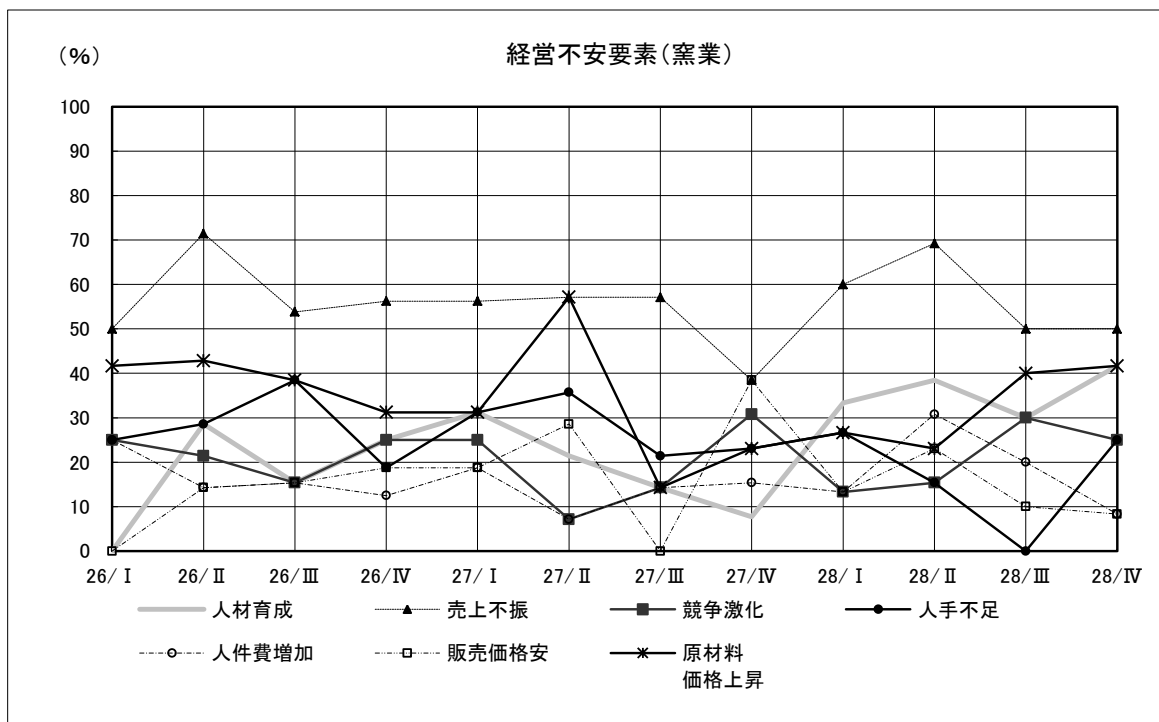


図 45. 経営上の不安要素・化学

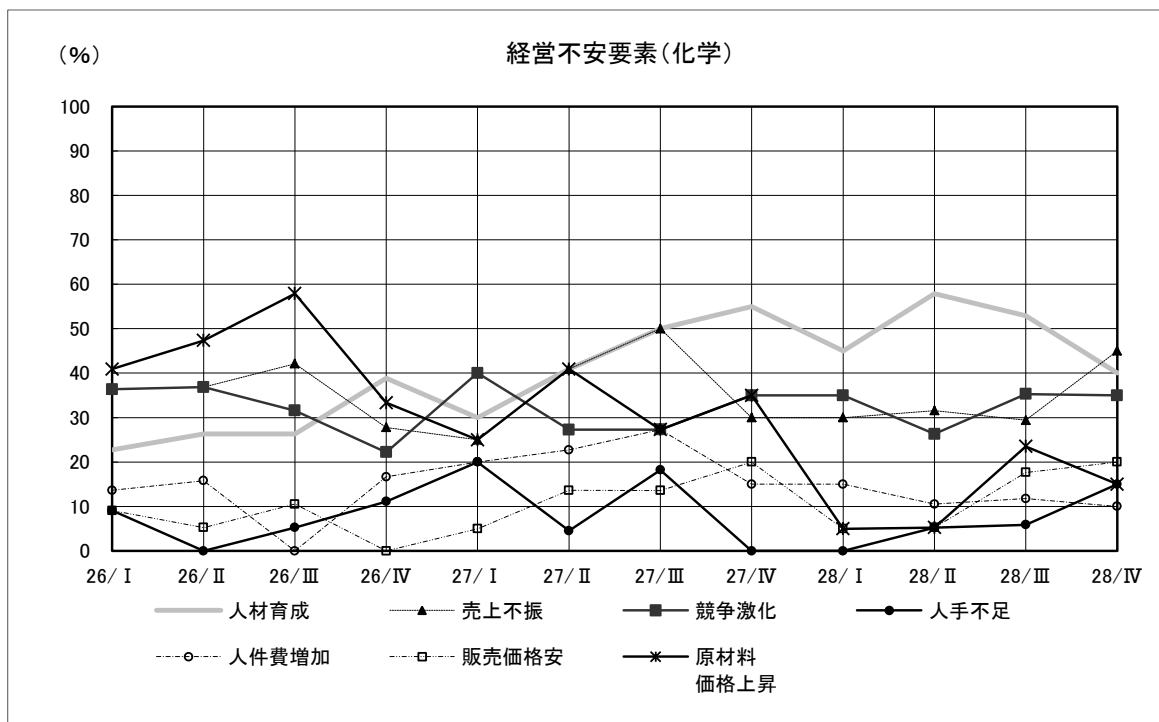


図 46. 経営上の不安要素・金属

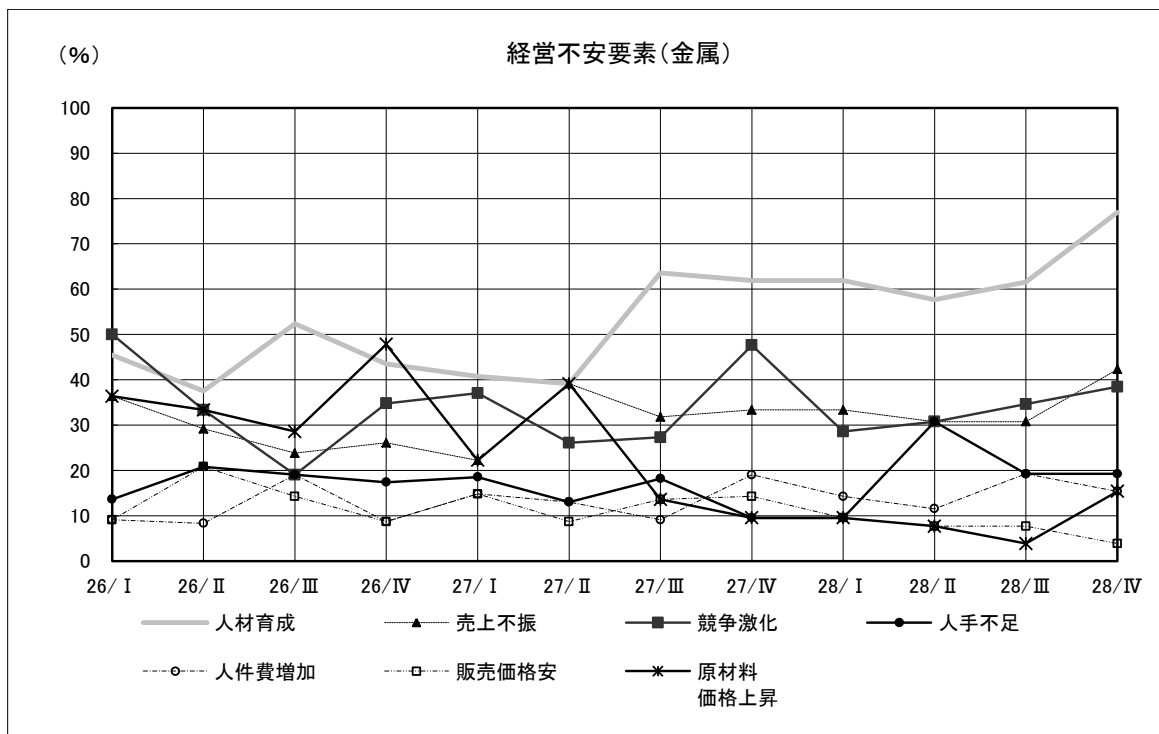


図 47. 経営上の不安要素・機械

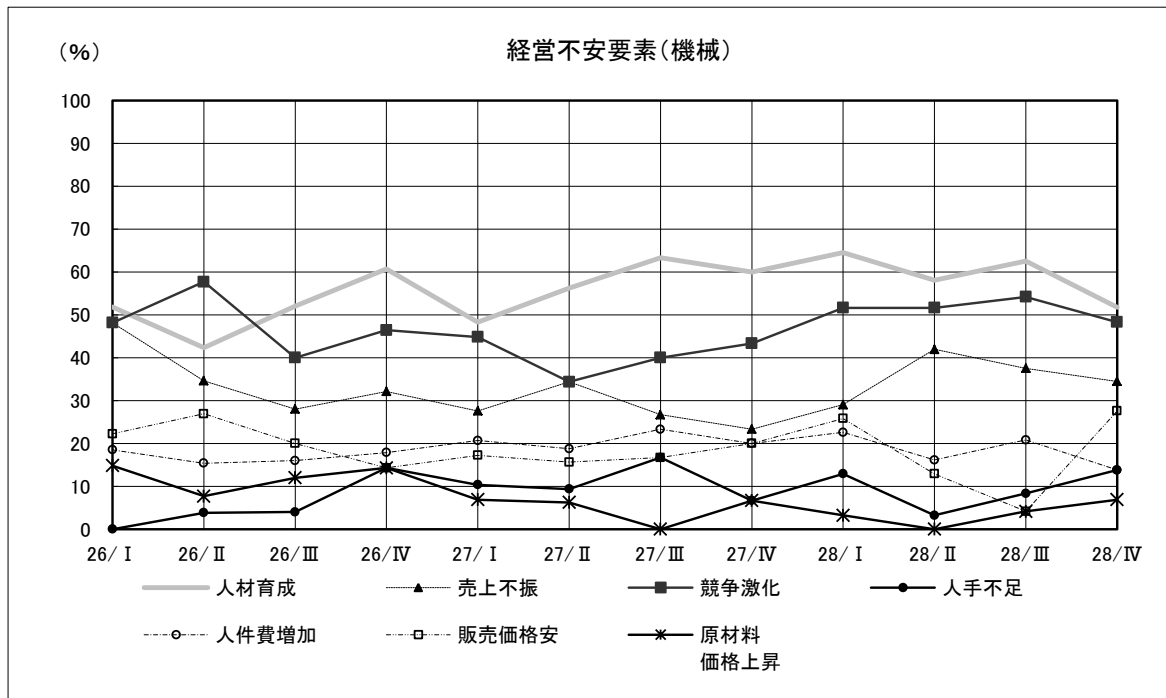


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

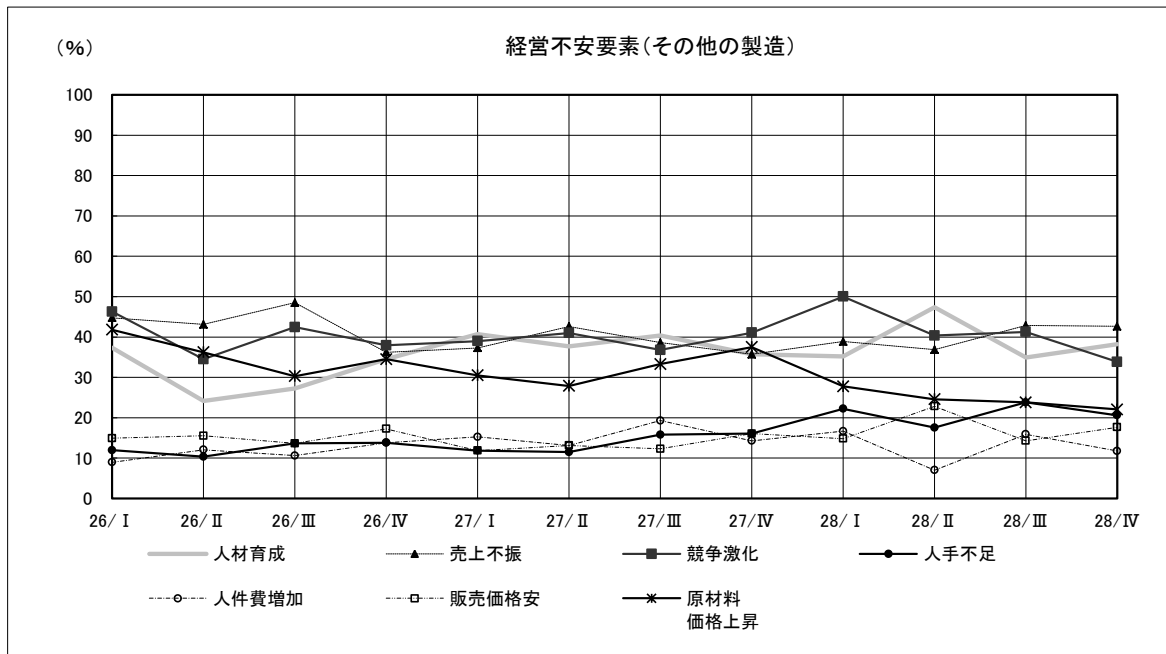


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

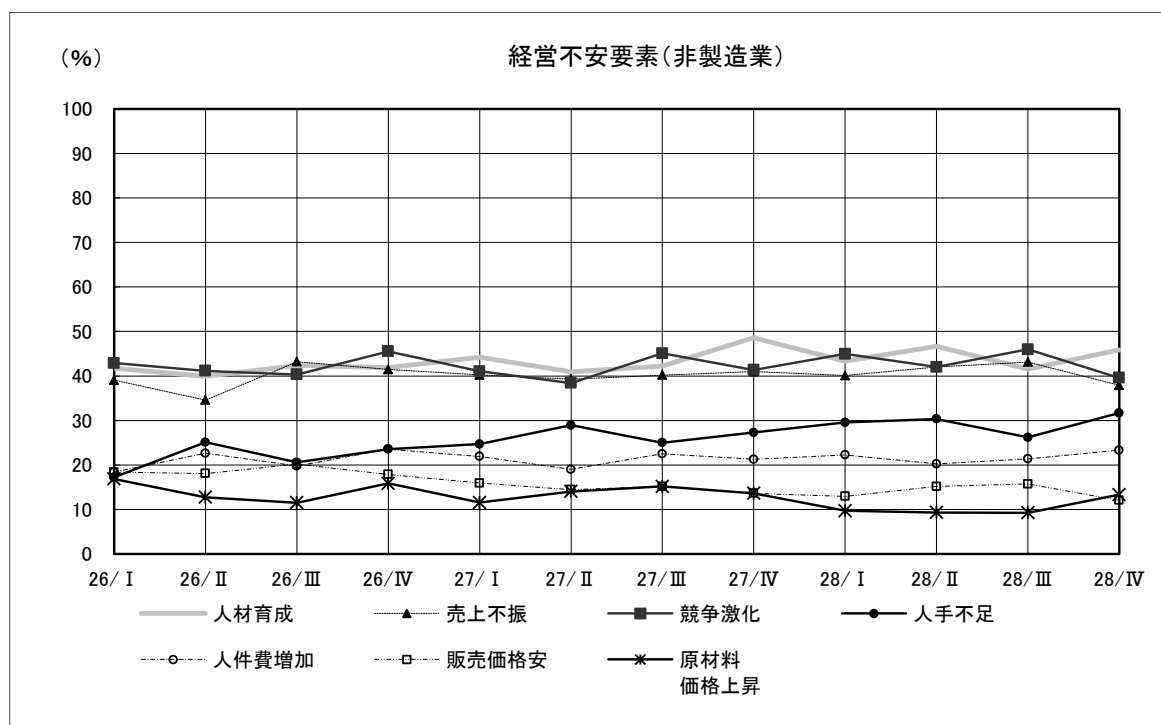


図 50. 経営上の不安要素・卸売

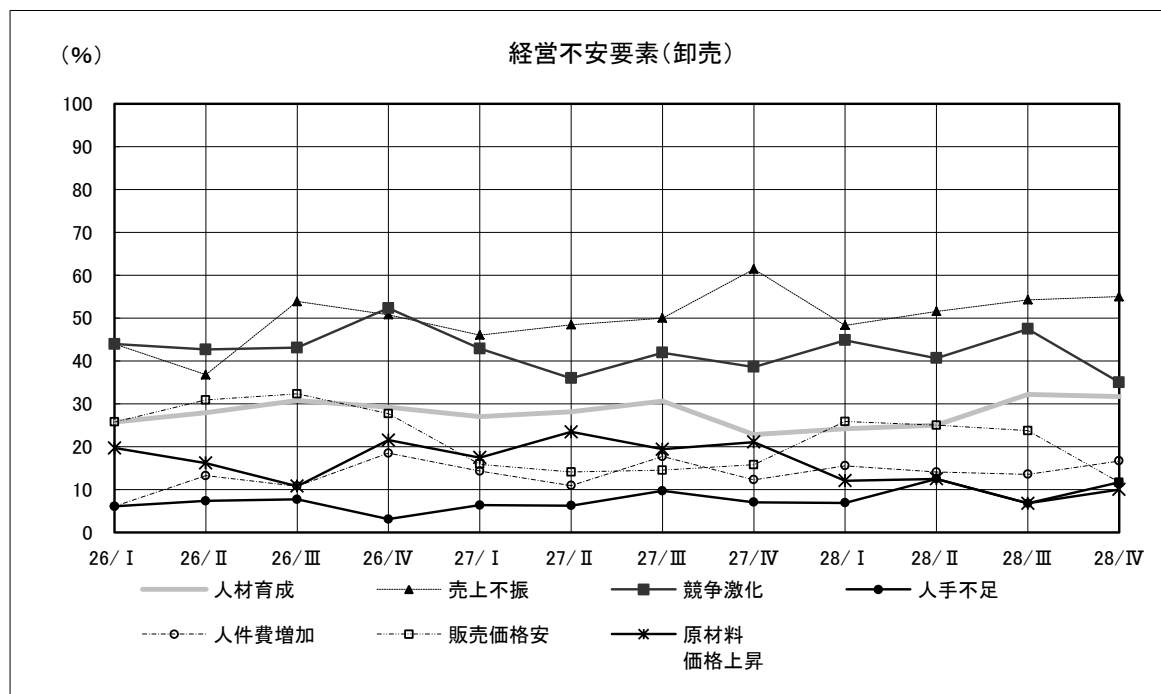


図 51. 経営上の不安要素・小売

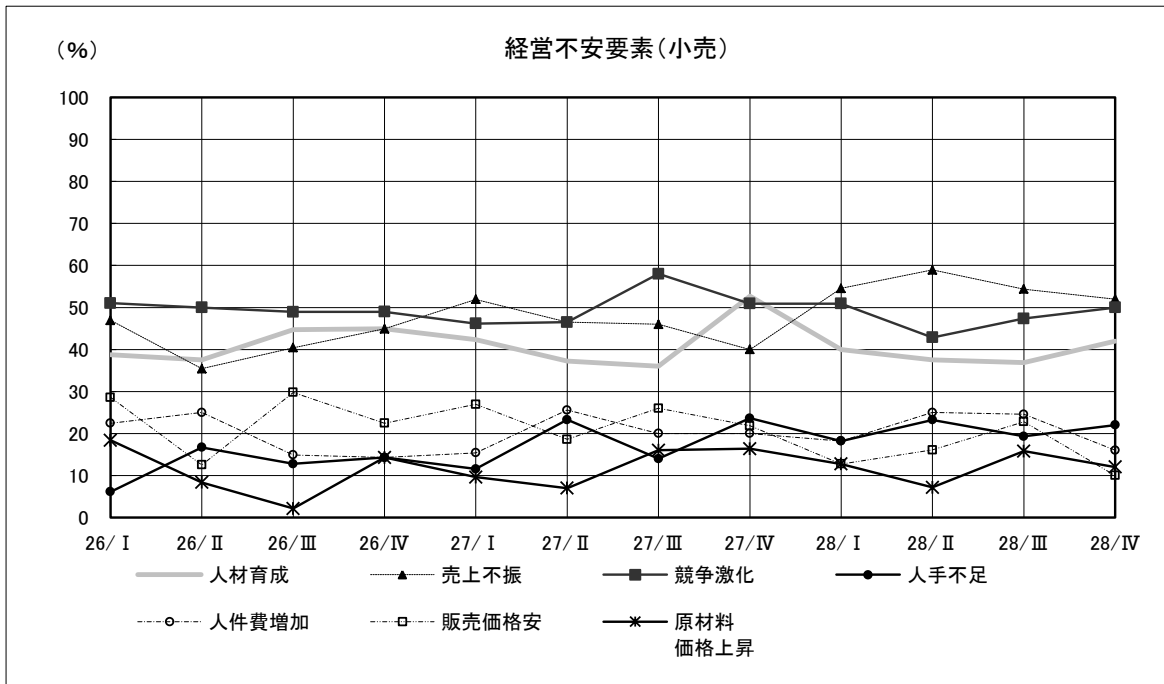


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

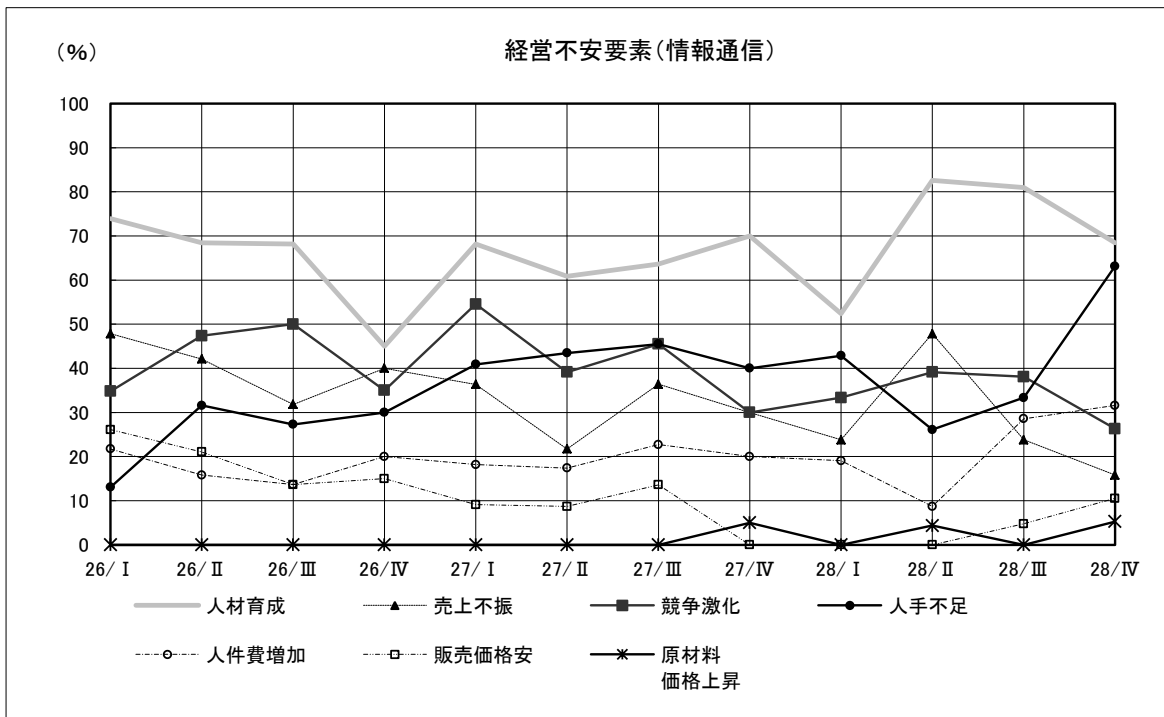


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

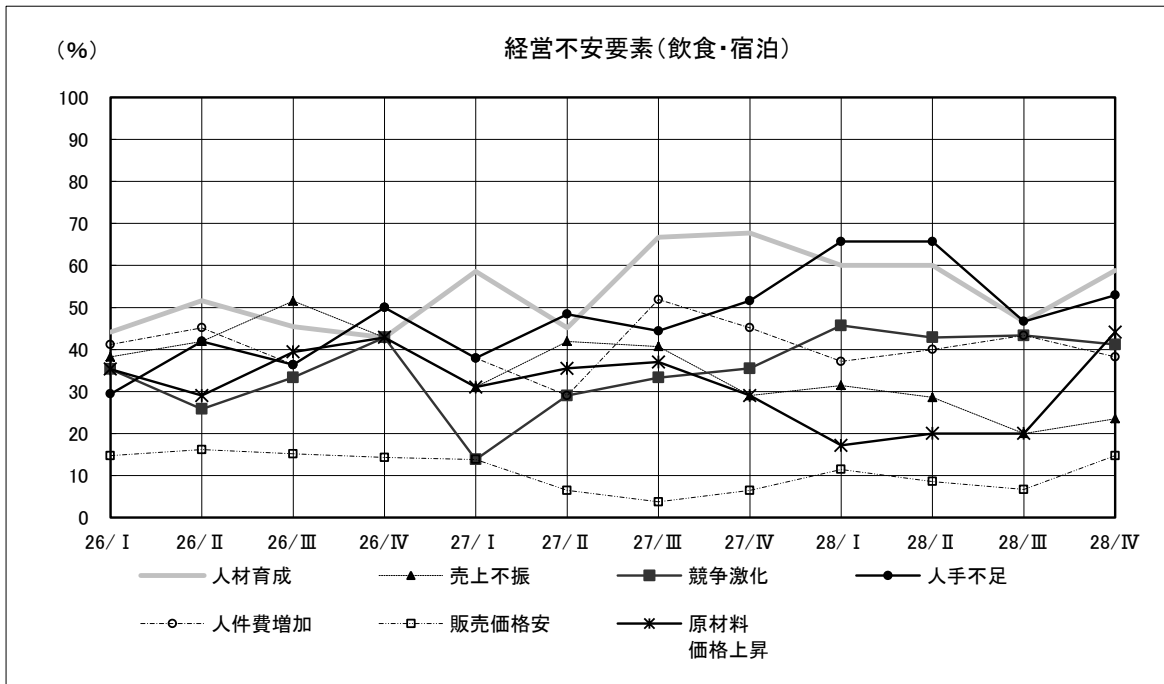


図 54. 経営上の不安要素・サービス

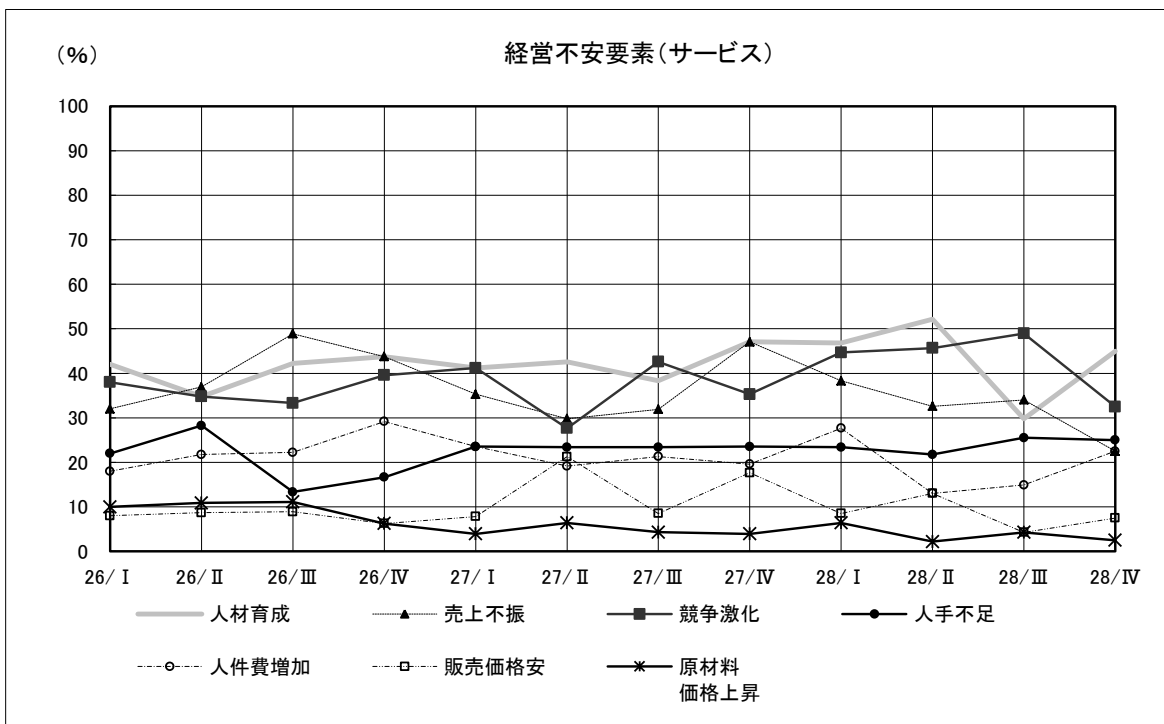


図 55. 経営上の不安要素・建設

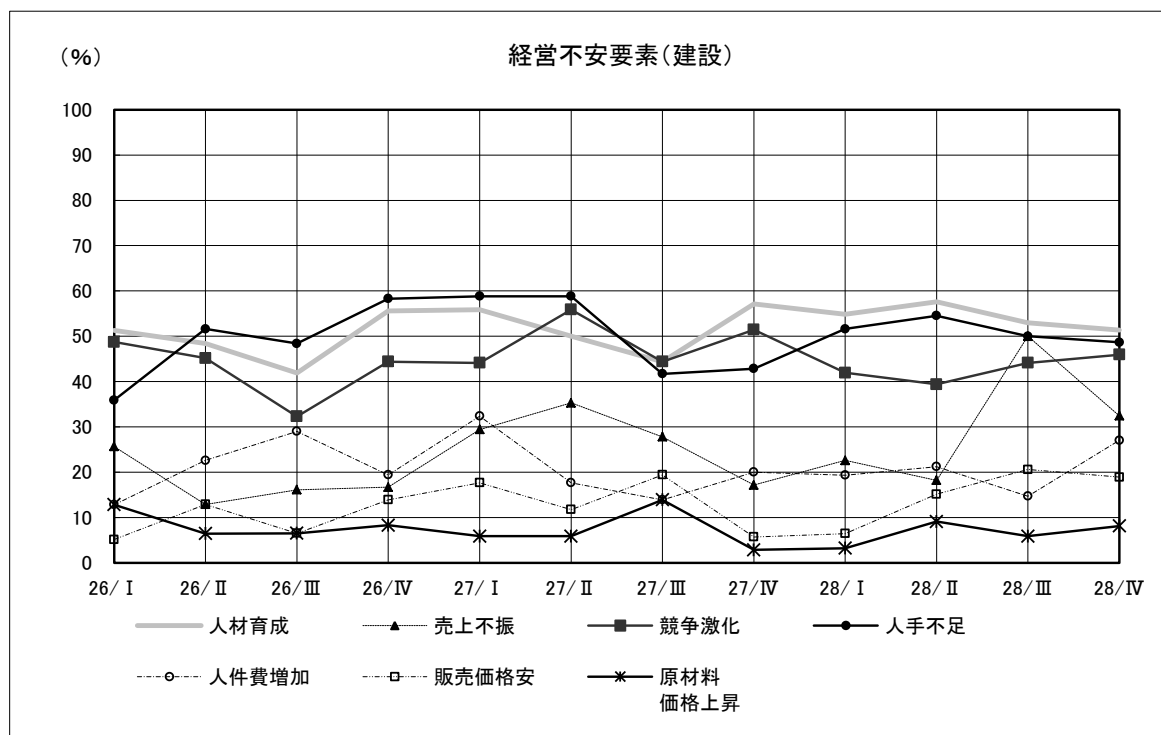


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	172 36.8%	198 42.4%	214 45.8%	51 10.9%	47 10.1%	72 15.4%	9 1.9%	73 15.6%
製造業	77 33.9%	107 47.1%	104 45.8%	31 13.7%	25 11.0%	40 17.6%	5 2.2%	44 19.4%
西陣	5 20.8%	17 70.8%	8 33.3%	2 8.3%	3 12.5%	5 20.8%	0 0.0%	8 33.3%
染色	4 16.7%	14 58.3%	8 33.3%	0 0.0%	4 16.7%	5 20.8%	1 4.2%	4 16.7%
印刷	11 45.8%	11 45.8%	14 58.3%	7 29.2%	2 8.3%	1 4.2%	1 4.2%	6 25.0%
窯業	3 25.0%	6 50.0%	5 41.7%	0 0.0%	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	1 8.3%
化学	7 35.0%	9 45.0%	8 40.0%	2 10.0%	3 15.0%	3 15.0%	0 0.0%	4 20.0%
金属	10 38.5%	11 42.3%	20 76.9%	3 11.5%	2 7.7%	4 15.4%	0 0.0%	1 3.8%
機械	14 48.3%	10 34.5%	15 51.7%	5 17.2%	0 0.0%	2 6.9%	1 3.4%	8 27.6%
その他の製造	23 33.8%	29 42.6%	26 38.2%	12 17.6%	9 13.2%	15 22.1%	2 2.9%	12 17.6%
非製造業	95 39.6%	91 37.9%	110 45.8%	20 8.3%	22 9.2%	32 13.3%	4 1.7%	29 12.1%
卸売	21 35.0%	33 55.0%	19 31.7%	4 6.7%	7 11.7%	6 10.0%	2 3.3%	7 11.7%
小売	25 50.0%	26 52.0%	21 42.0%	3 6.0%	6 12.0%	6 12.0%	0 0.0%	5 10.0%
情報通信	5 26.3%	3 15.8%	13 68.4%	2 10.5%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	2 10.5%
飲食・宿泊	14 41.2%	8 23.5%	20 58.8%	1 2.9%	3 8.8%	15 44.1%	0 0.0%	5 14.7%
サービス	13 32.5%	9 22.5%	18 45.0%	4 10.0%	2 5.0%	1 2.5%	1 2.5%	3 7.5%
建設	17 45.9%	12 32.4%	19 51.4%	6 16.2%	4 10.8%	3 8.1%	1 2.7%	7 18.9%
観光関連	20 39.2%	19 37.3%	26 51.0%	2 3.9%	5 9.8%	12 23.5%	0 0.0%	5 9.8%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	円安	その他	有効回答	無回答
全業種	53 11.3%	71 15.2%	118 25.3%	85 18.2%	26 5.6%	12 2.6%	467 100.0%	14
製造業	35 15.4%	39 17.2%	42 18.5%	29 12.8%	10 4.4%	6 2.6%	227 100.0%	4
西陣	4 16.7%	4 16.7%	4 16.7%	2 8.3%	3 12.5%	0 0.0%	24 100.0%	0
染色	0 0.0%	3 12.5%	3 12.5%	4 16.7%	2 8.3%	1 4.2%	24 100.0%	0
印刷	1 4.2%	4 16.7%	6 25.0%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	24 100.0%	1
窯業	1 8.3%	4 33.3%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	12 100.0%	1
化学	3 15.0%	5 25.0%	3 15.0%	2 10.0%	3 15.0%	0 0.0%	20 100.0%	0
金属	5 19.2%	4 15.4%	5 19.2%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	26 100.0%	0
機械	11 37.9%	6 20.7%	4 13.8%	4 13.8%	0 0.0%	1 3.4%	29 100.0%	0
その他の製造	10 14.7%	9 13.2%	14 20.6%	8 11.8%	2 2.9%	4 5.9%	68 100.0%	2
非製造業	18 7.5%	32 13.3%	76 31.7%	56 23.3%	16 6.7%	6 2.5%	240 100.0%	10
卸売	4 6.7%	8 13.3%	7 11.7%	10 16.7%	9 15.0%	3 5.0%	60 100.0%	3
小売	1 2.0%	7 14.0%	11 22.0%	8 16.0%	3 6.0%	0 0.0%	50 100.0%	0
情報通信	0 0.0%	7 36.8%	12 63.2%	6 31.6%	0 0.0%	1 5.3%	19 100.0%	0
飲食・宿泊	3 8.8%	4 11.8%	18 52.9%	13 38.2%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%	0
サービス	4 10.0%	2 5.0%	10 25.0%	9 22.5%	1 2.5%	1 2.5%	40 100.0%	6
建設	6 16.2%	4 10.8%	18 48.6%	10 27.0%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%	1
観光関連	5 9.8%	8 15.7%	25 49.0%	16 31.4%	2 3.9%	1 2.0%	51 100.0%	0

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	9	(1.9)
明治	15	(3.1)
大正	13	(2.7)
昭和19年以前	23	(4.8)
20 ～ 39 年	178	(37.0)
40 ～ 49 年	92	(19.1)
昭和50年以降	81	(16.8)
平成	68	(14.1)
無回答	0	(0.0)
不明	2	(0.4)
合計	481	(100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	474	(98.5)
個人	7	(1.5)
無回答	0	(0.0)
合計	481	(100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	231	(48.0)	非製造業	250	(52.0)
西陣	24	(5.0)	卸売	63	(13.1)
染色	24	(5.0)	小売	50	(10.4)
印刷	25	(5.2)	情報通信	19	(4.0)
窯業	13	(2.7)	飲食・宿泊	34	(7.1)
化学	20	(4.2)	サービス	46	(9.6)
金属	26	(5.4)	建設	38	(7.9)
機械	29	(6.0)	不明	0	(0.0)
その他の製造	70	(14.6)	合計	481	(100.0)

※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)

51 (10.6)

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～ 100 万円	1	(0.2)	3001 ～ 5000	70	(14.8)
101 ～ 200	0	(0.0)	5001～1億円	35	(7.4)
201 ～ 500	31	(6.5)	1億円超	5	(1.1)
501 ～ 1000	199	(42.0)	無回答	0	(0.0)
1001 ～ 3000	133	(28.1)	合計	474	(100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0 ～ 4 人	88	(18.3)	50 ～ 99 人	46	(9.6)
5 ～ 9 人	79	(16.4)	100 人以上	28	(5.8)
10 人～19 人	102	(21.2)	無回答	12	(2.5)
20 人～29 人	60	(12.5)	合計	481	(100.0)
30 ～ 49 人	66	(13.7)			

第121回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成28年12月14日(水)】

貴社の概要を御記入ください。

(該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名															
経営形態	法人・個人	資本金					万円	電話				—			
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年						従業員数					人(うち非正規)	人		
※1 業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造														
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店・宿泊・Mサービス・N建設														
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業 商品を扱う卸売業 小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関係の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。														
主な製品、商品、サービス															
御記入者	部課：	役職：				氏名：									

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項目	期間	平成28年10月～12月の実績 (前年の同期と比較して)			平成29年1月～3月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない	する	しない		

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

--

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化(顧客・市場開拓) | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 自社ブランドの育成 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|----------|-----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 円安 | 14 その他() | |

(裏面も御記入ください。)

(5) 平成28年の企業経営実績と来年(平成29年)の見通しについてお尋ねします。

A. 平成28年の貴社の業績は前年(平成27年)と比較していかがでしたか。

下記から1つを選び、○印をお付けください。

1 非常に良かった 2 良かった 3 前年並み 4 悪かった 5 非常に悪かった

B. 平成29年の貴社の業績見通しは今年(平成28年)と比較していかがですか。

下記から1つを選び、○印をお付けください。

1 非常に良くなる 2 良くなる 3 今年並み 4 悪くなる 5 非常に悪くなる

C. 平成28年の貴社の業績に影響を与えた要因及び来年(平成29年)の業績に影響を与えると予想される要因について、該当するものの番号を御記入ください。(それぞれ3つ以内)

平成28年実績	プラス要因			マイナス要因			平成29年予測	プラス要因			マイナス要因		

1 営業努力 2 新商品・新技術の開発 3 新事業の展開 4 設備投資
 5 雇用情勢 6 国際情勢 7 国内景気 8 地元景気 9 他社との競争
 10 為替相場 11 金融情勢 12 消費動向 13 物価動向 14 株価動向
 15 地価動向 16 税制改革 17 公共投資 18 輸出入動向 19 価格競争
 20 規制緩和 21 親企業のリスト・海外進出 22 環境問題 23 中国経済の減速
 24 その他 ()

D. Cで「平成29年予測」で選択した項目のうち、最も影響の大きい要因について、具体的な内容をご記入その理由を御記入ください。

最も影響が大きいもの ()

内容:

E. 平成28年及び平成29年の賃金水準について、下記からそれぞれ1つを選び○印をお付けください。

「1」を選ばれた方はその内容をア～エから選択し に記入してください。

平成28年の賃金水準 1 上げた ⇒ 2 上げていない 3 下げた

平成29年の賃金水準 1 上げる予定 ⇒ 2 上げない予定 3 未定

ア. ベースアップ、イ. ベースアップ+賞与・一時金の増額

ウ. 賞与・一時金の増額、エ. その他の賃上げ(定期昇給等)実施

F. 貴社では、今後どのような分野・部門の拡充や縮小をお考えですか。

下記から該当するものの番号を御記入ください。(それぞれ2つ以内)

拡充・強化する部門			削除・縮小する部門		
-----------	--	--	-----------	--	--

1 事務部門(庶務・人事など) 2 財務部門(経理・会計など) 3 営業部門
 4 企画・開発部門(新規事業企画・新市場開拓など) 5 宣伝・広報部門
 6 情報・通信部門 7 技術部門 8 製造部門 9 特になし
 10 その他 ()

G. 平成29年に向けて貴社の経営全般における独自の取組や工夫を御自由に御記入ください。

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。)

京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)